

石川県包括外部監査報告書

平成 30 年 3 月

石川県包括外部監査人
高 村 藤 貴

観光行政の財務事務の執行及び事業の管理に ついて

目次

第一. 包括外部監査の概要.....	1
1. 監査の種類.....	1
2. 選定した特定の事件.....	1
3. 事件として選定した理由.....	1
4. 監査の対象.....	1
5. 監査の方法.....	2
6. 監査の実施期間.....	2
7. 包括外部監査人及び監査人補助者.....	2
8. 利害関係.....	3
9. 表示数値について.....	3
10. 語句の説明.....	3
第二. 石川県の観光行政の概要.....	4
1. 石川県における観光の現状.....	4
2. 石川県の観光政策.....	11
3. 観光行政に関する石川県の組織.....	33
第三. 監査の結果（県事業）.....	35
事業総括.....	35
1.（事業1）ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金.....	38
2～4.（事業2～4）ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金.....	40
5.（事業5）石川県観光連盟補助金.....	45
6.（事業6）石川県金沢観光情報センター運営費.....	47
7.（事業7）本多の森ホール運営委員会運営資金貸付金.....	49
8.（事業8）本多の森会議室運営費.....	52
9.（事業9）観光誘客キャンペーン推進事業費.....	54
10.（事業10）「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費負担金.....	59
11.（事業11）観光イベント開催費補助金.....	64
12.（事業12）加賀温泉旅館等誘客促進事業費補助金.....	74
13.（事業13）観光地活性化推進事業費補助金.....	78
14.（事業14）いしかわスイーツ博2016開催費負担金.....	82
15.（事業15）名古屋観光物産案内所運営費.....	85
16.（事業16）首都圏等誘客促進事業費.....	88
17.（事業17）金沢コンベンションビューロー運営費補助金.....	92
18.（事業18）新幹線開業1周年キャンペーン事業費.....	96
19.（事業19）海外誘客プロモーションツール制作費.....	99
20.（事業20）海外誘客情報発信事業費補助金.....	101

21. (事業 21) SNSで発信する「いしかわのイチ押し」キャンペーン事業.....	103
22. (事業 22) お客様の声を活かすおもてなし向上事業補助金.....	106
23. (事業 23) 外国人受け入れ環境整備事業.....	110
24. (事業 24) 「ふれあいと体験の旅」推進事業.....	113
第四. 監査の結果(ファンド事業).....	116
1. (ファンド事業1) 観光魅力づくり推進事業補助金(河北郡市).....	116
2. (ファンド事業2) 観光魅力づくり推進事業補助金 (北陸新幹線開業1周年「能登祭り」事業).....	120
3. (ファンド事業3) 観光魅力づくり推進事業補助金 (観光地を巡る交通の充実等による観光誘客の取組支援).....	123
4. (ファンド事業4) 観光魅力づくり推進事業補助金 (加賀地域における広域連携による観光誘客の取組支援).....	126
5. (ファンド事業5) 石川の食と観光情報ウェブサイト改修事業補助金.....	131
6. (ファンド事業6) 北陸新幹線開業1周年記念イベント 「石川ロックサミット」の開催.....	133
7. (ファンド事業7) 冬の誘客イベント 「冬の夜のマジカルセッション“出逢い”」の開催.....	136
8. (ファンド事業8) 「ひやくまんさん」を活用したPR事業.....	139
9. (ファンド事業9) 観光魅力づくり推進事業補助金(金沢誘客強化対策事業)....	141
10. (ファンド事業10) 東京都と連携したMICE誘致促進.....	145
11. (ファンド事業11) 海外大手インターネット旅行会社を活用した 個人誘客の促進.....	148
12. (ファンド事業12) 海外富裕層誘客促進事業.....	151
第五. 監査の結果(公の施設).....	154
1. いしかわ動物園.....	154
2. 石川県ふれあい昆虫館.....	156
3. 石川県海の自然生態館.....	157
参考: 指摘事項・意見の一覧.....	159

第一．包括外部監査の概要

1．監査の種類

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 37 の規定による監査

2．選定した特定の事件

「観光行政の財務事務の執行及び事業の管理について」

3．事件として選定した理由

本県観光を取り巻く環境は、平成 27 年 3 月の北陸新幹線金沢開業をはじめとした交流基盤整備の進展、平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、非常に大きく変化している。このような中、石川県においては、平成 28 年に策定した県政運営の長期的かつ総合的な基本指針である「石川県長期構想」（計画期間：平成 28～37 年度）に重点戦略として「魅力が輝き交流が盛んな地域づくり」を掲げ、具体的なアクションプランとして「ほっと石川観光プラン 2016」（同計画期間）を策定し、変化への新たな取組みを始めている。各種プランで定めた諸施策が、同構想に定める目標達成にとって有効か検討することは非常に重要である。

また、本県が近年厳しい財政状況であるにもかかわらず、北陸新幹線金沢駅開業を機に企画された施策等に予算が重点的に配分されていることから、その予算・決算分析、費用対効果の適切性について監査することは非常に有益と考える。

さらに、観光行政を担う観光戦略推進部は平成 25 年度に局から部に格上げされたが、その後は包括外部監査の対象とはされておらず、新組織体制下での事務の執行を検討することも有意義である。

これらのことから、本監査における特定の事件として、「観光行政の財務事務の執行及び事業の管理について」を選定した。

4．監査の対象

（1）監査対象部局名及び所属名等

- ① 観光戦略推進部
- ② 上記部局が所管する公の施設
- ③ 上記部局が所管する第三セクター 等

（2）対象年度

平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日）

ただし、必要に応じ平成 29 年度並びに過年度の実績等も参考とした。

5. 監査の方法

(1) 監査要点

- ① 観光行政に関する財務事務の執行及び管理は、関係法令等に準拠して公平かつ適正に行われているか。
- ② 事業は経済性及び競争性のある方法で行われているかどうか。
- ③ 事業に係る財務事務が効率的に行われているかどうか。
- ④ 事業に関する効果測定が適切に行われているかどうか。
- ⑤ 他の地方公共団体との連携は適切になされているか。
- ⑥ 事業は前年度から適切に見直されて、これまで取り組んでいなかったことにも取り組んでいるか。

(2) 監査の手続

① 全般的事項

- ・ 現場視察、関係者からの説明聴取及び資料入手
- ・ 経年比較、比率分析などの分析的手続
- ・ 事務手続の条例・規程等への準拠性についての検討
- ・ 証憑の整備保管状況及び関連帳簿記録との突合
- ・ 上記以外で必要と認められた手続

② 個別事項

個別の監査対象に係る主な監査手続については、本報告書中「第二」から「第五」の中で、各項目の監査結果に関連付けて記載している。なお、監査手続の適用において、サンプルを抽出している場合は試査によっており、その範囲は、外部監査人が金額的、質的重要性を考慮して判断した。

6. 監査の実施期間

平成 29 年 8 月 1 日から平成 30 年 3 月 9 日まで

なお、平成 29 年 4 月から 7 月までは特定の事件の選定、監査補助者の選任及び予備調査等を実施した。

7. 包括外部監査人及び監査人補助者

包括外部監査人	公認会計士	高 村	藤 貴
補助者	公認会計士	布 目	剛
	公認会計士	石 橋	智 己
	公認会計士	齊 藤	貴 典
	公認会計士	崎 原	充 徳

公認会計士	中 村 公 士
公認会計士	松 下 要
公認会計士	米 森 健 太
公認会計士・税理士	横 尾 勝 人
公認会計士試験合格者	西 田 公 則

8. 利害関係

包括外部監査の対象とした事件について、地方自治法第 252 条の 29 の規定による記載すべき利害関係はない。

9. 表示数値について

報告書の表の合計（または差額）は、単位未満の端数の関係で、総数と内訳の合計（または差額）とが一致しない場合がある。

10. 語句の説明

「第三」において記載する「指摘事項」及び「意見」の定義は、以下のとおりである。

(1) 「指摘事項」

一連の事務手続等の中で、法令、条例、規則等に違反している場合、或いは違法ではないが社会通念上適当でないと考えられる場合に該当する事項を記載している。

(2) 「意見」

一連の事務手続等の中で、組織及び運営の面で合理化に役立つものとして専門的見地から改善を提言する事項を記載している。

第二. 石川県の観光行政の概要

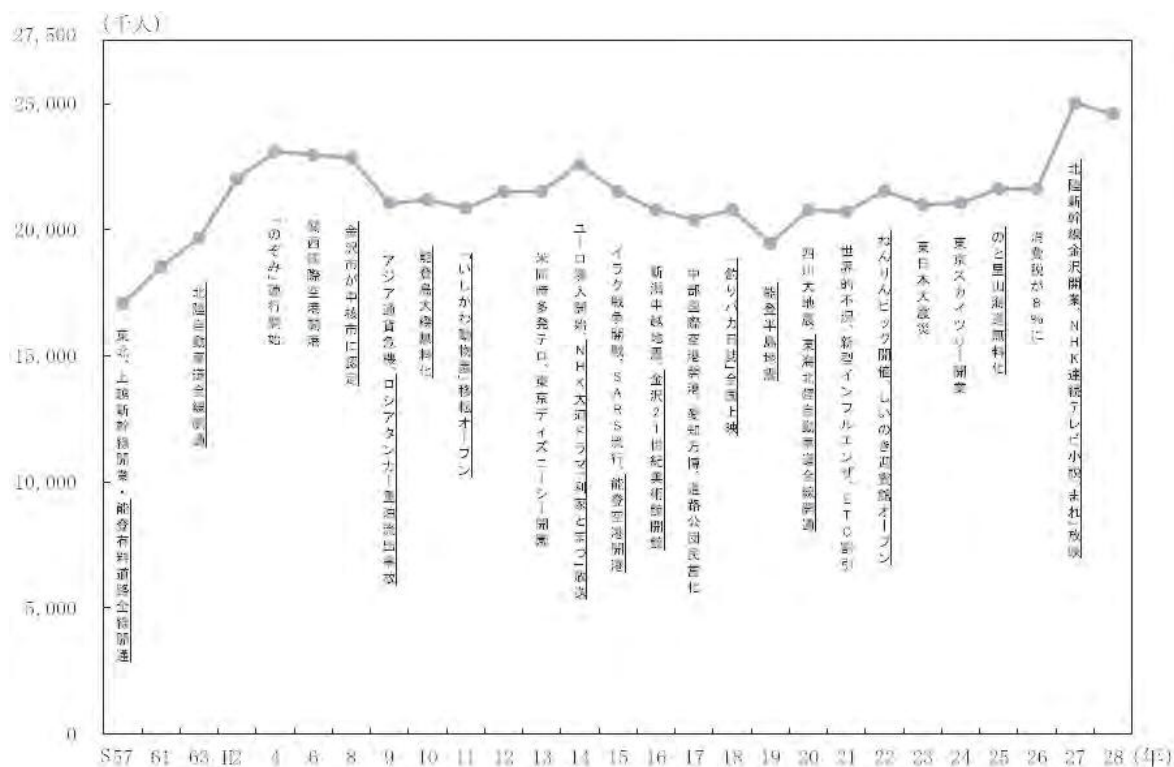
1. 石川県における観光の現状

(1) 石川県の観光入り込み客数の推移

オイルショックや、昭和 56 年から昭和 60 年にかけての円高等による景気低迷などで入り込み客数が伸び悩んだ時期もあったが、平成 4 年までは概ね増加基調で推移してきた。平成 5 年以降はバブル経済崩壊後の長引く景気の低迷を反映して、ほぼ横ばいから微減傾向となった。この間、ロシアタンカー重油事故が発生した平成 9 年、能登半島地震の発生した平成 19 年に大きく減少したが、NHKの大河ドラマの放送や「加賀百万石博」が開催された平成 14 年、新規施設のオープンや「ねんりんピック石川 2010」の開催等のあった平成 22 年は増加した。

平成 27 年には、北陸新幹線金沢開業やNHK連続テレビ小説「まれ」の放映等により、首都圏を中心に、県全体で入り込み客が大きく増加し、統計を開始した昭和 31 年以来過去最高の 25,018 千人を記録した。平成 28 年も引き続き開業前の水準を大きく上回った。

過去からの観光入り込み客数の推移



(出典：統計からみた石川県の観光 平成 28 年)

※前頁の横軸は年であり、57～63 は昭和、2～28 は平成を示している。

※前頁の傍線部は石川県に直接関連がある出来事を示している。

発地別観光入り込み客数（推計）

（単位：千人、％）

発地		年	平成 27 年	平成 28 年	対前年比
		県内		9,810 (39.2)	9,462 (38.5)
県外		15,208 (60.8)	15,126 (61.5)	99.5	
県外の内訳	富山県	1,956 (7.8)	1,973 (8.0)	100.9	
	福井県	1,014 (4.1)	998 (4.1)	98.4	
	小計（隣県）	2,970 (11.9)	2,971 (12.1)	100.0	
	長野県	480 (1.9)	478 (1.9)	99.6	
	東北（宮城県・福島県）	195 (0.8)	216 (0.9)	110.8	
	首都圏	4,542 (18.2)	4,269 (17.4)	94.0	
	関西圏	2,714 (10.8)	2,736 (11.1)	100.8	
	中京圏	2,003 (8.0)	2,006 (8.2)	100.1	
	小計（3大都市圏）	9,259 (37.0)	9,011 (36.6)	97.3	
	その他	2,304 (9.2)	2,449 (10.0)	106.3	
合計		25,018 (100.0)	24,588 (100.0)	98.3	

（ ）内は構成比 %

首都圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県
 関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、和歌山県、奈良県、滋賀県
 中京圏：愛知県、岐阜県、静岡県、三重県

（出典：統計からみた石川県の観光 平成 28 年）

また、地域別でみると、金沢地域の観光入り込み客数が最も多くなっており、次いで能登地域、加賀地域、白山地域と続いている。

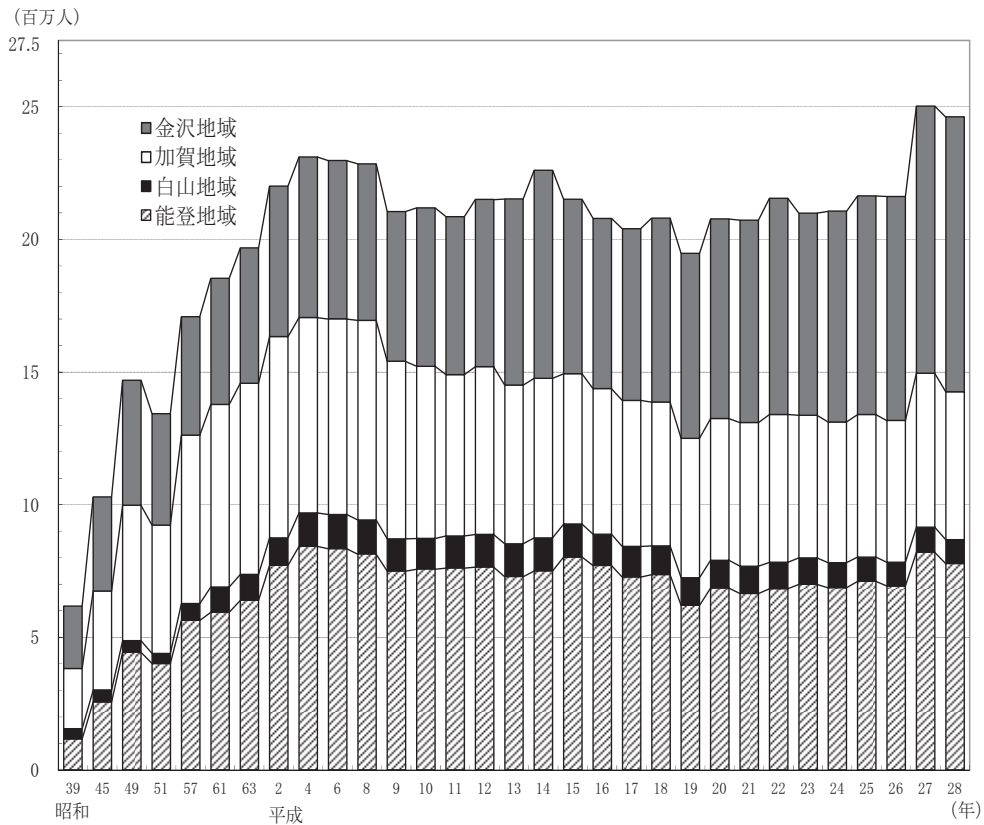
各地域の平成 28 年の対前年比観光入り込み客数は金沢地域では金沢市内の観光施設入場者やイベント来場者の増加等により、対前年比 102.7%の 10,335 千人となった。能登地域ではNHK連続テレビ小説「まれ」放映の反動減により、観光施設の入り込みが減少し、対前年比 94.8%の 7,778 千人となった。加賀地域では、新幹線開業年特別イベントの反動減や天候不良によるイベントの中止等により、対前年比 96.1%の 5,580 千人となった。白山地域では紅葉期の天候不良による「白山白川郷ホワイトロード」の利用者の減少、積雪不足によるスキー場利用者の減少等により、対前年比 94.8%の 896 千人となった。

地域名	区分
金沢地域	金沢市、かほく市、白山市（旧松任市、旧美川町）、野々市市、津幡町、内灘町
能登地域	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
加賀地域	小松市、加賀市、能美市、川北町
白山地域	白山市（旧鶴来町、旧河内村、旧吉野谷村、旧鳥越村、旧尾口村、旧白峰村）

（単位：千人）

	平成 27 年	平成 28 年	対前年比
金沢地域	10,064	10,335	102.7%
能登地域	8,203	7,778	94.8%
加賀地域	5,806	5,580	96.1%
白山地域	945	896	94.8%

（出典：統計からみた石川県の観光 平成 28 年）



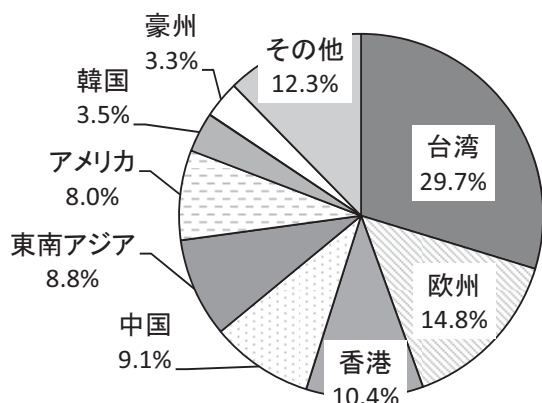
(出典：統計からみた石川県の観光 平成28年)

(2) 石川県を訪れる外国人観光客の推移

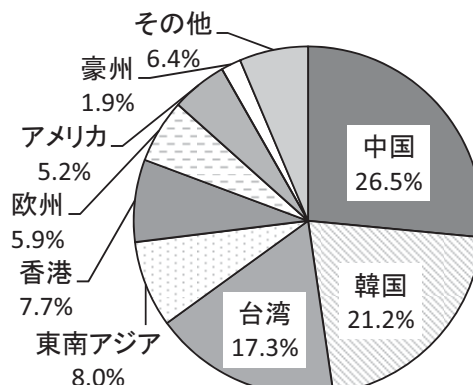
平成28年の外国人宿泊者数は、ビザ発給要件の緩和に加え、新幹線沿線自治体やJR等との連携による取り組み等により、香港や中国、東南アジア、欧米豪方面からの宿泊客が大きく増加したこと等から、対前年比145.7%の529千人となり、4年連続で過去最高を記録した。

なお、平成27年において、台湾は、春の大型コンベンション開催時期のホテルの供給不足、韓国は、MERS（マーズ）流行や7月のソウル便運休等により、それぞれ宿泊者数が減少していたが、平成28年は両地域共に増加に転じ、平成26年比で3割以上の伸びとなった。

H28 石川県内外国人宿泊者数



H28 訪日外客数



(出典：統計からみた石川県の観光 平成 28 年)

(単位：人)

年	国	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	前年比 (%)
	台湾	石川 (41.9)	(38.6)	(30.1)	(29.7)	143.7
		全国 101,463	113,347	109,460	157,321	
	香港	石川 (7.8)	(7.0)	(7.7)	(10.4)	196.8
		全国 18,862	20,876	27,966	55,048	
	中国	石川 (6.2)	(6.3)	(8.3)	(9.1)	160.9
		全国 1,314,437	2,409,158	4,993,689	6,372,948	
	韓国	石川 (5.1)	(4.8)	(3.6)	(3.5)	144.3
		全国 2,456,165	2,755,313	4,002,095	5,090,302	
	東南アジア	石川 (6.3)	(6.9)	(7.4)	(8.8)	174.5
		全国 956,240	1,293,792	1,616,044	1,928,471	
	欧州	石川 (10.5)	(11.1)	(15.6)	(14.8)	138.3
		全国 904,132	1,048,731	1,244,970	1,422,032	
	アメリカ	石川 (7.9)	(7.6)	(8.8)	(8.0)	132.3
		全国 799,280	891,688	1,033,258	1,242,702	
	豪州	石川 (2.5)	(2.6)	(3.2)	(3.3)	151.9
		全国 244,569	302,656	376,075	445,237	
	その他	石川 (11.8)	(15.1)	(15.4)	(12.3)	116.3
		全国 732,379	956,353	1,269,911	1,530,688	
	合計	石川 (100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	145.7
		全国 10,363,904	13,413,487	19,737,409	24,039,053	

上段：石川県内外国人宿泊者数、下段：訪日外客数(出典：日本政府観光局(JNTO)) ()内は構成比 %

(出典：統計からみた石川県の観光 平成 28 年)

(3) 石川県の観光消費額の動向

平成28年の観光消費額は、観光入り込み客数の落ち着きに伴い、対前年比96.6%、108億円減の3,115億円となった。なお、北陸新幹線金沢開業前（平成26年）比では、117.9%、472億円増であった。

(単位：百万円)

	合計	内 訳					
		宿泊費	飲食費	土産代	交通費	入場料	その他
平成28年	311,463	94,547	82,941	73,271	43,054	10,703	6,947
平成27年	322,313	96,650	84,527	77,326	45,519	11,173	7,118
平成26年	264,214	73,653	71,406	65,358	38,528	9,528	5,741
前年比 (%)	-10,850 (96.6)	-2,103 (97.8)	-1,586 (98.1)	-4,055 (94.8)	-2,465 (94.6)	-470 (95.8)	-171 (97.6)
開業前比 (%)	47,249 (117.9)	20,894 (128.4)	11,535 (116.2)	7,913 (112.1)	4,526 (111.7)	1,175 (112.3)	1,206 (121.0)

※ 端数処理のため合計と内訳の計は一致しないことがある

(出典：統計からみた石川県の観光 平成28年)

(4) 石川県における観光の課題

石川県では3大都市圏を誘客の重点地域に位置付けており、その中でも特に、各都市圏の人口に対する入り込み客数の割合が低く今後の伸びが期待できる首都圏からの入り込みを重視している。北陸新幹線が金沢開業した平成27年においては、首都圏からの入り込み客数は増加し、4,542千人となったが、平成28年には4,269千人と減少しており、北陸新幹線開業効果をいかに持続・拡大させていくかが課題となっている。このため、石川県を含む北陸3県はJRと連携して誘客キャンペーンを強化しており、これまで入り込み客数が減少しがちな冬季（12月～3月）に「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーンを実施してきたが、平成29年度からは、4月～11月に「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーンを展開することで、通年化による誘客強化を図っている。

また、関西圏、中京圏からの入り込み客数については、北陸新幹線金沢開業以降も堅調に推移しているが、これらの圏内についてもいかにして入り込み客数を確保していくかが課題となっている。

これらの圏内については、全国幹線旅客純流動調査（国土交通省）では、自家用車で来県する入り込み客数の割合が高いこともあり、石川県ではJAF（日本自動車連盟）と連携し、会員誌でのマイカー利用者に対する情報発信を強化している。

いずれにしても、「ほっと石川観光プラン2016」では3大都市圏からの入り込み客数を重要視していることもあり、各種統計調査の分析やキャンペーンの強化を図り、潜在需要の掘り起こしとリピーターの拡大に繋げていくことが課題となっている。

地域別にみると、北陸新幹線金沢開業2年目の平成28年においては、金沢地域では対前年比で入り込み客数が増加しているものの、能登地域、加賀地域、白山地域では減少しており、能登地域、加賀地域、白山地域の3地域の入り込み客数をいかにして増加させるかが課題となっている。特に加賀地域、白山地域は、平成34年度末の北陸新幹線敦賀延伸を見据えた沿線自治体との連携や、観光地としての魅力向上、PRの強化などが課題となっている。

また、上記の他、わが国全体として東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人に引き上げる目標が掲げられ、本県においても従来のアジア諸国に加えて欧米諸国からの誘客の促進や受入環境の向上が課題となっている。

2. 石川県の観光政策

(1) 条例の制定状況

広域自治体の中では、観光振興に関する条例が制定されるケースがあり、平成28年10月時点で31道県が観光振興に関する条例を制定しているが、石川県では、観光振興に関する条例は制定していない。

なお、いしかわ文化振興条例（平成27年条例第8号）では、第27条で「県は、国内及び海外からの観光旅客をはじめとする交流人口の拡大を図るため、石川の優れた文化が観光資源として活用されるよう、必要な施策を講ずるものとする。」とし、文化の観光資源としての活用を推進することとしている。

(2) 石川県長期構想

石川県では県政運営の長期的かつ総合的な基本指針となる計画として、平成28年度（2016年度）を初年度として、平成37年度（2025年度）を目標年次とする「石川県長期構想」を策定している。「石川県長期構想」では、基本目標を「個性、交流、安心のふるさとづくり」とし、目指すべき将来像として、『魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」』、『成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」』、『安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」』の3つを掲げ、その下に9つの重点戦略を設定している。観光政策については、このうち、『魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」』に基づく重点戦略である「魅力が輝き交流が盛んな地域づくり」の中の施策として位置付けられている。

重点戦略「魅力が輝き交流が盛んな地域づくり」の内容及び関連する観光施策の内容を以下に記載する。

① 重点的戦略

北陸新幹線金沢開業をはじめとした陸・海・空の交流基盤の整備により、本県の観光客は大幅に増加し、金沢港のコンテナ取扱量が年々増加するなど、人やものの交流は大きく拡大しました。

今後も、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする訪日観光客の増加が見込まれる中、北陸新幹線敦賀開業も見据え、開業効果を県内各地へ波及させ、持続・発展させる取組がますます重要となってきます。

こうした情勢を踏まえ、人を惹きつける本県の魅力を一層磨き、その輝きを発信するとともに、さらなる交流基盤の整備・活用により、人やものの交流が盛んな地域を目指します。

② 施策

i. 北陸新幹線の早期全線整備と開業効果の持続・発展

- 1) 金沢・敦賀間の確実な開業の実現と大阪までのフル規格による早期全線整備
 - 北陸新幹線の早期全線整備を実現するため、関西圏を含めた沿線各県との連携を密にし、国等への働きかけを強化します。
 - 開業効果の最大化に向け、北陸新幹線の利便性向上を国等に働きかけます。
- 2) 開業効果を持続・発展させ、県内全域に波及させるための取組みの推進
 - 県民生活との調和を図りつつ、金沢開業効果の持続・発展と県内全線開業に向けた取組みを推進します。
 - 北陸新幹線の開業に伴いJRから経営分離される並行在来線については、県民の日常生活や経済活動に欠かせない幹線鉄道として安定的な経営・運行を行っていきます。
 - 敦賀開業の影響を見据え、小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した人・ものの交流を促進します。

ii. さらなる誘客促進と石川ファンの拡大

- 1) 誘客の促進と満足度向上による石川ファンの拡大
 - 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化を進めます。
 - 伝統芸能や伝統工芸、食文化、ふるさと文化など石川の優れた文化を観光資源として活用します。
 - 観光地の活性化とまちづくりを推進します。
 - MICEや教育旅行の誘致を促進します。
(※) MICEとは、Meeting (会議・研修・セミナー)、Incentive tour (報奨・招待旅行)、Convention/Conference (大会、学会、国際会議)、Event/Exhibition (イベント、展示会) の総称
- 2) おもてなしの向上
 - 石川ファンを拡大するためのおもてなしの向上を図ります。
- 3) 観光振興を担う人材の育成
 - 将来に渡り本県の観光を発展させるための次代を担う石川の観光人材の育成に取り組みます。
 - おもてなし人材の育成・充実を図ります。

4) 情報発信の充実

- 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信に取り組みます。
- 本県認知度の持続・向上のための情報発信を推進します。

5) 広域連携による周遊観光の促進

- 新幹線開業による誘客効果の全県波及・持続発展を図ります。
- 県域を越えたテーマ性のある周遊観光を促進します。

6) 魅力ある観光資源を活かす「おもてなし」のみちづくり

- 観光資源として「みちの価値」を高めるとともに、能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。
- 地域が取り組む沿道の景観対策や道路美化活動等のまちづくりと一体となり、地域のにぎわいを創出します。

iii. 東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客の促進

1) 海外誘客の促進

- 東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、本県の認知度向上を図ります。
- 東京オリンピック・パラリンピック開催を活かした海外誘客に取り組みます。
- 外国人旅行者の受入体制の充実を図ります。

iv. 人・ものの広域な交流のための基盤整備と活用

1) 交流基盤のさらなる充実と活用

- 高速陸上交通の充実を図ります。
- 二次交通アクセスと機能の充実を図ります。
- 小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した人・ものの交流を促進します。
- のと里山空港の利用促進と、にぎわい創出による地域拠点としての活性化を図ります。
- 国際物流拠点として金沢港の整備を進め、人・ものの交流の拡大を図ります。
- 能登地域の拠点港として七尾港の港湾施設の充実と利用促進を図ります。
- 本州の日本海側中央に位置し、国際的に評価の高い観光地に近いという優位性を活かし、戦略的にクルーズ船を誘致します。

2) 「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想の推進

- 時間距離の短縮により県土の一体化を図ります。
- 陸・海・空の交流拠点との連携強化を図ります。
- 隣県や3大都市圏との広域交流圏を形成します。
- 能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。

(3) いしかわ創生総合戦略

国では、平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）を制定し、同法に基づき、同年12月には、今後50年間の我が国の将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び5年間の施策の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定している。

石川県では、この動きにあわせ、平成26年12月に「いしかわ創生推進本部」を、平成27年6月には「いしかわ創生総合戦略有識者会議」を設置し、同年10月に、石川県の地方創生の具体の行動計画として、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）を対象期間として、石川県版の総合戦略である「いしかわ創生総合戦略」を策定している。「いしかわ創生総合戦略」では、本戦略上の基本目標として「北陸新幹線金沢開業効果の最大化と県内各地・各分野への波及」、「多様な人材を惹きつける魅力ある雇用の場の創出」、「学生のUターン・県内就職と移住定住の促進」、「結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援」、「高齢化など時代の変化に対応した地域づくり」の5つを掲げている。観光政策については、このうち、「北陸新幹線金沢開業効果の最大化と県内各地・各分野への波及」の中の施策として位置付けられている。

本戦略上の基本目標「北陸新幹線金沢開業効果の最大化と県内各地・各分野への波及」の内容及び関連する観光施策の内容を以下に記載する。

① 数値目標

- 県内観光入り込み客数 2,161万人（平成26年）→2,750万人（平成31年）
- 外国人宿泊客数 29万人（平成26年）→60万人（平成31年）

② 基本的方向

- 平成27年3月に金沢まで開業した北陸新幹線をはじめとする陸・海・空の充実した広域交流基盤を活用し、訪れた観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう、本県の観光の魅力の発掘・磨き上げなど、石川ファンを拡大する取り組みを強化する。
- 平成32（2020）年のオリンピック・パラリンピック東京大会開催に向け、我が国への注目が高まる中、海外誘客をさらに促進するため、本県の認知度

向上と北陸新幹線等の充実した交通インフラを活かした広域連携による新たな周遊ルートの構築、受け入れ環境の整備に向けた取り組みを強化する。

- 本県の観光を将来にわたって発展させていくため、観光人材の育成に向けた取り組みを強化する。
- 北陸新幹線の建設促進、道路網の整備と二次交通の充実、小松空港・のと里山空港の航空ネットワークを活用した交流促進、金沢港・七尾港の取扱貨物の拡大やクルーズ客船の誘致に積極的に取り組む。

③ 具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）

具体的な施策については、交通インフラの整備など他部局で対応すべき施策を除き、以下のとおりである。

i. 誘客の促進と満足度向上による石川ファンの拡大

1) 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進

- 個人旅行の拡大や趣味趣向の多様化に伴い、旅行ニーズが多様化しており、観光客が求める様々なニーズに対応するため、体験観光メニューをはじめ新たな観光魅力の発掘・磨き上げや旅行商品化の促進を図る。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ 県内観光入り込み客数
2,161 万人（平成 26 年）→ 2,750 万人（平成 31 年）
- ・ 産業観光受け入れ人数
857 千人（平成 26 年）→ 1,000 千人（平成 31 年）
- ・ 農家民宿数
57 軒（平成 26 年）→ 増加（平成 31 年）

2) 石川の優れた文化の活用と継承・発展

- 本県の豊かな文化を観光資源として活用し、伝統工芸、伝統芸能、食文化、祭りなどを活かした旅行商品の創出に取り組む。
- いしかわ文化振興条例を拠り所に、様々な文化振興施策を講ずることにより、本県の個性であり魅力である優れた文化の継承・発展を図るとともに、全国最大の 120 億円の「いしかわ県民文化振興基金」を活用した県民の文化活動への支援を図る。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ 県内観光入り込み客数
2,161 万人（平成 26 年）→ 2,750 万人（平成 31 年）
- ・ 兼六園周辺文化施設の年間入館者数
752,541 人（平成 26 年）→ 905,000 人（平成 31 年）
- ・ 音楽堂年間入館者数
206,473 人（平成 26 年）→ 265,000 人（平成 31 年）
- ・ いしかわ歴史遺産認定件数
未実施（平成 26 年）→ 20 件（平成 31 年）
- ・ 加賀料理、百万石の鮨の統一価格への参加店舗数
27 店舗（平成 26 年）→ 50 店舗（平成 31 年）

3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

- 本県の本物の魅力を実感してもらうよう、能登の世界農業遺産に認定された里山里海、金沢の藩政期から続く歴史や伝統文化、加賀の製造業や日本有数の温泉、白山の豊かな自然や文化など、地域の特徴・素材等を活かしたイベントの実施に取り組む。
- 観光地や温泉地の魅力アップのため、地域の特徴を活かしたハード・ソフト両面からのまちづくりの推進に取り組む。
- 特別名勝「兼六園」と一体となった県都金沢のシンボル公園である金沢城公園について、史実に沿った本物志向の復元整備に取り組む。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ 能登、金沢、加賀地域への観光入り込み客数
能登地域：6,932 千人（平成 26 年）→ 8,800 千人（平成 31 年）
金沢地域：8,442 千人（平成 26 年）→ 10,800 千人（平成 31 年）
加賀地域：6,238 千人（平成 26 年）→ 7,900 千人（平成 31 年）
※白山ろく地域は加賀地域に含む。以下、同じ。
- ・ 金沢城公園の入園者数
1,367 千人（平成 26 年）→ 2,400 千人（平成 31 年）
- ・ 兼六園の入園者数
2,037 千人（平成 26 年）→ 2,900 千人（平成 31 年）

4) M I C E や教育旅行の誘致

- M I C E 等の受け入れ体制の充実、誘致のための助成や教育旅行の戦略的誘致の促進に取り組む。

重要業績評価指標（K P I）

・ M I C E 参加者数

62,900 人（平成 26 年）→ 130,000 人（平成 31 年）

・ 教育旅行来県者数

26,868 人泊（平成 26 年）→ 31,000 人泊（平成 31 年）

ii. おもてなしの向上

- 観光客の満足度を高め、リピーターになってもらうため、県民や事業者のおもてなし向上を図るとともに、観光客の声を活かしたおもてなしの向上に取り組む。
- 石川県・金沢市の観光情報発信拠点である金沢駅観光案内所などの機能・サービスの充実を図る。

重要業績評価指標（K P I）

・ 観光客の満足度

73.8%（平成 26 年）→ 80%以上（平成 31 年）

・ 観光客へのアンケートハガキの設置箇所数

23 箇所（平成 27 年 3 月末）→ 250 箇所（平成 31 年）

・ 金沢駅観光案内所の年間利用者数

256,755 人（平成 26 年）→ 500,000 人（平成 31 年）

iii. 観光振興を担う人材の育成・充実

- 観光客の満足度を高めるため、事業者のおもてなし向上を図るほか、観光案内所の職員のスキルアップ、観光ボランティアガイドの育成、地域資源を活用した新たな観光魅力の発掘・磨き上げ・旅行商品化、地域づくりを担う人材の育成・充実を図る。

重要業績評価指標（K P I）

・ 観光ボランティアガイド連絡協議会加盟団体数

24 団体（平成 26 年）→ 30 団体（平成 31 年）

・ おもてなし塾参加者数

40 人（平成 26 年）→ 50 人（平成 31 年）

iv. 情報発信の充実

1) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細やかな情報発信

- 本県への旅行の動機付けとなるよう、県観光ホームページの充実、観光

客のニーズや嗜好に応じた魅力発信やファミリー層などターゲットを絞った情報発信を行う。

- 首都圏をはじめとした全国への発信力を強化するため、いしかわ観光特使や県人会等を活用し、口コミによる情報発信に取り組む。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ 県観光ホームページへのアクセス件数
592,403件（平成26年）→ 900,000件（平成31年）
- ・ いしかわ観光特使数
683人（平成26年）→ 700人（平成31年）

2) 本県認知度持続・向上のための情報発信の推進

- 3大都市圏等での本県の認知度をさらに向上させるため、誘客プロモーションを実施するほか、大規模イベントやアンテナショップを活用する。
- 大手旅行予約サイト・福利厚生代行会社を活用し、効果的な情報発信に取り組むほか、観光PRキャラクター「ひやくまんさん」を活用した情報発信に取り組む。
- 北陸新幹線金沢開業を踏まえた新たな重点地域（東北地方）へのプロモーションを実施する。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ 県内観光入り込み客数
2,161万人（平成26年）→ 2,750万人（平成31年）

v. 広域連携による周遊観光の促進

1) 新幹線開業効果の全県波及の促進

- 観光客が、金沢のみならず、加賀・能登を訪れるよう、県内広域周遊旅行商品の造成促進や、県内周遊観光を促進するためのM I C E助成制度の充実を図る。
- 本県の本物の魅力を実感してもらうよう、地域の特徴・素材等を活かしたイベントを実施する。

重要業績評価指標（K P I）

・能登、金沢、加賀地域への観光入り込み客数

能登地域：6,932 千人（平成 26 年）→ 8,800 千人（平成 31 年）

金沢地域：8,442 千人（平成 26 年）→ 10,800 千人（平成 31 年）

加賀地域：6,238 千人（平成 26 年）→ 7,900 千人（平成 31 年）

2) 県域を越えたテーマ性のある周遊観光の促進

- 近年、複数の県にまたがり旅行する観光客が増えていることから広域観光を促進するため、北陸 3 県及び J R と連携したキャンペーンの実施や、空港を活用した広域旅行の推進に取り組む。
- 広域観光に取り組むため、環白山広域観光推進協議会、加賀越前広域観光推進協議会等による連携や、近隣県等との連携を図る。

重要業績評価指標（K P I）

・県内観光入り込み客数

2,161 万人（平成 26 年）→ 2,750 万人（平成 31 年）

・白山白川郷ホワイトロードの通行車台数

55,714 台（平成 26 年）→ 80,000 台（平成 31 年）

vi. 海外誘客の促進

1) オリンピック・パラリンピック東京大会開催を見据えた誘客促進

- 海外における本県の認知度の向上のため、海外に向けた積極的な観光 P R 活動の展開や本県のネットワークを活かした P R、多言語による情報発信ツールの充実を図る。
- 北陸新幹線や小松空港など充実した交通インフラを活用した広域連携による周遊観光を促進し、北陸新幹線金沢開業を契機とした新たなゴールデンルートづくり、昇龍道プロジェクトなどによる海外誘客に取り組む。
- 各国の観光ニーズに応じたターゲットを絞った戦略的な取り組みや、成長著しい東南アジアからの誘客を強化するとともに、新規市場の開拓を図る。

重要業績評価指標（K P I）

- ・兼六園の外国人入園者数
229 千人（平成 26 年）→ 460 千人（平成 31 年）
- ・外国人宿泊者数
29 万人（平成 26 年）→ 60 万人（平成 31 年）

2) 受け入れ体制の充実

- 外国人観光客の満足度を高めるため、観光事業者等の受け入れ環境の整備、おもてなしの向上・人材育成、着地型旅行商品の充実に取り組む。

重要業績評価指標（K P I）

- ・通訳ガイドの登録者数
84 人（平成 26 年）→110 人（平成 31 年）
- ・宿泊・観光・飲食施設における公衆無線 LAN、外国語表記、クレジットカード、外国語メニュー普及率
公衆無線 LAN : 70%（平成 26 年）→ 74%（平成 31 年）
外国語表記 : 56%（平成 26 年）→ 62%（平成 31 年）
クレジットカード : 64%（平成 26 年）→ 69%（平成 31 年）
外国語メニュー : 69%（平成 26 年）→ 74%（平成 31 年）

vii. 陸・海・空の更なる交流基盤整備と活用

1) 北陸新幹線の建設促進、道路網の整備、二次交通の充実

- 北陸新幹線の建設促進や道路網の整備などによる交通アクセスの機能充実と活用や、新幹線金沢駅等からの二次交通の充実・強化を図る。

重要業績評価指標（K P I）

- ・能登、金沢、加賀地域への観光入り込み客数
能登地域 : 6,932 千人（平成 26 年）→ 8,800 千人（平成 31 年）
金沢地域 : 8,442 千人（平成 26 年）→ 10,800 千人（平成 31 年）
加賀地域 : 6,238 千人（平成 26 年）→ 7,900 千人（平成 31 年）

2) 小松空港・のと里山空港の航空ネットワークを活用した交流促進

- 新幹線と航空との相乗効果を図るため、新幹線と航空を組み合わせさせた新たな旅行商品造成支援や、航空の強みを活かし、羽田乗継の利用促進などを行う。

- 小松空港については、北陸新幹線金沢開業により大きく変化した航空を取り巻く環境に対応すべく、新規航空需要の開拓・定着を図りつつ、国内線・国際線の利用促進、国際物流拠点化の推進などの取り組みを戦略的に進める。
- のと里山空港については、新幹線との連携等を通じた新規需要開拓・定着など、首都圏・地元双方向での利用促進に取り組む。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ 小松空港の国内線利用者数
2,126,026 人（平成 26 年）→ 1,262,000 人（平成 31 年）
- ・ 小松空港の国際線利用者数
188,194 人（平成 26 年）→ 230,000 人（平成 31 年）
- ・ 小松空港の国際貨物取扱量
10,801 トン（平成 26 年）→ 20,000 トン（平成 31 年）
- ・ のと里山空港の搭乗率
63.6%（12 年目）→ 62%（17 年目）

3) 金沢港・七尾港の整備・利用促進

- 本州日本海側中央に位置し、世界的に評価の高い観光地に近く、また北陸新幹線金沢開業により発着港としての可能性も広がっている金沢港の優位性を活かしたクルーズ船の誘致を図る。
- 荷主に金沢港利用のメリットを P R し、金沢港の取扱貨物の更なる拡大を図る。
- 七尾港における木材取扱量の拡大を図る。

重要業績評価指標（K P I）

- ・ クルーズ船の寄港数
16 本（平成 26 年）→ 30 本（平成 31 年）
- ・ 金沢港のコンテナ貨物取扱量
60,304 T E U（平成 26 年）→ 65,000 T E U（平成 31 年）
- ・ 七尾港の木材取扱量
144,620 トン（平成 26 年）→ 増加（平成 31 年）

(4) ほっと石川観光プラン 2016

石川県では、観光施策に関する個別計画として、平成 28 年度（2016 年度）から平成 37 年度（2025 年度）を対象期間として、「ほっと石川観光プラン 2016」を策定している。「ほっと石川観光プラン 2016」の内容を以下に記載する。

① 観光振興基本戦略

- i. 県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンの拡大を図る取組を強化する。

県民生活との調和を図りつつ、石川ならではの個性を活かした質の高い「本物」の文化の魅力を、誰もが存分に体験できる観光地づくりを進め、観光客の満足度を高めることにより、石川に愛着を持ち、繰り返し訪れる「石川ファン」の拡大に繋げていく。また、県民一人ひとりが、自らの地域の魅力への愛着を深め、守り育てていく気持ちをさらに醸成していくことも重要である。

- ii. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催とその後を見据えた海外誘客を促進する 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催による我が国への注目の高まりを好機として、海外誘客をさらに促進するため、本県認知度の更なる向上や、北陸新幹線等の充実した交通インフラを活かした広域連携による新たなゴールデンルートづくりを目指し、オリンピック以降も海外旅行者に選ばれる魅力づくりを推進する取組を強化する。

- iii. 次代を担う石川の観光人材を育成する

生産年齢人口が減少していく中、北陸新幹線金沢開業により新たなステージに立った本県の観光を、地域間競争に勝ちぬき、将来にわたり石川の活力を牽引する基幹産業として飛躍・発展するため、次代を担う観光人材の育成に向けた取組を強化する。

② 重点戦略と施策の展開

- i. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大

- 1) 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進

■ 観光魅力の発掘・磨き上げ

県民生活との調和を図りつつ、地域の新たな観光魅力の発掘と磨き上げの取り組みを強化し、観光地としてのブランド力の向上を図る。

(例) 能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくりなど

観光総合プロデューサー、観光ブランドプロデューサー等の助言を受け、新たな観光魅力の創造に努める。

(例) 石川の音楽文化とロックの融合による新たな魅力の発信など

■ 体験観光プログラムや周遊型観光の旅行商品化の促進

「本物」の旅を求める近年の旅行ニーズを踏まえ、石川ならではの体験観光プログラムの開発・旅行商品化に取り組む。

(例) 産業観光、グリーンツーリズム、スローツーリズムなど

新幹線開業効果を県内全域に波及させるための周遊型観光の旅行商品化を促進する。

(例) いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催、本県を周遊する旅行商品づくりへの支援など

2) 石川の優れた文化を活かした誘客の促進

工芸、芸能、祭り、食など、石川の豊かで質の高い「本物」の文化の魅力を県内外に発信するとともに、その魅力を活かしたテーマ性の高い旅行商品の造成を推進するなど、石川の優れた文化を活かした誘客を促進する。

(例) 日本遺産・いしかわ歴史遺産等の文化遺産を活用した観光誘客、首都圏アンテナショップを活用した伝統工芸や食文化、祭りのPR、能や邦楽、金沢芸妓の舞など石川ならではの伝統芸能体験や食のイベント開催、など

3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

■ 地域の個性を活かした観光地の活性化

地域の観光団体等の意欲的な取り組みを支援するなど、地域の魅力アップと活性化を推進する。

(例) 観光地活性化推進事業など

新幹線開業効果の県内全域への波及を図るため、能登、加賀、金沢それぞれの地域が一体となった魅力的な観光素材づくりや誘客イベントの開催など、受け地の観光魅力づくりを推進する。

(例) 能登・加賀・金沢における広域観光対策（能登ふるさと博、加賀四湯博含む）、いしかわスイーツ博など

■ 地域の特徴を活かしたハード・ソフト両面からのまちづくりの推進

伝統的な建造物を活かし風情のある街並みを形成するため、景観の保全と修景整備に取り組む。

(例) 観光地活性化推進事業など

高齢者や障がい者の方々など全ての人たちが安心して観光を満喫できる環境整備に努める。

(例) ユニバーサルツーリズムの推進など

■ 金沢城復元整備（第三期以降計画の推進）

鼠多門・鼠多門橋の復元整備などを柱とする第三期整備計画に基づき、引き続き県都金沢のシンボル公園として、本物志向で史実性の高い整備を進め、「加賀百万石」のブランドイメージの向上を図る。

4) M I C Eや教育旅行誘致の推進

■ M I C E誘致の推進

M I C Eの開催を支援する助成制度を活用し、年間を通してバランスの取れた計画的なM I C E誘致を図る。

コンベンション開催に必要な情報提供や相談対応等を担う公益財団法人金沢コンベンションビューローや市町、民間事業者との連携を強化する。

(例) 公益財団法人金沢コンベンションビューローの取組充実など

■ アフターコンベンションの充実

石川の誇る歴史や伝統文化等を活かした魅力あるアフターコンベンションプランを提案し、参加者のコンベンション終了後の県内観光を促進する。

■ 教育旅行の戦略的誘致の推進

誘致可能性の高いエリア等にターゲットを絞るとともに、本県の強みを活かした学習プログラムを提案するなど、旅行会社と連携した戦略的な誘致に取り組む。

ii. 石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上

■ 観光客の声を活かしたおもてなしの向上

アンケート調査による観光客の声を観光業界全体で共有し、具体的な改善、おもてなしの向上に繋げ、観光客の満足度向上を図る。

(例) お客様の声を活かすおもてなし向上事業など

- 事業者のおもてなし向上
ホテル、旅館、交通事業者など観光関連企業の従業員等を対象とした研修会を開催し、おもてなし力の向上を図る。
(例) 観光おもてなし塾の開催など
- 県民のおもてなし向上
県民を対象とした研修会を開催し、日常生活における県民のおもてなしの意識向上を図る。
(例) 観光おもてなし講座の開催など
- 金沢駅観光案内所等の機能・サービスの充実
観光客のニーズに応じた観光案内機能やサービスを充実するなど利便性の向上に努める。

iii. 石川ならではの魅力の発信

1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

- 3大都市圏など重点エリアでの誘客プロモーションやイベントの実施
北陸新幹線敦賀開業（県内全線開業）も見据え、JRをはじめとした交通事業者や大手旅行代理店等と連携した誘客プロモーションやイベント、アンテナショップ等を活用した情報発信を強化する。
(例) 鉄道事業者と連携した車内広告、駅構内PR、大手旅行代理店と連携したPR、百貨店と連携した観光物産展の開催など
- 観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」の活用
観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、マスメディア、ホームページ、イベント等を通じた情報発信を強化する。

2) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信

- 県観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」の充実
観光情報が的確に提供できるよう、県観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」の内容の充実を図る。
- 観光客のニーズや嗜好に応じた魅力発信
石川ファンの拡大を図るため、観光客のニーズや嗜好に応じた、きめ細かで多様な観光情報を提供する。
(例) 観光ガイドブック「ちょっと石川」、「もっと石川」の発行など

- いしかわ観光特使・県人会等による情報発信
いしかわ観光特使のロコミによる情報発信を推進する。
全国各地の県人会等のネットワークを活かした情報発信を推進する。
(例) 大手飲食店情報検索サイトと連携した、「いしかわ観光特使」によるロコミ情報の発信など
- SNSなど効果的な媒体を活用した情報発信
SNSや旅行予約サイトなど、急速に利用が拡大しているICTを効果的に活用した情報発信に取り組む。
(例) 大手旅行予約サイトと連携したSNSユーザーによる一押し情報の発信など

iv. 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進

- JRと北陸三県が連携したキャンペーンの実施
JRと北陸三県が連携した北陸エリアでの広域周遊観光を促進する。
(例) JRと北陸三県が連携した誘客キャンペーンの展開
- 隣県や新幹線沿線県等との連携
環白山広域観光推進協議会、加賀越前広域観光推進協議会等での活動を通じて周遊観光を促進する。

v. 海外誘客の促進

1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度向上

- 海外に向けた積極的な観光PR活動の展開
旅行博覧会等への参加、海外メディアやインターネットを通じた情報発信等により、海外での認知度向上を図る。
(例) 海外旅行博覧会出展、海外メディア招聘、国内外の旅行会社との連携強化、世界最大手の旅行予約サイトを活用した情報発信(欧米豪、香港)、欧州における観光誘客業務を担う代理人の設置、在京海外特派員の招聘、国内ランドオペレーターと連携した誘客の促進など
- 石川のネットワークを活かしたPR
海外に在住する石川県観光親善大使や海外県人会、県内留学生等のネットワークを有効に活用した情報発信に取り組む。

(例) 石川県観光親善大使、県海外事務所、県内留学生、JET 青年、海外県人会、海外進出企業等のネットワークを活かしたPR 強化など

■ 多言語による情報発信ツールの充実

多言語によるホームページ・パンフレットや映像コンテンツを活用し、本県の観光魅力を広く海外に発信する。

(例) ホームページやパンフレットの多言語化、映像コンテンツの制作など

2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を活かした誘客の促進

■ 北陸新幹線など充実した交通インフラを活用した広域連携による周遊観光の促進

北陸新幹線沿線自治体等連携によるJR等の周遊パス（北陸アーチパス等）を活用した新たなゴールデンルートの構築に取り組む。

(例) 北陸新幹線沿線自治体との連携による国際旅行博への出展やメディア招聘など

小松空港・のと里山空港を活用した誘客を促進する。

県内発着クルーズの前後泊ツアー等の新たな需要の開拓など、陸・海・空の充実した交通インフラを最大限活かした広域周遊観光を促進する。

■ 外国人旅行者のニーズに応じた戦略的取り組みの推進

スポーツ・レジャーツアーや教育旅行の誘致など、各国・地域の観光ニーズに応じた誘客の取り組みを推進する。

(例) 各国の市場に精通したアドバイザーやコーディネーターの活用、スポーツ・レジャー旅行、アフタースキー観光客の誘致促進など
歴史や文化、伝統など石川の強みを活かし、本物志向の個人旅行者や富裕層の誘客に取り組む。

(例) 個人旅行の誘致強化、着地型旅行商品の充実、鉄道の魅力を活かした誘客（観光列車、北陸新幹線グランクラス等）、体験型旅行商品の充実（料理体験、和太鼓づくり等）、ドライブ観光の推進、SIT（スペシャル・インタレストツアー）の情報発信強化、長期滞在プログラムの開発（九谷焼陶芸教室等）など

■ MICE誘致の推進

経済波及効果が大きい海外企業によるインセンティブ旅行・会議の誘

致を推進する。

(例) ユニークベニュー・特別な体験の発掘、東京都との連携による相互の魅力を活かした視察旅行の受け入れ・共同パンフレットの作成、旅行博への出展など

■ 新規市場の開拓

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、今後誘客が期待できる新たな市場の開拓に取り組む。

(例) スペイン、イタリア、ブラジルなど

3) 外国人受入環境の充実

■ 観光事業者等への普及啓発

観光事業者や市町を対象とした外国人旅行者受入環境セミナーを開催し、受入環境の充実を図る。

(例) 外国人受入環境セミナーの開催（飲食店多言語メニュー、無線LAN等）など

■ おもてなしの向上

観光事業者等を対象としたインバウンド研究会の開催、観光案内所の機能充実、通訳ガイド研修の開催等により、おもてなしの向上を図り、石川ファンを拡大する。

■ 災害時等における避難誘導マニュアルの周知

国が作成した外国人旅行者向け「災害情報提供アプリ」や市町、観光事業者向け「緊急時の初動対応マニュアル」の周知を図る。

vi. 観光振興を担う人材の育成

■ 次代を担う観光人材の育成

本県の観光を将来にわたり石川の活力を牽引する基幹産業として飛躍・発展させるため、産学官の連携により次代の石川の観光産業を担う人材を育成する。

(例) いしかわ観光創造塾の開催など

■ おもてなし人材の育成・充実

ホテル、旅館、交通事業者など観光関連企業の従業員等を対象とした研修会を開催し、おもてなし力の向上を図る。

(例) 観光おもてなし塾の開催など

県民を対象とした研修会を開催し、日常生活における県民のおもてなしの意識向上を図る。

(例) 観光おもてなし講座の開催など

観光案内所職員のスキルアップ、観光ボランティアガイドの育成に取り組む。

(例) ほっと石川観光ボランティアガイド連絡協議会との連携

vii. 交流基盤の整備と活用

1) 陸上交通網の活用

平成34年度末までの金沢・敦賀間の開業が確実に実現するよう整備を促進するとともに、大阪までのフル規格による早期全線整備を促進する。

能越自動車道等の高規格幹線道路の整備を促進する。

「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想を推進する。

2) 航空路線の活用

小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した人・ものの交流を促進する。

のと里山空港の利用促進と、にぎわい創出による地域拠点としての活性化を図る。

3) クルーズ船の戦略的な誘致

釜山港等の他港とも連携し、金沢港を発着地とするクルーズ船などの戦略的な誘致を進める。

クルーズ船の受入体制を充実するとともに、金沢港の発着港としての定着に向け、県内及び周辺地域におけるクルーズ需要の喚起を図る。

4) 二次交通の充実

関係機関と連携した公共交通の利便性向上・利用促進を図るとともに、観光列車（JR七尾線「花嫁のれん」、のと鉄道「のと里山里海号」）を活用した観光誘客に取り組む。

陸・海・空の交流拠点へのアクセス道路の整備、道の駅等の機能の拡充を推進する。

(例) 加賀地域における二次交通の充実（観光名所を巡る観光タクシーの導入支援）

③ 推進体制

観光施策の推進に当たっては、県、市町、観光団体、事業者等がそれぞれの役割を認識し、相互に連携・協力・補完しながら推進することとし、各団体等の役割は、概ね次のとおりとする。

i. 県の役割

全県レベルの観光プロモーション活動、観光イベントの開催、新たな観光素材の発掘など県観光連盟と連携し、本プランの目標達成に向け様々な施策を推進するとともに、兼六園・金沢城公園など本県を代表する観光施設の整備や北陸新幹線の敦賀延伸など陸・海・空の交通インフラの充実に努める。

ii. 連盟の役割

県下全域を活動範囲とする唯一の観光団体として、観光プロモーション活動、観光イベントの開催、新たな観光素材の発掘、観光情報センターの運営、観光人材の育成などに加え、市町が行う観光振興事業への支援など、県と連携しソフト面における観光振興施策を推進するとともに、市町、観光団体等を代表して、県等に対し観光振興に関する政策提言を行う。

iii. 市町の役割

地域の観光資源の発掘・磨き上げ、他の市町との連携による新たな観光魅力の創出、地域の伝統文化の保存継承、地域の観光施設・インフラの整備など、地域の観光振興のけん引役として観光振興に関する施策をハード・ソフト両面から推進する。

iv. 市町観光協会等の役割

地域の観光振興を担う団体として、市町、観光関係事業者と広く連携・協力をして地域の観光資源の発掘、磨き上げや観光客のおもてなし向上、観光誘客イベントの実施などに取り組む。

v. 観光関係事業者の役割

自らが観光振興の第一線に立ちお客様を迎える立場にあることを深く自覚し、一人ひとりのお客様から 100 パーセントの満足を頂くことを目指しておもてなしに心がけるとともに、市町、地域の観光団体と連携・協力をして観光振興施策に積極的に参画する。

vi. 県民の役割

訪れる人々を温かく迎えるおもてなしを心掛け、県民の財産である地域の自然や文化を大切にし、自らも心と体の健康増進のため積極的に観光リクリエーションを楽しむとともに、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりに積極的に参加する。

(5) 石川県観光政策に関する提言

【指摘事項 1】

県の観光事業については、予算ベースで約4割（平成28年度）が公益社団法人石川県観光連盟（以下「連盟」という。）を通じて執行されているが、連盟の本部職員61名中55名（平成29年4月以降は27名）が県職員との兼職となっている。

石川県補助金交付規則では、補助事業の成果の報告を受けた際、「その報告に係る補助事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに附した条件に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めたとき」に補助金の額を確定することとしている。しかるに、連盟が実施する補助事業については、このような兼職関係により、連盟の実績報告者と県の確認者が同一人物となるケースが生じている。このことは、法令、条例、規則等の形式的な違反はないが、民間企業における内部統制と比べて十分な監視やガバナンスが効いているとまでは言えない状況にあり、実績報告書の確認体制の改善が必要である。

【意見 1】

補助事業の適切な執行を確実にするためにも、例えば、連盟職員の大半が県職員と兼職となっている現状をできる限り早期に解消するなど、改善のための検討が求められる。

【意見 2】

県の観光事業における連盟の期待役割は、ほっと石川観光プラン推進ファンド設立の趣旨でもある官民一体での重点強化施策を主体的に取り組むことにある。この期待役割は、観光庁が推進している「DMO」（観光地域づくりを持続的・戦略的に推進し牽引する観光振興組織）の役割にも通じるものであると考えられる。この実現のためには、県だけでなく地域の多様な関係者の合意形成をリードし、観光戦略の策定と実行に責任を担う組織・人材を有していることが必要である。

このため、県においては、連盟による専門的な専任人材の育成とこれに必要な支援を行うことが望まれる。

なお、観光施策の実施にあたっては、絶えず変化する市場動向、トレンド、顧客の嗜好等を把握したうえで、誘客ターゲットを明確化し、効果的な打ち手を講じることが重要である。

また、多様な主体が連携・協力して観光振興を進めるうえで、県がどのようにターゲット設定を行い、当該ターゲットの誘客・受入に向けてどのような取組を行うかを関係者間で共有することも求められる。

目標達成に向け、上記取組の他、地域別に観光施策の方向性を検討することもまた望まれる。

3. 観光行政に関する石川県の組織

(1) 担当課

観光戦略推進部の各課は、以下のとおりである。

担当課	主な事務、事業
企画調整室	<ul style="list-style-type: none"> ・観光戦略推進部内の政策、計画及び予算の企画調整に関すること。 ・観光戦略推進部内の人事、組織及び定数の管理及び企画調整に関すること。 ・観光戦略推進部内の事務の連絡調整等に関すること。
観光企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する総合的な戦略の企画立案及び推進に関すること。 ・他府県在住石川県人（会）との連絡に関すること。 ・観光関係団体の育成指導に関すること。 ・観光誘客イベントの企画及び実施に関すること。 ・ニューツーリズムの振興に関すること。 ・県内の魅力向上及び発信に関すること。 ・観光人材の育成等に関すること。 ・温泉地の活性化に関すること（他課の分掌事務を除く。）。 ・旅行業に関すること。 ・保健休養林事業に関すること。 ・観光交流施設整備に関すること。 ・石川県県民ふれあい公社との連絡及び調整に関すること。 ・海の自然生態館、いしかわ動物園及びふれあい昆虫館に関すること。 ・観光戦略推進部主管事務で他の分課に属しないこと。 ・観光戦略推進部の企画調整室の庶務に関すること （総務事務管理室の分掌事務に係るものを除く。）。
誘客戦略課	<ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客戦略の企画立案及び推進に関すること。 ・観光宣伝及び観光客の誘致に関すること。 ・国内での観光宣伝及び誘客の促進に関すること。 ・コンベンション等の誘致に関すること。
国際観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること。 ・海外からの誘客の促進に関すること。 ・外国人観光客の受入体制の整備に関すること。 ・通訳案内士に関すること。
国際交流課	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流の総合的な企画及び調整に関すること。 ・国際交流に関する情報収集及び啓発に関すること。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流事業及び国際協力事業に関すること (他課の分掌事務を除く。) ・国際交流関係団体の育成指導に関すること。 ・旅券に関すること。 ・海外移住石川県人(会)との連絡に関すること。 ・外国公館等に関すること。 ・国際交流センターに関すること。
--	--

(2) 公の施設

観光戦略推進部の所管する公の施設のうち、監査対象としたものは以下のとおりである。なお、本監査においては、「ほっと石川観光プラン2016」との関連性を重視する観点から、各施設の概要及び利用者数の把握にとどめた。

施設名	担当課
いしかわ動物園	観光企画課
石川県ふれあい昆虫館	観光企画課
石川県海の自然生態館	観光企画課

(3) 第三セクター

観光戦略推進部の所管する第三セクターのうち、監査対象としたものは以下のとおりである。

団体名	担当課
公益財団法人金沢コンベンションビューロー	誘客戦略課

また、この他に財政的援助団体のうち主要な者として公益社団法人石川県観光連盟がある。なお、本監査においては、各団体の「ほっと石川観光プラン2016」と関連する事業について検討対象とした。

第三. 監査の結果（県事業）

事業総括

監査対象事業として取り上げた事業

監査対象である平成 28 年度の観光戦略推進部観光企画課、誘客戦略課、国際観光課の実施事業のうち、最終予算金額が 10 百万円以上の事業を監査対象事業とした。また、これに加えて、最終予算金額 10 百万円未満の事業の中から「ほっと石川観光プラン 2016」での位置づけが重要と考えられるなど監査人が検討を要すると判断した事業も監査対象事業とした。

(最終予算金額 10 百万円以上の事業)

(単位：千円)

事業 番号	事業	28 年度 最終予算	担当課	ページ
1	ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金	15,000,000	観光企画課	38
2～4	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	92,000	観光企画課	40
	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	51,000	誘客戦略課	
	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	39,000	国際観光課	
5	石川県観光連盟補助金	16,350	観光企画課	45
6	石川県金沢観光情報センター運営費	(※)24,458	観光企画課	47
7	本多の森ホール運営委員会運営資金貸付金	30,000	観光企画課	49
8	本多の森会議室運営費	13,977	観光企画課	52
9	観光誘客キャンペーン推進事業費	12,500	観光企画課	54
10	「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費負担金	17,600	観光企画課	59
11	観光イベント開催費補助金	54,750	観光企画課	64
12	加賀温泉旅館等誘客促進事業費補助金	11,099	観光企画課	74
13	観光地活性化推進事業費補助金	20,450	観光企画課	78
14	いしかわスイーツ博 2016 開催費負担金	15,000	観光企画課	82
15	名古屋観光物産案内所運営費	14,804	誘客戦略課	85
16	首都圏等誘客促進事業費	10,900	誘客戦略課	88
17	金沢コンベンションビューロー運営費補助金	17,596	誘客戦略課	92
18	新幹線開業 1 周年キャンペーン事業費	11,500	誘客戦略課	96
19	海外誘客プロモーションツール制作費	27,000	国際観光課	99
20	海外誘客情報発信事業費補助金	24,160	国際観光課	101

(※) うち連盟に対する委託料：21,415 その他：3,043

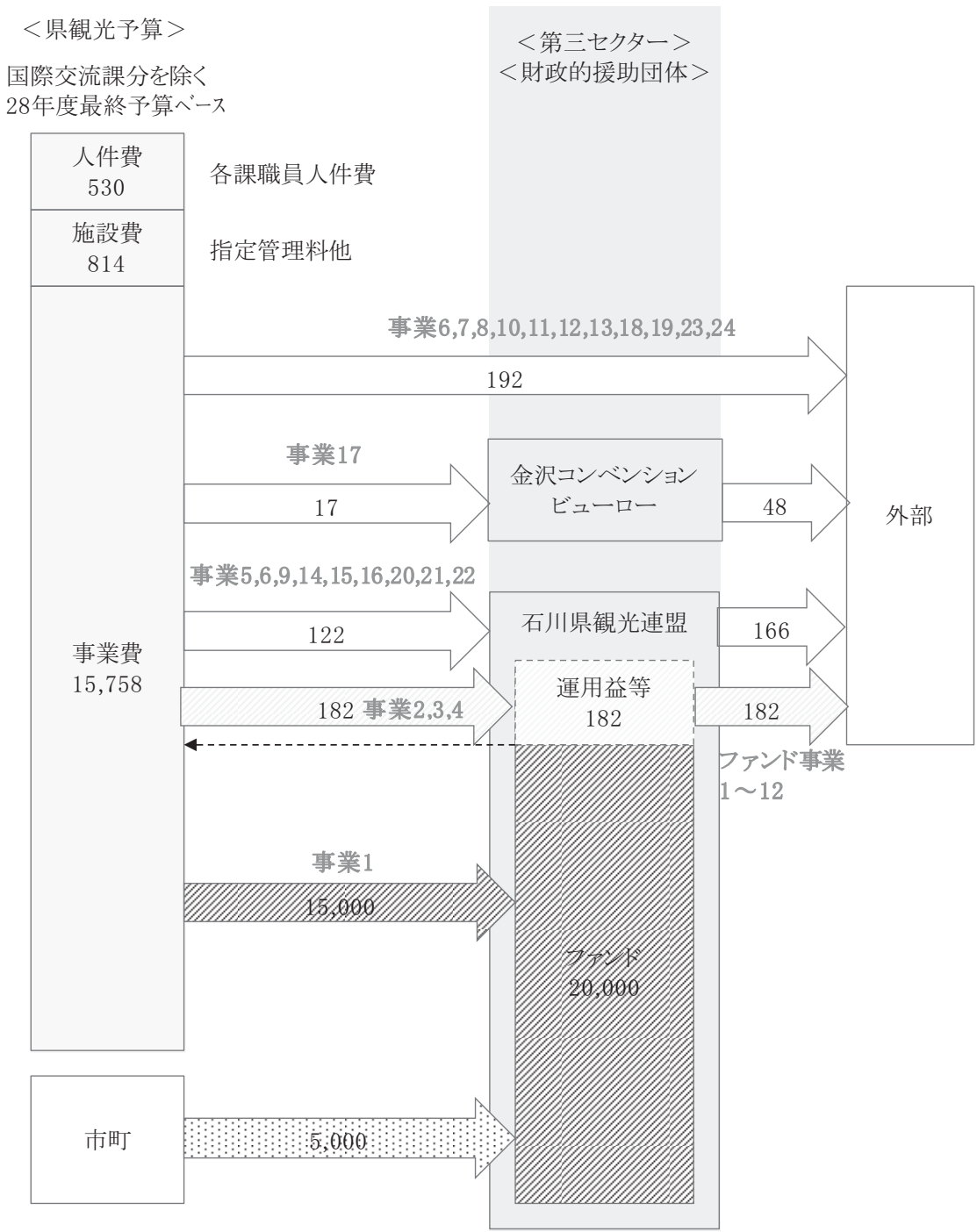
(監査対象とした最終予算金額 10 百万円未満の事業)

(単位:千円)

事業 番号	事業	28 年度 最終予算	担当課	ページ
21	S N S で発信する「いしかわのイチ押し」 キャンペーン事業	5,000	観光企画課	103
22	お客様の声を活かすおもてなし向上事業補助 金	2,000	観光企画課	106
23	外国人受け入れ環境整備事業	2,170	国際観光課	110
24	「ふれあいと体験の旅」推進事業	650	観光企画課	113

今回の監査対象事業の資金の流れは、次図のとおりである。

(単位:百万円)



1. (事業1) ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金

(1) 造成目的

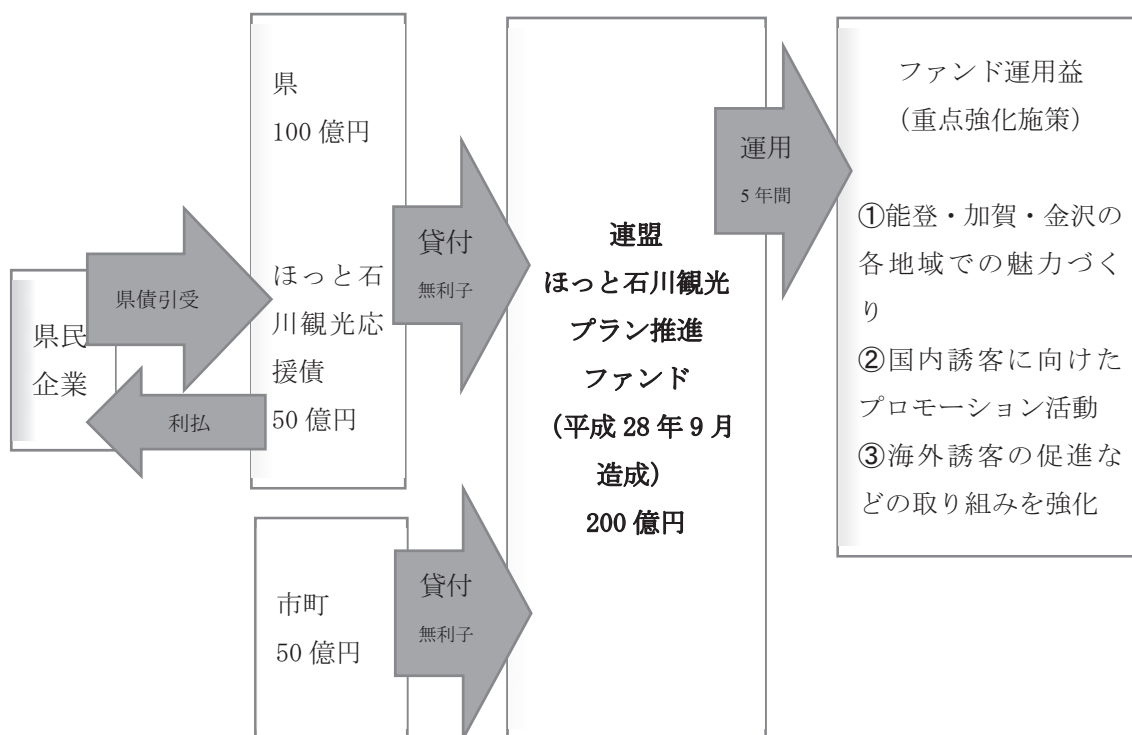
平成 27 年度に新たに策定した「ほっと石川観光プラン 2016」においては、平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピックや平成 34 年度末までの北陸新幹線敦賀延伸などの環境変化を見据えた観光施策が必要とされている。とりわけ、重点的に取り組みを強化すべき課題は、以下のとおりである。

- ① 開業効果の県内波及のための「県内広域エリアの魅力づくり対策」
- ② 開業効果を持続するための「国内誘客戦略」
- ③ 開業効果のさらなる拡大のための「海外誘客対策」

このため、「ほっと石川観光プラン 2016」の前期 5 年間の重点強化施策に官民一体で取り組むための財源対策としてほっと石川観光プラン推進ファンド（以下「ファンド」という。）を造成する。

(2) スキーム

当該ファンドを巡るスキームを整理すると、以下のとおりである。



(3) 県貸付金の概要

(2)に記載のとおり、ファンドの原資は県や市町による貸付金である。このうち、県貸付金の概要は、以下のとおりである。

- ①貸付者：石川県
- ②借入者：公益社団法人石川県観光連盟
- ③目的：ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金要綱に基づく貸付金として運用

第5条 乙は、この貸付金を元本を取り崩さず、最も確実かつ有利な方法によって運用するものとする。

2 運用は、銀行その他の金融機関への預金、国債、地方債、政府保証債（その元本の償還及び利息の支払について政府が保証するものをいう。）等により行うこととする。

(出典：ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金要綱)

ほっと石川観光プラン推進ファンドについては全額県債で運用

- ④貸付金額：15,000,000,000円
- ⑤貸付期間：平成28年9月9日から平成33年9月9日まで
- ⑥貸付利率：無利子

(4) 監査手続

ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金の執行が石川県財務規則及びほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金要綱に準拠して実施されているか確かめるため、ヒアリング及び関連書類（各種起案文書、支出命令書、貸付契約書、貸付申請書等）の査閲を実施した。

(5) 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

2～4. (事業2～4) ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金

(1) 概要

貸付金 182,000,000 円については、ファンドの利息が入金されるまでの間のつなぎ資金として、県が連盟に貸し付けるものである。経費負担所属と金額は以下のとおりである。

(単位：円)

経費負担所属	金額
観光企画課	92,000,000
誘客戦略課	51,000,000
国際観光課	39,000,000
計	182,000,000

貸付期間は平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までであり、平成 28 年 4 月 1 日に全額を貸し付けた上で平成 29 年 3 月 31 日に全額の返済を受け、貸付利息は無利息とされている。

(2) 監査手続

貸付金執行・回収が、石川県財務規則及びほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金要綱に準拠して実施されているか確認するため、ヒアリング及び関連書類(各種起案文書、貸付申請書、貸付契約書、収納済通知書等)の閲覧を実施した。

(3) 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(4) 県による管理

県による事業評価の内容

県が実施する目標管理型行政経営システム(※)の結果は次頁のとおりである。なお、事業の有効性の評価は、上から順に A (効果が高い)、B (想定した効果がでていない)、C (ある程度の効果がでていない)、D (効果が低い) の四段階からなる。

事業評価の内容については、「意見」の対象となった本事業のみ記載することとする。

※各所属が事業に対する目標を立て、自らその成果を評価して見直しにつなげる一連の仕組み(評価対象は「石川県長期構想」に関連する事業に重点化)

観光企画課

事業の有効性（費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）
<p>【評価】 B</p> <p>【評価の理由】</p> <p>北陸新幹線金沢開業効果を全県に波及させるため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進、特設サイトを活用した観光特使による口コミ情報の発信等を行った結果、観光入り込み客数は、前年比約 98.3%の約 24,588 千人と開業前後の落ち込みが見られたものの、平成 26 年比約 113.8%と開業前を大きく上回った。</p>
今後の方向性（県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）
<p>【評価】 継続</p> <p>【評価の理由】</p> <p>引き続き、「ほっと石川観光プラン 2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の全県波及のため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みを推進し、県内全域への誘客を図る。</p>

誘客戦略課

事業の有効性（費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）
<p>【評価】 B</p> <p>【評価の理由】</p> <p>観光入り込み客数は、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動を行った結果、前年比約 98.3%の約 24,588 千人と開業前後の落ち込みが見られたものの、平成 26 年比約 113.8%と開業前を大きく上回った。</p>
今後の方向性（県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）
<p>【評価】 継続</p> <p>【評価の理由】</p> <p>引き続き、「ほっと石川観光プラン 2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、国内誘客に向けたプロモーション活動を展開する。</p>

国際観光課

事業の有効性（費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）
<p>【評価】 A</p> <p>【評価の理由】</p> <p>平成 28 年 3 月に策定したほっと石川観光プラン 2016 において目標として掲げた、海外誘客 100 万人の実現に向け、高い経済効果が期待できる取り組みとして、欧米等に広</p>

<p>いネットワークを持つ東京都や、先進的な富裕層誘客に取り組む京都市等と連携した招へい等を実施したほか、「ルレ・エ・シャトー」と自治体としては初めて海外認知度の向上や誘客促進に関する合意書を締結するとともに、情報発信力のある主要メンバーを招へいするなど、今後の誘客の足がかりを築くことができた。</p> <p>このほか、世界最大の旅行予約サイト「エキスペディア」を活用した情報発信や、欧州代理人の設置による情報の集約と発信を行うなど、本県の認知度の向上と情報発信の強化を図ることができた。</p>
<p>今後の方向性（県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）</p>
<p>【評価】 継続</p> <p>【評価の理由】</p> <p>本事業は中長期的な視点での事業実施が必要であり、今般得られた富裕層を顧客として持つ組織や旅行会社などとのネットワークの構築を更に進めるとともに、引き続き本県の認知度の向上と情報発信の強化に努める。</p>

【意見3】

「ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金」の事業評価では、評価指標として観光入り込み客数を設定している。平成28年の観光入り込み客数は、前年比約98.3%と北陸新幹線金沢開業後の落ち着きが見られたものの、平成26年比約113.8%と開業前を大きく上回ったことから、「想定した効果がでていいる」と評価している。

この評価要因として「ロコミ情報の発信」を挙げているが、平成28年度実績は22件であり、また同年11月から実施したものであるため、評価の要因とするには不十分である。

今後は、入り込み客数の実績について適切に要因分析を行うことが望まれる。

(5) ファンド事業の内訳

上記の貸付により、平成 28 年度に連盟が実施したファンド事業の一覧は下表のとおりである。本監査で取り上げた各事業については、以下表のページを参照されたい。

(単位：千円)

目的	連盟事業	金額	担当課	ページ
1 能登・加賀・金沢の各地域での魅力づくり	【能登】北陸新幹線開業 1 周年「能登祭り」、 「KAHOKU MUSIC FES 2016」の開催など	15,000	観光企画課	116
	【加賀】「加賀の國 観光グランキャブ」の導 入支援、「加賀四湯博」の開催など	45,000	観光企画課	123
	【金沢】特別ツアーの開催、食や夜の魅力の 発信	20,000	観光企画課	141
	計	80,000		
2 国内誘客に向けたプロモーション	北陸新幹線開業 1 周年記念イベントの開催	30,000	誘客戦略課	133
	観光特使を活用した口コミ情報の発信	3,000	観光企画課	131
	旅行会社に対する旅行商品造成への アプローチ	5,000 (3,000) (2,000)	観光企画課 誘客戦略課	-
	観光物産展への出展	3,000	誘客戦略課	-
	「ひやくまんさん」を活用した P R	15,000	誘客戦略課	139
	松任谷由実氏を石川県観光ブランド プロデューサーに委嘱	1,000	誘客戦略課	-
	計	57,000		
3 海外誘客の促進	東京都と連携した M I C E の誘致	10,000	国際観光課	145
	海外大手インターネット旅行社を活用した個 人旅行者の誘客	9,000	国際観光課	148
	欧州における観光 P R の強化	3,800	国際観光課	-
	メディアを活用した海外誘客の促進	4,000	国際観光課	-
	国内ランドオペレーターと連携した誘客の促 進	3,200	国際観光課	-
	海外富裕層誘客の促進	9,000	国際観光課	151
	計	39,000		

(単位：千円)

目的	連盟事業	金額	担当課	ページ
4 事務費		6,000	観光企画課	-
	合計	182,000		
(内訳)	観光企画課	92,000		
	誘客戦略課	51,000		
	国際観光課	39,000		

5. (事業5) 石川県観光連盟補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	県下全域を活動範囲とする唯一の観光団体として、県と連携しソフト面における観光振興施策を実施するとともに、観光団体を代表として、県等に対して観光振興に関する政策助言を行う連盟に対する運営補助を目的とした補助金である。
事業開始年度	昭和 40 年度
事業費	平成 28 年度実績 16,350,000 円
事業対象	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

連盟の平成 28 年度事業内容

- ・ 観光情報資料作成及び資料提供
- ・ 旅行会社に対する旅行商品造成へのアプローチ
- ・ 観光案内所の運営
- ・ お客様の声を活かすおもてなし向上事業（アンケートの実施）
- ・ 観光物産展への出展
- ・ 産学官連携による観光石川の次代を担う人材の育成
- ・ 観光振興事業総務の実施（専門委員会の運営等）
- ・ 観光キャンペーン事業の実施
- ・ 海外誘客促進事業の実施
- ・ 収益事業（バスチケット、ミールクーポンなどの販売）

(3) 基本計画との関係・整合性

連盟は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系に全体的に関与しており、本事業は個別の重点戦略・施策体系に基づかない。

(4) 事業の合規性

① 監査手続

石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳

(単位：円)

区分	事業費予算	事業費実績	予実差額 (予算-実績)	県補助額
人件費	14,093,000	13,922,662	170,338	
事務費	9,383,000	9,603,697	△220,697	
合計	23,476,000	23,526,359	△50,359	16,350,000

(出典：平成 28 年度交付申請書、平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

出金手続の合规性を検討するため、関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

実績報告書

平成 29 年 3 月 31 日で連盟から県に対して実績報告書が提出され、担当課が検収のうえ、同日付けで確認書を作成している。

なお、実績報告書に添付された平成 28 年度事業報告によれば、職員数は本部 61 名(うち 県職員との兼職 55 名)、石川県金沢観光情報センター他 12 名である。

6. (事業6) 石川県金沢観光情報センター運営費

(1) 事業概要

事業目的・内容	<p>「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略「石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上」に該当する委託契約、補助金である。</p> <p>内容は石川県金沢観光情報センターの運営委託、当該センターの設備負担金及び金沢駅のデジタルサイネージコンテンツ作成に関する委託である。</p>						
事業開始年度	<p>石川県金沢観光情報センターの運営は金沢市が昭和 24 年に開始した。</p> <p>その後金沢市は県内全域の窓口であり、県内全域一体となった観光施策が必要との観点から、石川県と金沢市が共同で連盟に対して観光情報センターの運営を委託する現在の形態となった。</p>						
事業費	<p>平成 28 年度実績</p> <table> <tr> <td>運営委託</td> <td>21,182,940 円</td> </tr> <tr> <td>設備負担金</td> <td>2,613,887 円</td> </tr> <tr> <td>コンテンツ制作委託</td> <td>129,600 円</td> </tr> </table>	運営委託	21,182,940 円	設備負担金	2,613,887 円	コンテンツ制作委託	129,600 円
運営委託	21,182,940 円						
設備負担金	2,613,887 円						
コンテンツ制作委託	129,600 円						
支出先	連盟 他						

(2) 石川県金沢観光情報センターの平成 28 年度事業内容

- ① ポスター掲示、チラシ・パンフレットの配布、デジタルサイネージによる観光 PR 壁面のポスター面を活用し、県内全域及び福井県、長野県の観光情報を発信した。チラシ、パンフレットに関しては、壁面什器等を活用し、常時 50 種類以上を配布した。
- ② 旅行業運営業務

大手宿泊サイトを活用した当日予約受付サービス、北陸鉄道株式会社が運行する観光バス乗車券の販売を実施した。

年間実績は、当日宿泊予約は 2,182 件、定期観光バス予約は 1,185 件、周遊バス乗車券販売は 117,697 件であった。
- ③ 宿泊先への手荷物配送業務

大手運送業者と連携し、宿泊場所までの手荷物配送サービスを実施した。

年間の利用実績は 7,383 件となった。

連携業者に関しては、3 年に一度、連盟が各業者から企画書を受領し、連携業者の選定を実施している。

④ 展示スペースを活用した県内伝統工芸PR業務

「いしかわの歳時記」というテーマを設定し、四半期ごとに能登・加賀・金沢のエリア別に石川県の伝統工芸、クラフト、伝統文化等を紹介した。石川伝統工芸に関する体験イベントも3回実施した。

イベント業者に関しては、連盟が毎年、各業者からの企画書を受領し、連携業者の選定を実施している。

⑤ 市町等への催事スペース提供による観光PR

県内自治体や隣県自治体等による観光イベントやポスター展などを開催し、観光客や駅利用者に対しての情報発信を行った。

年間のイベント開催件数は、48件となった。

(3) 事業の合規性

① 監査手続

石川県財務規則に準拠して委託料及び負担金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(4) 支出の合規性

① 平成28年度の支出内訳

(単位：円)

区分	事業費予算	事業費実績	予実差額 (実績-予算)	県支出額	市支出額
人件費	33,151,926	33,151,926	-		
運営費	16,909,036	16,909,036	-		
運営委託合計	50,060,962	50,060,962	-	21,182,940	26,830,022
設備負担金	5,810,724	5,810,724	-	2,613,887	3,196,837
コンテンツ制作委託	129,600	129,600	-	129,600	-
総計	56,001,286	56,001,286		23,926,427	30,026,859

(出典：平成28年度交付申請書、平成28年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

出金手続の合規性を検討するため、関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

7. (事業7) 本多の森ホール運営委員会運営資金貸付金

(1) 事業概要

事業目的・内容	本多の森ホール(北陸電力株式会社(以下「北陸電力」という。))所有)を運営する本多の森ホール運営委員会(コンベンション機能の充実等を目的とする任意団体)に対して、運営資金を貸し付ける。
事業開始年度	平成21年度
事業費	平成28年度実績30,000,000円
支出先	本多の森ホール運営委員会 (構成団体) 石川県、北陸電力、公益財団法人金沢コンベンションビューロー ※本多の森ホール(収容人員:1,707席)は北陸電力が所有し、同社が運営委員会に貸付を行う。

(2) 平成28年度事業内容

貸付条件

- ・貸付時期及び金額
平成28年4月～6月に各月10,000,000円
- ・返済期限
平成29年3月31日
- ・金利
無利息

(3) 基本計画との関係・整合性

「ほっと石川観光プラン2016」における位置づけ

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(4) MICEや教育旅行誘致の推進

(4) 支出の合规性

平成 28 年度の収入・支出内訳

収入の部

(単位：千円)

区分	予算額 A	予算額 B	決算額 C	増減 (C-B)
貸館料	90,000	65,763	66,569	806
雑収入	2,400	2,568	3,074	506
公租公課	4,900	5,452	5,557	105
県・市補助金	-	29,940	29,370	△570
合計	97,300	103,723	104,570	847

(注) 予算額 B は平成 28 年度第 2 回総会で同意を得た決算見込み額をいう。

支出の部

(単位：千円)

区分	予算額 A	予算額 B	決算額 C	増減 (C-B)
催事運営委託費	21,000	20,041	20,047	6
舞台機材費	1,500	1,962	1,948	△14
ホール管理等負担金	51,800	56,794	56,389	△405
舞台保守費	3,600	3,146	3,158	12
事務費	9,400	9,690	10,943	1,253
公租公課費	10,000	12,090	12,085	△5
合計	97,300	103,723	104,570	847

(注) ホール管理等負担金の決算額については、舞台コントロール装置無線化工事 3,100 千円等により当初予算額より大幅に増加している。

(出典：平成 28 年度事業報告・収支計画書)

【意見 4】

「本多の森ホール運営委員会運営資金貸付金」は、特に第 1 四半期の本多の森ホール運営委員会の資金需要を充足するために支出している。

したがって、貸付申請の際に本多の森ホール運営委員会が提出する収支予算書には、そうした資金需要の積算根拠を明示することが望まれる。

また、貸付申請の際に本多の森ホール運営委員会が提出する収支予算書・予算書金額と第 2 回総会で承認される収支予算書・予算書金額との間では貸館料、県・市補助金、ホール管理等負担金の区分での乖離が大きい。

したがって貸付申請時の予算書は決算見込みを踏まえ、能率の尺度となるように設定することが望まれる。

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

貸付金が石川県財務規則に準拠して執行されているかを確認するため、起案文書及び契約書等の関連文書を査閲した。

また、収支決算書の内容について担当課にヒアリングを行い異常の有無を検討した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 県による管理

稼働状況

【意見5】

平成28年度の本多の森ホール及び会議室の日単位での稼働率は、各42.5%、59.6%であるが、時間帯別（コマ別）には稼働率を把握していない。

当該施設の利用を推進するため、時間帯別（コマ別）の稼働率により現状の稼働率を正確に把握することが望まれる。現状を把握することにより、稼働率（KPI）の更なる向上のための具体的なアクションが期待できる。

8. (事業8) 本多の森会議室運営費

(1) 事業概要

事業目的・内容	北陸電力会館「本多の森ホール」及び石川県本多の森庁舎の維持管理に係る経費の負担
事業開始年度	平成 21 年度
事業費	平成 28 年度実績 13,655,156 円
支出先	(生涯学習課を通じて) 北陸電力

(2) 平成 28 年度事業内容

主な内容

・19 節 負担金

光熱水費、保守点検業務等委託費及びその他の経費の合計 45,883,825 円のうち、観光企画課負担部分 13,214,542 円(県・北陸電力間の取り決めに基づく。)

・13 節 委託料

エレベーター保守及び昇降機保守合計 1,136,160 円のうち、観光企画課負担分 327,214 円(県・北陸電力間の取り決めに基づく。)

(3) 基本計画との関係・整合性

「ほっと石川観光プラン 2016」における位置づけ

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(4) MICE や教育旅行誘致の推進

(4) 支出の合規性

① 平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

支出の部 (負担金及び委託料のみ記載)

(単位: 千円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
負担金	14,553	13,214	1,339	
委託料	333	327	6	
合計	14,886	13,541	1,345	

(出典: 平成 28 年度観光企画課作成資料)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

上記の負担金等が石川県財務規則に準拠して執行されているかを確認するため、起案文書、協定書等の関連文書を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

9. (事業9) 観光誘客キャンペーン推進事業費

(1) 事業概要

事業目的・内容	<p>石川県への観光誘客キャンペーン推進事業について、連盟に対し、負担金として 12,500,000 円を支出している。なお、連盟で実施している具体的な事業内容は以下のとおりである。</p> <p>①百万石風情の旅事業</p> <p>目的・内容：金沢エリアにおける誘客促進のためにイベントを開催するほか、旅行雑誌等に特集記事等を掲載。それらの実施を一般社団法人金沢市観光協会（以下「金沢市観光協会」という。）に委託している。</p> <p>②オーケストラ・アンサンブル金沢情報発信事業</p> <p>目的・内容：オーケストラ・アンサンブル金沢のコンサート活動を通し、石川県の知名度とイメージアップを図るため、県外での自主公演で配布するプログラムに広告を掲載。</p>
事業開始年度	平成 4 年度
事業費	平成 28 年度実績 12,500,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

石川県への観光誘客キャンペーン推進事業について、連盟に対し、負担金を支出している。連盟で実施している事業は、以下のとおりである。

① 百万石風情の旅事業

i. 委託先

金沢市観光協会（連盟から左記団体に委託している。）

ii. 事業内容

・誘客プロジェクト（「体感！金沢の旅」開催）

金沢の伝統工芸、芸能、食を体感してもらう着地型イベントを開催する。例年、ほぼ毎月金沢市内でイベントを実施。イベントの参加人数は 20～30 名程度。なお、イベントの参加者は一般公募だが、参加者には旅行会社の人も多く、旅行会社への提案（こういう旅行をやったらどうかという）も兼ねている。

- ・雑誌への情報提供

『サライ』や『日経おとなのOFF』などの雑誌に金沢特集記事を掲載

- ・広域観光ルートの造成支援等

金沢のシティホテル8社で組織する「金沢八家」と連携し、各種プロモーションを実施している。

② オーケストラ・アンサンブル金沢情報発信事業

i. 負担金の支出先

公益財団法人石川県音楽文化振興事業団

ii. 事業内容

国内各地で実施する演奏会において、配布するプログラムに石川県のイメージアップを図る広告を掲載する。各演奏会場と配布部数は、以下のとおり。合計で10,000部配布している。

演奏会場	配布部数	期日
名古屋 愛知県芸術劇場	1,900部	平成28年9月16日
島根 ふるさと会館	1,050部	平成28年9月19日
大阪 ザ・シンフォニーホール	1,800部	平成28年9月22日
東京 紀尾井ホール	900部	平成28年9月23日
富山 アイザック小杉文化ホール	850部	平成29年1月9日
大阪 いずみホール	900部	平成29年1月11日
東京 紀尾井ホール	900部	平成29年1月12日
東京 東京オペラシティ	1,700部	平成29年3月22日

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
3. 石川ならではの魅力の発信	(1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

(4) 事業の合规性

① 監査手続

石川県財務規則に準拠して受託業者の選定・当該契約の締結手続が行われているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
百万石風情の旅事業	2,500,000	2,500,000	-	
オーケストラ・アンサンブル金沢情報発信事業	10,000,000	10,000,000	-	
合計	12,500,000	12,500,000	-	

(出典：平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

連盟による業者選定手続・契約手続・出金手続の合规性を検討するため、当該事業にかかる起案文書及び関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

委託先等から連盟への実績報告はされているが、負担金であることから、連盟から県への実績報告書がなく、県による実績管理は文書上は行われていない。連盟の事務は実質的に県担当者により行われており、また、連盟の起案文書を決裁する際にも決裁ルートに石川県の職位の者も含まれているため、実質的には県で実績管理しているとも言える。なお、連盟への各団体からの実績報告によれば、次頁のとおりである。

実績報告書

i. 百万石風情の旅事業

・誘客プロジェクト（「体感！金沢の旅」開催）

平成 28 年度は、平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月にかけてほぼ毎月金沢市内でイベントを実施。イベントの参加人数は 20～30 名程度。合計 492 名が参加。

なお、8 月のイベント「伝統工芸体験、金沢夏の手作り塾」が 175 名と他の月に比べて多かった。

・雑誌への情報提供

『サライ』1月号(13万7千部)、『日経おとなのOFF』2月号(4万5千部)に金沢特集記事を掲載。

・広域観光ルートの造成支援等

金沢のシティホテル8社で組織する「金沢八家」と連携し、下記プロモーションを実施。

○「金沢・仙台おちかづき街道」旅行商品化相互プロモーションの実施。

(平成 28 年 11 月 30 日～12 月 1 日)

○東南アジアインバウンド誘客プロモーションの実施。

(平成 29 年 3 月 5 日～3 月 10 日)

ii. オーケストラ・アンサンブル金沢情報発信事業

下記のとおり、プログラムを配布した。

演奏会場	配布部数	期日
名古屋 愛知県芸術劇場	1,900 部	平成 28 年 9 月 16 日
島根 ふるさと会館	1,050 部	平成 28 年 9 月 19 日
大阪 ザ・シンフォニーホール	1,800 部	平成 28 年 9 月 22 日
東京 紀尾井ホール	900 部	平成 28 年 9 月 23 日
富山 アイザック小杉文化ホール	850 部	平成 29 年 1 月 9 日
大阪 いずみホール	900 部	平成 29 年 1 月 11 日
東京 紀尾井ホール	900 部	平成 29 年 1 月 12 日
東京 東京オペラシティ	1,700 部	平成 29 年 3 月 22 日

【意見6】

オーケストラ・アンサンブル金沢情報発信事業について、石川県のイメージアップを図る広告が掲載されているプログラムの配布部数は10,000部との報告を受けている。その配布部数については特に確認をしていないとのことである。

プログラムは演奏会の観客一人に対し1部ずつ配布しているということなので、各演奏会の観客実数と配布部数は概ね一致するはずである。観客の実数情報を入手し、配布部数と突合することで実際に配布した部数の確認は行えると推測される。観客実数と配布部数を突合することが望まれる。

10. (事業 10) 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費負担金

(1) 事業概要

事業目的・内容	<p>観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るためのイベントを四季を通じて実施することにより、観光石川の魅力を県内外にアピールし、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図ることを目的とする。</p> <p>主な事業としては、(1) 観光誘客イベントその他観光資源の活用に関する企画及び実施、(2) 観光誘客イベントに係る広報事業である。</p>
事業開始年度	平成 18 年度
事業費	平成 28 年度実績 17,600,000 円
支出先	石川の四季観光キャンペーン実行委員会 (構成団体：石川県、金沢市、協同組合兼六園観光協会、金沢城兼六園商店会、金沢市旅館ホテル協同組合、連盟、金沢市観光協会)

(2) 平成 28 年度事業内容

石川の四季観光キャンペーン実行委員会が実施する下記事業に対し負担金を支出する。

① イベントの開催

金沢城公園及び兼六園におけるライトアップイベント(ミニコンサート、おもてなしカフェ等含む。)として、春の段(10日間)、初夏の段(3日間)、ホテル観賞会(6日間)、夏の段(3日間)、秋の段(23日間)、冬の段(9日間)、早春の段(3日間)の延べ57日間、開催される。

② 広告宣伝事業

「金沢城・兼六園四季物語」で実施するイベントの告知のため、県内観光案内所・観光施設・金沢市内ホテル・JR主要駅・近県SAなどで、ポスター、チラシ、ウェブページにより広報を実施する。また、旅行雑誌などへの記事掲載や新聞広告の掲載を実施する。

(3) 基本計画との関係・整合性

「ほっと石川観光プラン2016」における位置づけ

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、次頁の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による 石川ファンの拡大	(2) 石川の優れた文化を活かした誘客の 促進 (3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 支出の合規性

① 平成 28 年度の収入・支出内訳

収入の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
石川県負担金	17,600,000	17,600,000	-	
金沢市負担金	9,300,000	9,300,000	-	
前年度繰越金	550,256	550,256	-	
合計	27,450,256	27,450,256	-	

支出の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	20,500,000	19,718,710	781,290	金沢城公園・兼六園におけるライトアップイベント実施経費
広報宣伝事業費	6,500,000	6,950,400	△450,400	新聞・雑誌等への広告掲載
事務費	450,256	26,504	423,752	振込手数料、印紙代
合計	27,450,256	26,695,614	754,642	

(出典：平成 28 年度事業報告・収支決算書)

上表のうち、「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費の大部分が、イベント会社に対する委託費 19,700 千円である。また、広報宣伝事業費の大部分が、広告代理店への広報宣伝委託 2,000 千円及び印刷会社に対するチラシ・ポスター制作委託 3,650 千円である。

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

イベント会社に対する委託費 19,700 千円、広告代理店への広報宣伝委託 2,000 千円及び印刷会社に対するチラシ・ポスター制作委託 3,650 千円について、平成 28 年度に行われたプロポーザルによる選定手続の合规性（石川県財務規則との整合性）及び支出金額についての通帳写しとの整合性を確認した。

ii. 監査結果

【意見 7】

金沢城・兼六園のライトアップイベントの実施委託及び左記イベントのチラシ・ポスター制作委託の業者選定において、指名業者の中から参加表明した団体は、各々 1 者のみであった。

不参加理由を把握・分析することにより、競争原理が働くように工夫することが望まれる。

(5) 県による管理

① 事業報告書

県が石川の四季観光キャンペーン実行委員会から入手した事業報告における、イベントの開催実績は、次頁のとおりであった。

回	日時	イベント	来園者数
春の段（10日間）	平成28年4月28日（木） ～平成28年5月7日 （土）18:30～21:00	ミニコンサート、おもてなしカフェ、茶店による特別料理プラン	20,187人
初夏の段（3日間）	平成28年6月3日（金） ～平成28年6月5日 （日）19:00～21:00	ミニコンサート、おもてなしカフェ、茶店による特別料理プラン	6,470人
ホテル観賞会（6日間）	平成28年6月24日（金） ～平成28年6月26日 （日） 平成28年7月1日（金） ～平成28年7月3日 （日）20:00～21:30	ホテル生息スポット散策、解説	1,084人
夏の段（3日間）	平成28年8月18日（木） ～平成28年8月20日 （土）18:30～21:00	ミニコンサート	7,528人
秋の段（23日間）	平成28年11月18日（金） ～平成28年12月10日 （土）17:30～21:00	ミニコンサート、おもてなしカフェ、茶店による特別料理プラン	70,103人
冬の段（9日間）	平成29年1月27日（金） ～平成29年2月4日 （土）17:30～21:00	ミニコンサート、おもてなしカフェ、茶店による特別料理プラン	30,627人
早春の段（3日間）	平成29年3月17日（金） ～平成29年3月19日 （日）18:30～21:00	ミニコンサート、おもてなしカフェ、茶店による特別料理プラン	11,706人
計（延べ57日）			147,705人

【意見8】

「ほっと石川観光プラン2016」では、観光入り込み客数を究極目標としているものの、季節変動の影響もあり金沢城・兼六園のライトアップイベントにおける来園者数目標を設定していないとのことである。

来園者数目標の設定は、PDCAを回し利用者数を増加させる取り組みの第一歩であり、設定が望まれる。

② アンケート結果の分析

来園者から収集したアンケートは、(ア)県内、県外のどちらから来たか、(イ)交通手段、(ウ)イベントを何で知ったか、(エ)イベントの来園回数、(オ)また来たいかどうか、(カ)性別、(キ)年齢等に関する照会である。

平成28年度のアンケートの主な項目についての回答結果は、ネットやチラシにより本イベントを知り、JRか車で初めて県外から入り込み、イベントには満足が得られているというのが代表的な事例である。

したがって、2回以上の比率が約2割にとどまり、リピーター化が課題となる。

また、アンケートに記載された改善要望には、対応を検討している。

【意見9】

金沢城・兼六園のライトアップイベントの成果指標は、「ほっと石川観光プラン2016」に掲げる観光入り込み客数（全国、3大都市圏、首都圏、外国人宿泊者数）となっているが、外国語対応のアンケートは作成されていない。

したがって、外国人の声を外国人の誘客に繋げるため、外国語対応アンケートの作成が望まれる。

11. (事業 11) 観光イベント開催費補助金

県側から入手した 10,000 千円未満の観光イベント開催費補助金の一覧のうち、以下の 3 つの事業を抽出し、その事業内容をレビューした。選定理由は下表を参照されたい。

抽出事業	抽出理由	ページ
フードピア金沢	一般的な事例として県側が提示したため。	64
全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	ソーラーラジコンカーコンテストをあえて石川県で行う動機及び観光へどう貢献しているか容易には想像がつかないため。	68
百万石菓子百工展	同様のイベントとしてスイーツ博があり、そのイベントへの助成事業があるにも関わらず、当該事業を補助しているため。	71

11-1. (事業 11-1) フードピア金沢

(1) 事業概要

事業目的・内容	フードピア金沢は、当地ならではの「風土」とそれが育てた「食」を体験する機会を広く提供することにより、石川の食と伝統文化を県内外に発信し、特に冬の閑散期に実施することにより県外観光客の誘客につなげ、地域経済に寄与することを目的とする。
事業開始年度	昭和 60 年度
事業費	平成 28 年度実績 4,000,000 円
支出先	フードピア金沢開催委員会

(2) 平成 28 年度事業内容

以下のイベントを金沢市内の各所で実施している。

① オープニングイベント

街中の施設にてフードピアの開幕を周知するイベントを実施し、開幕宣言によるイベント気運の醸成に加え、金沢おでん、地酒の振る舞いによる地元の食への関心を高めた。

② 金沢老舗よもやま話

金沢老舗百年会の会員企業を会場に、金沢ならではのおいしい食ともてなしに、

老舗企業ならではの蘊蓄のある話を組み合わせた食談形式の事業を実施。老舗企業経営者だけでなく、外部著名人等も交えた対談形式を企画した。

③ 雪見のうたげ

金沢芸妓のおけいこ場である検番を舞台に料理を味わいながら金沢芸妓の踊りやお座敷太鼓などを楽しむ催しを実施した。

④ 金沢町家食めぐり

次の2事業を実施した。

・金沢町家スタンプラリー

町家を飲食店として活用している11会場にスタンプカードを設置し、必要数を集め応募した参加者に抽選で商品をプレゼントする企画を実施した。

・金沢町家周遊ツアー

金沢町家研究会がガイドを務め、街中の町家をめぐるツアーを実施した。

⑤ フードピア・おもてなし50店

金沢市内の飲食店50店が参加。期間限定のスペシャルメニューを各店舗で展開した。

⑥ フードピア金沢 in しいのき迎賓館

しいのき迎賓館にて金沢市内の飲食店が自慢の料理を提供した。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(2) 石川の優れた文化を活かした誘客の促進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
雪見のうたげ開催費	1,940,000	1,948,892	△8,892	補助金対象
おもてなし 50 店開催費	3,250,000	3,099,200	150,800	補助金対象
関連事業費	3,800,000	3,393,500	406,500	補助金対象
広報費	5,600,000	5,718,443	△118,443	補助金対象
事務局費	1,450,000	1,378,925	71,075	
予備費	100,000	-	100,000	
次期繰越費	-	526,343	△526,343	
合計	16,140,000	16,065,303	74,697	

(出典：平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

出金手続の合规性を検討するため、関連資料を閲覧した。

ii. 監査結果

【意見 10】

4つの補助事業（フードピア金沢開催事業、全国ソーラーラジコンカーコンテスト開催事業、百万石菓子百工展開催事業、観光地活性化推進事業）をサンプルで抽出した結果、観光地活性化推進事業以外の3つの補助事業において、実績報告書の書類審査しか行っておらず、現地調査を行っていない状況にある。

サンプルで現地調査を実施し、出納帳の閲覧や領収書等との突合を行うなど、補助金が交付目的に沿って適切に使われているか確認すべきである。

なお、現地調査等で突合を行った場合は、その旨を書面で記録しておくことが望まれる。

(6) 県による管理

事業報告書

- ・開催期間：平成 29 年 2 月 1 日～28 日
- ・会場：金沢市各所

・事業内容：

(ア) オープニングイベント、(イ) 金沢老舗よもやま話、(ウ) 雪見のうたげ、(エ) 金沢町家食めぐり、(オ) フードピア・おもてなし50店、(カ) フードピア金沢 in しいのき迎賓館を実施。

総参加者数：21,747人※

※(ア)～(カ)の総参加人数。ただし、県内・県外の区分を設けて把握しているわけではない。

【意見 11】

フードピア金沢開催の目的に、「県外観光客の誘客」が掲げられているが、県内・県外の内訳までは把握していないとのことである。各所でイベントを実施しており、県内・県外の区分を設けて来場者をカウントする難しさもあるためと考えられる。

しかし、目的に「県外観光客の誘客」を掲げている以上、予約時またはアンケートなどにより県内・県外の区分ごとに把握し、每期、効果の測定を行うことが望まれる。

11-2. (事業 11-2) 全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山

(1) 事業概要

事業目的・内容	石川の豊かな自然の下、地球環境や資源エネルギーの問題の関心を高めるとともに、白山地域の明るいイメージを全国に発信し、石川県や白山地域への誘客を図ることを目的として、全国の高校生が集うソーラーラジコンカーコンテストを開催している。
事業開始年度	平成6年度
事業費	平成28年度実績 2,800,000円
支出先	全国ソーラーラジコンカーコンテスト実行委員会

(2) 平成28年度事業内容

- ・趣旨：石川の豊かな自然の下、21世紀を担う全国の高校生が日ごろ培った技術を競い合う「全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山」を開催することにより、地球環境や資源エネルギーの問題の関心を高めるとともに、白山地域の明るいイメージを全国に発信し、石川県や白山地域への誘客を図る。
- ・名称：第23回全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山
- ・開催期間：平成28年8月4日～6日
- ・会場：石川県白山一里野RCプラザ（白山市尾添ル55）
- ・参加者：約100チーム（1チーム約4名）
全国の工業高等学校の生徒及びOBなど
- ・主催：全国ソーラーラジコンカーコンテスト実行委員会
（構成団体：石川県、白山市、白山一里野温泉観光協会）
- ・後援：石川県教育委員会、全国工業高等学校長協会、石川県自動車教育推進協議会

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(2) 石川の優れた文化を活かした誘客の促進

(4) 事業の合规性

① 監査手続

石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳

(単位：円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
委託料	5,800,000	5,745,600	54,400	運営費、会場設営費
原材料費	925,000	903,960	21,040	パネル・コンデンサー 購入費
会場使用料	80,000	74,000	6,000	RCプラザ
謝金等	190,000	168,440	21,560	審査員
雑費	5,000	5,541	△541	事務用品等
次年度繰越金	-	28,746	△28,746	
合計	7,000,000	6,926,287	73,713	

(出典：平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

出金手続の合规性を検討するため、関連資料を閲覧した。

ii. 監査結果

【意見 10】に記載のとおり。

(6) 県による管理

実績報告書

- ・開催期間：上記「(2) 平成 28 年度事業内容」のとおり
- ・会場：上記「(2) 平成 28 年度事業内容」のとおり
- ・参加者：84 チーム（1 チーム約 4 名）
全国の工業高等学校の生徒及びOBなど
- ・主催：上記「(2) 平成 28 年度事業内容」のとおり
- ・後援：上記「(2) 平成 28 年度事業内容」のとおり

なお、高校生の部での参加チーム数の推移は、以下のとおり。

年度	参加チーム（高校の部）
平成 24 年度（第 19 回）	2 府 12 県 36 校 100 チーム
平成 25 年度（第 20 回）	2 府 12 県 39 校 96 チーム
平成 26 年度（第 21 回）	2 府 12 県 37 校 93 チーム
平成 27 年度（第 22 回）	2 府 12 県 33 校 85 チーム
平成 28 年度（第 23 回）	2 府 12 県 28 校 74 チーム

少子化、高校数の減少を受け、参加チームは年々減少しているが、県としても参加チーム数を増やすよう主催者側に働きかけており、主催者としては下記工夫を行っている。

- ・まだ参加したことのない工業高校に電話・訪問などで声をかけている。結果、平成 29 年度は東京都から初めて参加があった。
- ・参加校に配布用チラシを持ち帰ってもらい、教員同士のネットワークを生かして配布していただいている。
- ・全国工業高等学校長協会で大会を PR していただいている。（公益社団法人全国工業高等学校長協会から後援を受けている。）
- ・『ラジコンマガジン』というラジコン情報専門の全国誌にて毎年当大会を取り上げていただいている。

11-3. (事業 11-3) 百万石菓子百工展

(1) 事業概要

事業目的・内容	加賀百万石の文化の中でも代表的な「菓子」をテーマに、金沢城公園での、県内和菓子・洋菓子ブースの出展、菓子作り体験教室の開催等によって、全国に石川・金沢の文化を発信し、石川県の観光・菓子産業の振興を図る。また、本イベントをゴールデンウィーク期間の中心事業に育てることで新たな観光資源の魅力付けを図る。
事業開始年度	平成 16 年度
事業費	平成 28 年度実績 3,000,000 円
支出先	百万石菓子百工展実行委員会

(2) 平成 28 年度事業内容

- ・趣旨：上記「(1) 事業概要」の「事業目的・内容」参照
- ・名称：金沢城菓子物語 百万石菓子百工展 2016
- ・開催期間：平成 28 年 5 月 3 日（火・祝）～ 5 日（木・祝）の 3 日間
- ・会場：金沢城公園、しいのき迎賓館
- ・主催：百万石菓子百工展実行委員会
- ・後援：石川県、金沢市、株式会社北國新聞社、石川県菓子工業組合、石川県商工会議所連合会など
- ・入場料金：無料
- ・ターゲット：ファミリー層及びシニア層の県内行楽客
金沢城公園及び兼六園を訪れる県外観光客
- ・動員目標：50,000 人（3 日間）

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(2) 石川の優れた文化を活かした誘客の促進

(4) 事業の合规性

① 監査手続

石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳

(単位：円)

項目	予算額	決算額	備考
会場装飾・基礎工事費	6,600,000	6,426,528	基礎工事、看板設置費など
運営人件費	1,700,000	1,523,112	運営人件費、警備費など
企画事業費	1,500,000	1,412,002	企画展示費など
企画調整費	2,500,000	2,176,560	出品調整費、催事開催費など
制作物経費	700,000	626,400	デザイン費、印刷費など
広報費	2,000,000	1,625,876	新聞広告費など
事務局経費	1,000,000	908,466	企画費、事務局備品、維持費など
合計	16,000,000	14,698,944	

(出典：平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

出金手続の合规性を検討するため、関連資料を閲覧した。

ii. 監査結果

【意見 10】に記載のとおり。

(6) 県による管理

事業報告書

趣旨、名称、開催期間、会場、主催、後援、ターゲットについては、上記「(2) 平成 28 年度事業内容」のとおりである。

- ・来場者数：41,947人（3日間）※

※目標数は例年50,000人と設定している。過年度の来場者数の目標と実績数は下記参照。当イベントは屋外イベントであり天候の影響が大きく、来場者数が減っている年度（平成24年度、平成26年度）は、悪天候によるものであったとのことである。

年度	目標数	実績
平成24年度	50,000人	26,944人
平成25年度	50,000人	43,655人
平成26年度	50,000人	28,902人
平成27年度	50,000人	59,862人
平成28年度	50,000人	41,947人

12. (事業 12) 加賀温泉旅館等誘客促進事業費補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	加賀温泉等の温泉旅館宿泊者に対し、白山白川郷ホワイトロードの片道無料キャンペーンを実施し、誘客促進を図る。 ・ 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化 ・ 広告宣伝の実施
事業開始年度	平成 20 年度
事業費	平成 28 年度実績 11,098,042 円
支出先	「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会

(2) 平成 28 年度事業内容

① 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化 15,500 千円

i. 対象者

自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人

ii. 協賛宿泊施設

97 施設 (山中温泉 17、山代温泉 19、片山津温泉 11、栗津温泉 6、辰口温泉 3、白山温泉郷 38、金沢温泉郷 3)

iii. 実施期間

平成 28 年 6 月 11 日～11 月 10 日の全日
(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)

iv. 料金体系

(単位：円)

車種	通常料金
普通車	1,600
軽四	1,400
マイクロバス	4,900
大型バス	10,800

v. 負担割合

(単位：千円)

区分	割引制度	事業費	県		市・実施団体	
実施内容	片道全額	25,834	15,500	60.0%	10,334	40.0%

岐阜県側から通行券を購入して石川県側に抜ける利用者については、旅館で半券と引き換えにキャッシュ・バックを受け、半券（またはコピー）はアンケートに添付され各地温泉協会が取りまとめ、年度末に「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会に提出される。一方、石川県側で宿泊し岐阜県側に抜ける利用者には旅館でアンケート記入時に無料券を渡し、石川県林業公社が回収した無料券は各地温泉協会でき取りまとめ年度末に「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会に提出される。

② 広告宣伝の実施

i. 広報チラシ、ポスターの印刷（チラシ80,000枚、ポスター1,000枚）

ii. インターネット広告

旅行サイト上での広報掲載やフリーペーパー等での広告・特集記事掲載など

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

石川県補助金交付規則及び事業実施要領に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
白山白川郷ホワイト ロード片道無料キャン ペーン事業費	25,828,334	14,422,850	11,405,484	
広告宣伝事業費	2,500,000	2,444,332	55,668	
合計	28,328,334	16,867,182	11,461,152	

(出典：平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会による業者選定手続・契約手続・
出金手続の合规性を検討するため、平成 28 年度支出負担行為整理簿から下記 1
件を無作為に抽出して、広告宣伝事業費の起案文書及び関連資料を査閲した。

取引：広告代理店に対する広告宣伝費支出 1,792,800 円

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

① 実績報告書

(単位：円)

区分	事業費	事業費の負担区分		
		県補助金	市負担	実施団体
白山白川郷ホ ワイトロード 片道無料キャン ペーン事業 費	14,422,850 (25,828,334)	8,653,710 (15,497,000)	2,884,570 (5,165,667)	2,884,570 (5,165,667)
広報宣伝事業 費	2,444,332 (2,500,000)	2,444,332 (2,500,000)	—	—
計	16,867,182 (28,328,334)	11,098,042 (17,997,000)	2,884,570 (5,165,667)	2,884,570 (5,165,667)

※()内は予算額

上表のとおり、執行額は6割程度と予算に比べて低水準となっている。適切なアンケートの実施・回収により利用台数の増加を図ることが望まれるが、そもそも予算金額が過剰であるのであれば、減額により他の施策に流用することも検討されたい。

② 利用台数

(単位：台、千円)

年度	利用台数	うち片道無料キャンペーン利用台数	片道無料キャンペーン事業費
平成 24 年度	71,468	11,941	27,078
平成 25 年度	60,380	10,682	27,078
平成 26 年度	55,714	9,695	26,753
平成 27 年度	77,530	6,479	11,492
平成 28 年度	61,258	6,213	11,098

平成 27 年度に料金を普通車 1 台あたり 3,240 円から 1,600 円に減額したことに伴い、同年度の利用台数は一過的に増加している。また、片道無料キャンペーン利用台数は、平成 27 年度の大型宿泊施設の閉鎖を機に約 6,000 台となっている。

【意見 12】

白山白川郷ホワイトロード片道無料キャンペーンの実施にあたり、県は「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会に補助金を支出しており、執行額は6割程度にとどまっている。

当該キャンペーンの利用促進を図っていくため、例えばホワイトロード利用者への周知の在り方などに一層の工夫が望まれる。

13. (事業 13) 観光地活性化推進事業費補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	<p>主要観光地等の活性化を図るために、「ほっと石川観光プラン2016」を踏まえ、各市町が作成する「観光振興計画」等に基づき実施する観光資源のブランド化や広域的に観光地の魅力を高めるために取り組む事業などに対して助成する。</p> <p>助成金額は事業費総額の 1/3 (1 件あたり 4,000,000 円が上限。)</p>
事業開始年度	平成 20 年度
事業費	平成 28 年度実績 20,450,000 円
支出先	加賀市他

(2) 平成 28 年度事業内容 () 内は県補助額

- ① 山中温泉観光協会：温泉街の回遊策と山中文化を活かした活性化事業 (4,000,000 円)
 - i. 町歩きクーポンの作成
 - ii. 新ロゴマークの作成
 - iii. 「山中遊歩」の展開実施 (各種必要品のレンタル)
 - iv. 外国語パンフレット作成
- ② 山代温泉観光協会：北陸新幹線金沢開業 アフター おもてなし向上とやましろ魅力アップ事業 (4,000,000 円)
 - i. おもてなし向上と魅力アップ事業 (宿泊者滞在型メニューの作成と夏祭り等の充実化、イルミネーション等)
 - ii. 山代ブランドの発信 (ブランド発信ツール作成等)
- ③ 片山津温泉観光協会：北陸新幹線金沢開業を契機とした観光地ブランド化推進事業 (4,000,000 円)
 - i. 小型電気自動車「ぬくもび」等を活用した魅力発信事業
 - ii. 柴山瀉と屋形船の活用事業
 - iii. 四季まつり事業
 - iv. その他インバウンド対策事業
- ④ 粟津温泉観光協会：観光地ブランド化推進事業 (1,000,000 円)
 - i. 平成 30 年開湯 1300 年告知広告の実施
 - ii. 祭り等のイベント開催

- ⑤ 白峰観光協会：白山白峰四季物語PR事業（800,000円）
 - i. 住民を対象としたガイド養成講座
 - ii. 事業PR、ホームページのリニューアル等
- ⑥ 湯涌温泉観光協会：観光地ブランド化推進事業（1,150,000円）
 - i. シャトルバスの試行実験
 - ii. 富裕層向けプランの実施
 - iii. パンフレット及びポスターの作成
- ⑦ 和倉温泉観光協会：観光地ブランド化推進事業（4,000,000円）
 - i. 食の魅力創り事業
 - ii. 和倉温泉散走事業
 - iii. わくたまくん・和倉温泉観光プロモーション事業

以下、⑥湯涌温泉観光協会：観光地ブランド化推進事業をサンプルとして事業の合規性及び支出の合規性、その他について検討する。

（3）事業の合規性

① 監査手続

石川県補助金交付規則及び石川県観光地活性化推進事業費補助金交付要綱に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

【意見 13】

補助金交付規則では、申請書に「事業の効果」を記した書類を添付することを定めているが、観光地活性化推進事業の申請書には、「事業の効果」に関する定性的な事項が申請書の「事業の目的」欄に記載されているのみである。今後は明瞭に記載することが望まれる。

【意見 14】

観光地活性化推進事業において、補助金交付申請書に添付されている計画書に、事業ごとの予定支出額を記載しているが、具体的な用途を記載していない事業者が確認された。

事前申請の内容について詳細を把握し、適正な審査を実施する観点から、事業ごとの予定支出内訳について、申請段階で確認できるよう提出を求めることが望まれる。

(4) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳 (湯涌温泉観光協会)

(単位：円)

区分	事業費予算	事業費実績	予実差額 (実績-予算)	県補助額 (予算の 1/3)
シャトルバス試 行実験	800,000	797,789	△2,211	
氷室開きの特別 宿泊プラン	450,000	539,597	89,597	
竹久夢二&彦乃 100周年プレイ ベント	600,000	692,973	92,973	
湯涌怪談百物語	500,000	594,000	94,000	
観光情報発信事 業	500,000	514,040	14,040	
案内サインの整 備	600,000	487,080	△112,920	
合計	3,450,000	3,625,479	175,479	1,150,000

(出典：平成 28 年度交付申請書、平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

出金手続の合规性を検討するため、関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

【意見 10】に記載のとおり。

(5) その他

事業の効果測定について

補助金の申請段階において、「事業の効果」に関する記載がないため、実績報告書上の記載を確認しても、イベントの成否及び支出実績の妥当性を判断することが難しいと考えられる。

【意見 15】

湯涌温泉観光協会の実績報告書に添付されている成果報告書を査閲すると、「課題及び目標」欄に「若者層のリピーター増加に向けた仕掛けが必要」との記載があるが、「事業の効果」欄には事業がどのように「課題及び目標」に対し効果をあげたかの記載がされていない。

事業者に対して記載の充実を求めるとともに、目的としたターゲット層への事業効果について確認する必要があると考えられる。

14. (事業 14) いしかわスイーツ博 2016 開催費負担金

(1) 事業概要

事業目的・内容	日本3大菓子処のひとつである石川県において「菓子処いしかわ」をアピールし、誘客促進を図るとともに、本県を訪れる観光客の満足度を高め、リピーターの確保につなげることを目的に「いしかわスイーツ博」の開催にかかる負担金を支出する。
事業開始年度	平成 24 年度
事業費	平成 28 年度実績 15,000,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

連盟が実施する「いしかわスイーツ博」事業に対し負担金を支出する。

「いしかわスイーツ博」の実施場所等は以下のとおり。

- ・場所：しいのき迎賓館（兼六園、金沢 21 世紀美術館が近隣にあり、観光客の人通りも多い場所にある。）

- ・日時：平成 28 年 10 月 15 日（土）、16 日（日）

- ・内容：

① いしかわスイーツコンテスト

全国の製菓専門学校の生徒から石川県にちなんだオリジナルスイーツを広く募集し、審査員が優秀作品を選出、発表・表彰するコンテスト。事前の書類審査を経て、実技を含んだ決勝審査を「いしかわスイーツ博」の場で行う。

② いしかわスイーツフェア

フェアの内容は以下のとおり。

- i. 和洋の菓子店が一堂に集う販売ブースを設置し、通常より安価な値段で石川らしい雰囲気の会場の中で飲食してもらう。

- ii. ステージイベントとして世界的パティシエ辻口博啓氏トークショーを実施。

- iii. 菓子作り体験コーナーを設置し、和菓子づくりを来場者に体験してもらう。

- iv. 県内のアイスクリーム店が集まるアイスクリームマルシェを設置。

- v. スイーツ博会場内の回遊性を高め、ゲーム感覚でイベントを楽しんでもらうため、会場内4か所にクイズを設置するクイズラリーを実施。クイズの解答用紙にアンケートも併記されており、クイズラリー参加者にアンケートを書いてもらうようになっている。

(3) 基本計画との関係・整合性

「ほっと石川観光プラン 2016」における位置づけ

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(2) 石川の優れた文化を活かした誘客の促進 (3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 支出の合规性

① 平成 28 年度の収入・支出内訳

収入の部

(単位:円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
石川県負担金	15,000,000	15,000,000	-	
連盟負担金	5,500,000	5,500,000	-	
合計	20,500,000	20,500,000	-	

支出の部

(単位:円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
スイーツ博	20,500,000	20,500,000	-	イベント会社に対する委託 他

(出典:いしかわスイーツ博開催事業 積算根拠)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

イベント会社に対する委託費 19,600 千円について、平成 28 年度に行われたプロポーザルによる選定手続の合规性(石川県財務規則との整合性)及び支出金額と通帳写しとの整合性を確認した。

ii. 監査結果

【意見 16】

いしかわスイーツ博の実施委託の業者選定において、指名業者の中から参加表明した団体は、1 者のみであった。

不参加理由を把握・分析することにより、競争原理が働くように工夫することが望まれる。

(5) 県による管理

事業報告書

- ・日時：平成 28 年 10 月 15 日(土)、16 日(日)
- ・内容：いしかわスイーツコンテストといしかわスイーツフェアを実施。

来場者数：約 42,000 名※

※ただし、概ねの予想数値。また、来場者数の目標数値を設定しているわけではないとのこと。

【意見 17】

「ほっと石川観光プラン 2016」では、観光入り込み客数を究極目標としているものの、来場者数のカウントの難しさもあり、いしかわスイーツ博の目標来場者数を設定していないとのことである。

目標来場者数の設定は、P D C Aを回し利用者数を増加させる取り組みの第一歩であり、設定が望まれる。なお、目標来場者数の設定が困難な場合には、来場者に対する満足度調査に取り組まれたい。

15. (事業 15) 名古屋観光物産案内所運営費

(1) 事業概要

事業目的・内容	中京圏での観光客の誘致、石川県のPRのために地下鉄栄駅に隣接した地域に観光物産案内所を設置し、その運営を連盟に委託している。
事業開始年度	平成 20 年度
事業費	平成 28 年度実績 14,804,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

① 名古屋観光物産案内所で実施している主な業務

- i. 窓口、電話対応による観光情報の提供
- ii. 中京圏の旅行会社へのPR、団体旅行の誘致（県西日本誘客推進室と連携）
 - 中京圏キャラバン（年 2 回）
大手旅行会社 各回 8 社程度
 - 中京石川県観光旅館案内所連絡協議会キャラバン（年 3 回）
旅行会社店舗 各回 40 店舗程度
- iii. 中京圏のマスコミへの情報発信
 - マスコミキャラバン（新聞社、テレビ局など）
平成 28 年 4 月、11 月 「全国センター合同物産観光展」告知キャラバン
平成 28 年 7 月 「プラチナルート白山周遊キャンペーン」告知キャラバン
平成 29 年 2 月 「能登ふるさと博応援フェア」告知キャラバン
 - マスコミ各社への広告掲載等
新聞（中京圏主要 7 紙のべ 43 回）
TV・ラジオ（中京圏主要 5 局のべ 12 回）
雑誌・フリーペーパー（5 誌のべ 13 回）
- iv. イベント等を通じた情報発信
 - 平成 28 年 4 月、11 月 全国センター合同物産観光展 など
- v. 県産品のPR、販売
主な商品：食品（柴舟、じろあめ、加賀棒茶等）、工芸品（九谷焼、金箔、漆器等）

② 平成 28 年度実績

- i. 来館者数 10,017 人
- ii. 訪問セールス件数 365 件
- iii. 物販実績 3,695 千円

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(1) 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進 (4) M I C E や教育旅行誘致の推進
3. 石川ならではの魅力の発信	(1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

(4) 事業の合规性

① 監査手続

石川県財務規則に準拠して受託業者の選定・当該契約の締結手続が行われているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
名古屋観光物産案内所運営事業費	14,804,000	14,804,000	-	

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

石川県財務規則に準拠して委託料が支出されているか検討した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

委託事業執行結果報告書

連盟からの委託事業執行結果報告書について県で検収している。なお、委託事業執行結果報告書は、以下の項目について記載されている。

i. 委託運営事業実施期間

ii. 業務内容

- ・旅行会社、マスコミへの訪問セールス
- ・中京圏の観光地での本県情報発信の連絡調整
- ・案内所での情報提供業務、管理業務
- ・石川県製品の販売

iii. 収支精算書 以下のとおり

- ・収入：委託料 14,804,000 円（予算 14,804,000 円）
- ・支出：人件費 7,430,900 円（予算 7,432,000 円）
事務所費 6,276,508 円（予算 6,275,408 円）
消費税 1,096,592 円（予算 1,096,592 円）

※支出内容は先方から送られてくる証憑との突合を行っている。

また、上記とは別に連盟から月次で旅行会社及びマスコミへの訪問セールスの訪問件数、各種マスコミを活用した告知や広告掲載の内容並びに実施したイベントについて報告があり、月次でその内容を把握し、必要があればフィードバックを行っている。

16. (事業 16) 首都圏等誘客促進事業費

(1) 事業概要

事業目的・内容	首都圏や東北、長野県に向けて積極的に石川の魅力を情報発信するため、タブロイド誌を作成・配布する。
事業開始年度	平成 27 年度
事業費	平成 28 年度実績 10,900,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

連盟が実施するタブロイド誌の作成配布事業に対し負担金を支出する。

① 発行日

発行日及び発行時期についての県側の考えは以下のとおりである。

発行日	発行時期についての県側の考え
平成 28 年 4 月 21 日	ゴールデンウィークに向けた誘客のための情報発信
平成 28 年 7 月 14 日	夏休みに向けた誘客のための情報発信
平成 28 年 10 月 13 日	秋の行楽シーズンに向けた誘客のための情報発信
平成 29 年 2 月 23 日	冬の誘客イベント（フードピア金沢等）や日本海の幸が旬を迎える時期に向けた誘客のための情報発信

② 配布実績

(単位：千部)

エリア		配布部数			
		4 月	7 月	10 月	2 月
首都圏	東京南	85	85	85	85
	田園都市	85	85	85	85
	横浜南	101	101	101	101
	さいたま市等	54	54	54	54
東北	仙台市等	105	105	105	105
	福島市等	15	15	15	15
長野県	長野市	45	45	45	45
	上田市	10	10	10	10
計		500	500	500	500

本県が誘客ターゲットとする首都圏、東北及び長野県を配布エリアとしながら、下記の選定理由により、さらにエリアの絞り込みを行うとのことである。

エリア		選定理由
首都圏	東京南	北陸新幹線金沢開業を見据えて平成 25 年に策定した「新幹線開業PR戦略実行プラン」で、経済的・時間的にゆとりのある方々の居住エリアとして、このエリアで東急グループとのタイアップによるキャンペーンを展開。タブロイド誌配布にあたっても考え方を踏襲。 ※全国の私鉄沿線における「一世帯当たりの総所得ランキング」で上位 10 路線のうち半数以上を東急線が占めており、いわゆる「富裕層」向けのPRに最適なエリアとして設定。
	田園都市	
	横浜南	
	さいたま市等	北陸新幹線停車駅（大宮駅）周辺
東北	仙台市等	北陸新幹線金沢開業後、大宮経由で東北地域（宮城・福島）からの入り込みが増加。東北新幹線で最速のはやぶさの停車駅である仙台駅周辺。
	福島市等	北陸新幹線金沢開業後、大宮経由で東北地域（宮城・福島）からの入り込みが増加。東北新幹線で 2 番目に早いやまびこの停車駅である福島駅周辺。
長野県	長野市	北陸新幹線停車駅（長野駅）周辺
	上田市	北陸新幹線停車駅（長野駅）周辺で、県内第 3 位の人口。 ※長野県人口ランキング①長野市、②松本市、③上田市

（3）基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
3. 石川ならではの魅力の発信	(1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

(4) 支出の合规性

① 平成 28 年度の収入・支出内訳

収入の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
石川県負担金	10,900,000	10,900,000	-	
連盟負担金	1,100,000	1,100,000	-	
合計	12,000,000	12,000,000	-	

支出の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
タブロイド誌作成・配布費	12,000,000	12,000,000	-	

(出典：平成 28 年度事業報告・収支決算書)

上表の事業費は、株式会社北國新聞社に対する委託費 12,000 千円である。

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

株式会社北國新聞社に対する委託費 12,000 千円について、平成 28 年度に行われた選定手続の合规性（石川県財務規則との整合性）を検討した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 県による管理

① 事業報告書

連盟からの事業報告におけるタブロイド誌の発行日及び配布実績は、「(2) 平成 28 年度事業内容 ②配布実績」に記載したとおりである。

② 評価尺度

『統計からみた石川県の観光 平成 28 年』に掲載された「平成 28 年度観光動態調査」の「本県を旅行するきっかけ」における「新聞・雑誌を読んで」の割合をタブロイド誌配布の効果を計る尺度の一つとしており、比率の推移は次頁のとおり、微増となっている。

(単位：%)

主なきっかけ	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
旅行雑誌・ガイドブックを見て	15.2	13.5	25.9
友人・知人にすすめられて	14.6	14.0	16.0
前回訪れたイメージが良かったから	17.2	13.2	13.1
インターネットを見て	17.1	11.1	11.5
テレビを見て	6.7	11.2	7.3
パンフレットを見て	9.2	7.1	5.7
新聞・雑誌を読んで	2.7	2.0	4.9

③ 発地別観光入り込み客数

(単位：千人、%)

発地	年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	対 26 比	対 27 比
	県内		9,559	9,810	9,462	99.0
県外		12,052	15,208	15,126	125.5	99.5
	3 大都市圏	6,903	9,259	9,011	130.5	97.3
	首都圏	2,419	4,542	4,269	176.5	94.0
	関西圏	2,521	2,714	2,736	108.5	100.8
	中京圏	1,963	2,003	2,006	102.2	100.1
	東北(宮城県・福島県)	127	195	216	170.1	110.8
	富山県	1,872	1,956	1,973	105.4	100.9
	福井県	997	1,014	998	100.1	98.4
	長野県	314	480	478	152.2	99.6
	その他	1,839	2,304	2,449	133.2	106.3
合計		21,611	25,018	24,588	113.8	98.3

(出展：統計からみた石川県の観光)

北陸新幹線金沢開業年である平成 27 年には首都圏を始め観光入り込み客数合計で 340 万人の増加が見られた。平成 28 年には開業効果に落ち着きが見られ、観光入り込み客数合計は平成 27 年比微減となっている。

17. (事業 17) 金沢コンベンションビューロー運営費補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	石川が持つ文化、魅力、優位性を活かして各種コンベンションを企画、誘致、支援する公益財団法人金沢コンベンションビューローを運営し、地域経済・社会の活性化を図る。
事業開始年度	昭和 60 年度
事業費	平成 28 年度実績 17, 595, 675 円
支出先	公益財団法人金沢コンベンションビューロー

(2) 平成 28 年度事業内容

① 補助額

- i. 交付決定額 17, 750, 000 円
- ii. 変更交付決定額 17, 595, 675 円
- iii. 確定額 17, 595, 675 円

② 積算

(単位：千円)

区分	県分	金沢市分	金沢商工会議所分
職員人件費	9, 595	7, 157	3, 530 (注)
運営事業費	8, 000	8, 000	4, 000
計	17, 595	15, 157	7, 530

(注) 金沢商工会議所は他に、派遣職員（1名）分の人件費を直接負担。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(4) M I C E や教育旅行誘致の推進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の収入・支出内訳

収入の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
基本財産運用収入	5,000	3,750	1,250	
前期繰越金	1,000,000	-	1,000,000	
補助金等	40,283,593	40,283,593	-	
会費	6,695,000	6,003,092	691,908	
広告収入	770,000	770,000	-	
負担金収入	900,000	1,632,000	△732,000	
雑収入	-	43,008	△43,008	
合計	49,653,593	48,735,443	918,150	

支出の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
事務局管理運営費	34,593,593	34,721,143	△127,550	
うち人件費	25,356,593	25,370,841	△14,248	
うち事務費	9,237,000	9,350,302	△113,302	
コンベンション推 進事業費	15,060,000	14,014,300	1,045,700	
合計	49,653,593	48,735,443	918,150	

(出典：平成 28 年度事業実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

公益財団法人金沢コンベンションビューローにより報告された収支決算書が適切に作成されているか検討するため、同財団が作成している収支決算書（決算書）との整合性を検討した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

実績報告書

県は、財団から平成 29 年 3 月 31 日付けで実績報告書を受領し、石川県補助金交付規則に準拠していることを確認している。なお、実績報告書に記載された補助事業の内容は、以下のとおりである。

i. コンベンション誘致事業

(誘致活動事業)

・誘致セールス

大学や学会事務局などを訪問し、石川県・金沢市での開催を要請した。

(単位：件)

区分	訪問先	訪問件数
県内	金沢大学	111
	金沢医科大学等	
県外	首都圏	33
	関西圏	10
	その他	2
合計		156

・学会招致・支援説明会

金沢医科大学及び金沢大学で各 1 回実施した。

・コンベンション誘致情報交換会

各地のコンベンション推進機関による情報共有を実施した(5 団体参加)。

・会議主催者県内視察旅費補助事業

学会開催地を検討している団体に、県内開催を促進するため視察経費の一部を助成した。(3 万円以内/人)

(情報提供事業)

・誘致情報の提供

『コンベンション・スケジュール』を発行し、コンベンション賛助会員等に提供した。(年 4 回、各 1,500 部)

・広報誌の発行

公益財団法人金沢コンベンションビューローの活動報告等を掲載した『コンベンション・ニュース金沢』を発行し、大学教授等研究者、学会事務局、賛助会員に提供した。(年 4 回、各 2,500 部)

(広報PR事業)

- ・日本工学会年報に広告を掲載し、石川・金沢のPRを実施した。

ii. コンベンション開催支援事業

(おもてなし推進事業)

デジタルサイネージやステッカー等を活用し、学会・大会参加者に対する歓迎案内のサービス提供を実施した。

(コンベンション調査事業)

コンベンション参加者に対して、県内滞在中の宿泊場所や交通手段、支出費用に関するアンケート調査や、コンベンション主催者に対して、関係事業者の活用や支出費用に関するアンケート調査を実施した。

【調査回収件数】コンベンション参加者 1,112 件、コンベンション主催者 32 件

【意見 18】

折角回収したコンベンション参加者及び主催者に対するアンケート結果が十分には分析されていない。アンケートの分析結果は今後の誘致活動を効果的かつ効率的に進める上で非常に有益であると考えられ、十分な分析が望まれる。

(助成金の活用)

石川県及び金沢市の学会等開催助成金制度等の周知・案内に努め、手続きが円滑となるよう、行政と申請者のパイプ役として協力した。

学会等助成金	石川県 62 件 62,500 千円、金沢市 60 件 28,810 千円
M I C E 促進事業費補助金	金沢市 41 件 10,060 千円

(コンベンション開催準備資金貸付の実行)

コンベンション主催者に対して無利息で準備資金を貸し付け、円滑な運営に協力した。

(1 件、2,000 千円※全額回収済み)

18. (事業 18) 新幹線開業 1 周年キャンペーン事業費

(1) 事業概要

事業目的・内容	J R と北陸 3 県連携による観光促進を推進する団体である「北陸三県誘客促進連携協議会」に対する負担金である。
事業開始年度	平成 18 年度
事業費	平成 28 年度実績 11,500,000 円
支出先	北陸三県誘客促進連携協議会

(2) 平成 28 年度事業内容

① アフター北陸デスティネーションキャンペーン「日本の美は、北陸にあり。」

i. 魅力ある観光素材・企画・イベントの整備・ブラッシュアップ

環水公園イベントバスの運行や、松風閣におけるコンサートイベント、その他観光ツアーやクーポン商品の開発を実施し、観光商材のさらなる魅力向上を図った。

ii. 首都圏、関西圏におけるプロモーション強化

旅行会社店舗社員を招聘しての北陸三県観光名所 3 日間見学ツアー（平成 28 年 9 月 7 日から 9 日）、ツーリズム EXPO ジャパン 2016 へのブース出展（平成 28 年 9 月 23 日から 25 日）を実施した。

② 「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン

i. レジャー記者招聘ツアー

平成 28 年 12 月 4 日から 5 日にかけて、新聞その他雑誌のレジャー記者を招聘し、2 日間にわたり観光ツアーを実施した。当該ツアー実施の結果として、19 紙に北陸観光名所の記事が記載された。

ii. 大阪での北陸食フェア

平成 29 年 1 月 13 日から 24 日（エキマルシェ大阪）、平成 29 年 1 月 10 日から 31 日（ホテルグランヴィア大阪）にて北陸の冬の食材を使用したメニューを 13 店舗で販売した。

③ その他

i. 観光素材説明会の開催

J R 西日本と北陸三県誘客促進連携協議会及び DISCOVER WEST 連携協議会が主催し、大阪、東京、名古屋、福岡にて観光素材説明会を実施した。

ii. 「知恵袋」の発行

首都圏・関西圏の旅行会社店舗社員向けに、北陸エリア内のモデルコース付きの案内資料を作成し、配布した。

iii. 北陸商品開発プロジェクトチーム

旅行会社商品造成担当者が北陸を視察し、地元観光担当者と調整しながら観光素材を発掘し商品化販売した。

④ 平成 28 年度主要観光地の入り込み客数に関する増減率

観光施設	所在地	平成 27 年度比	平成 26 年度比
兼六園	金沢市	94.3%	142.9%
金沢城公園	金沢市	95.1%	165.9%
白山比咩神社	白山市	100.2%	106.5%
那谷寺	小松市	105.1%	114.4%
輪島朝市	輪島市	85.4%	103.9%
能登食祭市場	七尾市	93.7%	97.7%

平成 27 年は北陸新幹線金沢開業年であり、平成 27 年度比では減少しているが、平成 26 年度との比較では依然高い増加率であり、新幹線開業の反動を最小限に抑えている。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
4. 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	J R と北陸三県が連携したキャンペーンの実施

(4) 事業の合規性

① 監査手続

負担金の場合、補助金と違って交付対象者及び負担金額は予め決められている。そこで、起案の承認行為の実態について関連資料の閲覧により把握し、課題の有無を検討する。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合規性

① 平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	石川県負担額
アフター北陸デスティネーションキャンペーン	11,700,000	11,127,171	572,829	
「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン	8,000,000	8,339,929	△339,929	
観光素材説明会	2,200,000	1,891,076	308,924	
北陸商品開発プロジェクトチーム	1,500,000	1,048,125	451,875	
北陸カレッジ	1,200,000	919,638	280,362	
観光素材強化	9,000,000	8,325,020	674,980	
観光情報発信	10,400,000	9,646,800	753,200	
北陸新幹線開業 1 周年キャンペーン	600,000	600,000	-	
事務局経費	587,509	328,619	258,890	
合計	45,187,509	42,226,378	2,961,131	11,500,000

(出典：北陸三県誘客促進連携協議会の平成 28 年度収支決算)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

支出の合規性を検討するため、関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

19. (事業 19) 海外誘客プロモーションツール制作費

(1) 事業概要

事業目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、海外からの一層の誘客促進を図るため、石川県を紹介するプロモーション映像を制作し、観光PRイベントや、海外メディア及び旅行会社等による情報発信に活用することで、海外における石川県の認知度向上を図る。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を好機として、海外からの一層の誘客促進を図るため、石川県を紹介する冊子を制作し、海外における石川県の魅力に関する露出を高め情報発信を強化する。
事業開始年度	平成 27 年度
事業費	平成 28 年度実績 26,933,000 円
支出先	委託先：株式会社アドマック 委託先：株式会社日本海企画

(2) 平成 28 年度事業内容

- ① 石川県の認知度向上及び観光の魅力を紹介するため、観光プロモーション及びインターネット上の動画配信サイト等で活用するプロモーション映像を制作した。
- ② 平成 14 年度に発行された石川県観光冊子をリニューアルし、『ISHIKAWA Japan』を発行した。また、同冊子を多言語化し、海外における石川県の露出を高め、情報発信の強化を図った。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
5. 海外誘客の促進	(1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度向上

(4) 支出の合規性

① 平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	選定方法	委託料
平成 28 年度海外向け石川県観光プロモーション映像制作事業 (11 ヶ国語)	随意契約	12,933,000
海外向け石川県観光冊子制作事業 (既存 4 ヶ国語、新規 8 ヶ国語、計 5,000 部)	随意契約	10,000,000
海外向け石川県観光冊子制作事業 冊子増刷分 (既存 9 ヶ国語、計 5,000 部)	随意契約	4,000,000
合計		26,933,000

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

業者選定手続・契約手続・支出の合規性を検討するため、平成 28 年度支出負担行為及び関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 県による管理

配布記録

海外向け石川県観光冊子は、「配布記録簿」にて受払管理され、配布先や配布目的も記録されている。

海外向け石川県観光冊子は平成 29 年 2 月 3 日に検収されており、増刷分は平成 29 年 3 月 31 日に検収されているが、配布記録簿では 3 月 31 日にまとめて記録されている。検収後、適時に配布記録簿へ記録することが望まれる。

20. (事業 20) 海外誘客情報発信事業費補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	「ほっと石川観光プラン 2016」に掲げる目標値「外国人宿泊者数 100 万人」の達成に向け、海外に向けて積極的な観光PRを展開するとともに、歴史や文化、伝統といった石川の強みを活かし、本物志向の個人旅行者や富裕層の誘客に取り組む。
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 24,160,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

- ① 海外インターネット旅行会社を活用した個人誘客促進
欧米を中心とした個人旅行者への傾向からインターネット旅行会社と連携し、本県の質の高い文化をPRした。
- ② 東京都と連携したMICE誘致促進
東京都と連携し、海外企業のミーティング、インセンティブ旅行の誘致を実施した。
- ③ 欧州における観光PR強化
旅行ニーズの多様化に対応し、本県の観光魅力をPRするとともに、的確な現地の情報収集や、フォローアップを図るため、今後さらなる誘客の伸びが期待できるフランスにおいて本県の観光PR業務を委託するレップを設置した。
- ④ 国内ランドオペレーターと連携した誘客の促進
欧米豪との旅行会社等に影響力を持つランドオペレーターと連携し、現地旅行会社に対して本県を組み込んだ旅行商品の造成や販売促進を働きかけた。
- ⑤ ルレ・エ・シャトー等と連携した海外富裕層誘客の促進
海外富裕層に影響力のあるホテル・レストラン組織「ルレ・エ・シャトー」や豪州の富裕層向け旅行を手掛ける旅行者と連携したセミナーを開催。

(3) 事業の合規性

- ① 監査手続
石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(4) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳

(単位：円)

事業名	事業費	県補助金 (補助対象経費)	連盟ファンド利息 (自主財源)
海外インターネット旅行会社を活用した個人誘客促進	【9,005,700】 9,000,000	【7,500,000】 7,200,000	【1,505,700】 1,800,000
東京都と連携したMICE誘致促進	【7,064,495】 10,000,000	【3,159,000】 8,000,000	【3,905,495】 2,000,000
欧州における観光PR強化	【3,828,900】 3,800,000	【3,522,000】 3,040,000	【306,900】 760,000
国内ランドオペレーターと連携した誘客の促進	【2,944,367】 3,200,000	【2,940,000】 2,560,000	【4,367】 640,000
ルレ・エ・シャトー等と連携した誘客の促進	【8,296,450】 -	【7,039,000】 -	【1,257,450】 -
合計	【31,139,912】 26,000,000	【24,160,000】 20,800,000	【6,979,912】 5,200,000

(注) 数字は当初事業費

(出典：平成 28 年度実績報告書)

【 】内数字は精算事業費

21. (事業 21) SNS で発信する「いしかわのイチ押し」キャンペーン事業

(1) 事業概要

事業目的・内容	SNS を利用して効果的な情報発信を行い、石川県への誘客を促進するため、楽天トラベルに SNS 投稿キャンペーン特設ページを開設する。
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 5,000,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

SNS を活用した石川県への観光客誘客促進事業費として連盟に負担金を支出している。連盟で実施している事業は以下のとおりである。

i. 委託先：楽天株式会社

ii. 事業内容

石川県の観光情報の発信・宿泊客数の増加を狙って、以下の内容を実施。

- ・楽天トラベルWEB特集「旅頃」に掲載し、SNS ツール「Twitter」を利用して、当該特設ページに投稿してもらう。

(掲載期間 2016 年 6 月 13 日～7 月 24 日の 6 週間)

なお、今回 SNS ツールとして「Twitter」を利用したのは、他の SNS ツールと比較して、「Twitter」の拡散能力が高いため。例えば、Facebook や LINE だと狭いコミュニティの中での情報発信と考えられるが、今回はあくまで広く情報発信することをメインの目的としているので「Twitter」を選択した。目標値も Twitter 投稿数や PV 数など広く情報発信することを測る数値を設定している。

- ・ターゲットメールの配信 (グルメ情報などの情報を親和性が高そうな会員に配信。)

(第 1 弾：2016 年 6 月 13 日・14 日、第 2 弾：2016 年 7 月 4 日・5 日)

- ・楽天スーパーポイントを活用し、以下のポイントキャンペーンを実施。

○Twitter で石川県の情報を投稿して 10 万ポイント山分けキャンペーン

○楽天トラベルメールマガジン「耳寄り情報／PR 編」の受信で 5 万ポイント山分けキャンペーン (メルマガに登録してもらってリテンションメールの獲得。)

iii. 委託料：5,000,000 円

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
3. 石川ならではの魅力の発信	(2) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信

(4) 事業の合规性

① 監査手続

石川県財務規則に準拠して連盟による受託業者の選定・当該契約の締結手続が行われているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
SNS で発信する「いしかわのイチ押し」キャンペーン事業	5,000,000	5,000,000	-	

(出典：平成 28 年度実績報告書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

連盟による支出の合规性を検討するため、当該事業にかかる起案文書及び関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

委託先（楽天株式会社）から連盟への実績報告はされているが、負担金であることから、連盟から県への実績報告書はなく、県による実績管理は文書上は行われていない。連盟の事務は実質的に県担当者により行われており、また、連盟の起案文書を決

裁する際にも決裁ルートに石川県の職位の者も含まれているため、実質的には県で実績管理しているのと同視できるためである。連盟への楽天株式会社からの実績報告によれば、下記のとおりである。

実績報告書

	目標値※1	実績	目標達成率 (実績値÷目標値)
Twitter 投稿数	1,500 件	3,308 件※2	221%
特集ページPV数	100,000 PV	127,000 PV	127%

※1：目標値として、Twitter 投稿数と特集ページPV数を設定したのは、当事業は平成28年度が初年度となる事業であり、まずはSNS利用者に石川県の情報を広く発信すること、見てもらうことを第一の目標と掲げていたため。次年度以降の目標値は上記のほか、予約人泊数などより誘客に結びついた目標値を設定することも検討している。

※2：なお、SNSによる拡散効果は約1,050,000件（Twitter 投稿数3,308件×平均フォロワー数317人）と想定される。

その他実績数値（目標値としては設定していないが楽天株式会社から数値を取り寄せたもの。）

	実績値	備考
ターゲティング メールクリック レート	24.1%	ターゲティングメールクリックレートとは、ターゲットに送付したメール数に対して占めるキャンペーンサイトへのクリック数の割合。具体的なクリック数は示されていないが、楽天株式会社によると相当高いとのこと。
リテンション メール獲得件数	5,226 件	当該キャンペーン以降も情報発信できるユーザーを獲得した件数。
予約人泊数	194,918 人泊	楽天トラベル内の前年実績比+4.2%。実数にすると7,798人の伸び。
予約流通額	1,698,168,686 円	楽天トラベル内の前年実績比+6.9%。実数にすると109,320,269円の伸び。

22. (事業 22) お客様の声を活かすおもてなし向上事業補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	首都圏などから訪れた観光客が本県に対しどのように感じているのか、良い意見・悪い意見を問わず受けた意見に対して、迅速に観光業界全体で情報を共有し、お客様の満足度向上に向けてより一層のおもてなし向上を目指す。
事業開始年度	平成 27 年度
事業費	平成 28 年度実績 2,000,000 円
支出先	連盟

(2) 平成 28 年度事業内容

連盟が実施するお客様の声を活かすおもてなし向上事業に対し補助金を支出している。お客様の声を活かすおもてなし向上事業とは、観光客の意見を収集するためのアンケートハガキを作成し、石川県内の観光施設、宿泊施設、交通機関等 290 か所に当該アンケートハガキを設置し、集められた意見に対して、これらの関連する施設等に意見をフィードバックのうえ、改善指導を行い、おもてなし力向上につなげるための事業である。

(3) 基本計画との関係・整合性

「ほっと石川観光プラン 2016」における位置づけ

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
2. 石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光客の声を活かしたおもてなしの向上

(4) 事業の合规性

① 監査手続

石川県補助金交付規則に準拠して補助金が交付されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の収入・支出内訳

収入の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
連盟自己負担分	1,000,000	1,000,876	△876	
石川県補助金	2,000,000	2,000,000	-	
合計	3,000,000	3,000,876	△876	

支出の部

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
印刷物作成 委託費	800,000	878,985	△78,985	アンケートハガキの作成
通信費	131,000	154,807	△23,807	アンケートハガキ後納郵便代 @67円×2,102通ほか郵便代
人件費	2,000,000	1,899,355	100,645	通勤費、社会保険料事業主負担 分、定期健康診断費含む。
広告宣伝費	60,000	60,000	-	景品代 @1,000円(図書カード)×30名 ×2回
事務費等	9,000	7,729	1,271	振込手数料など
計	3,000,000	3,000,876	△876	

(出典：平成 28 年度お客様の声を活かすおもてなし向上事業 収支決算書)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

印刷会社に対する印刷物作成にかかる委託費 879 千円について、選定手続の
合規性（石川県財務規則との整合性）及び支出金額について起案文書、支出負担
行為伺、契約書、見積書等の関連資料を確認した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

事業報告書

実施内容

① アンケートハガキ及びポスターの作成

アンケートハガキ 100,000 枚

② アンケートハガキの設置（常時）

設置箇所数：290 か所

主な設置場所：J R・I R 主要駅、ホテル、旅館、観光案内所、道の駅、空港、
観光施設等

③ 観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」専用フォームで「お客様の声」を募集

ハガキ、インターネットで募集した「お客様の声」件数 2,502 件

④ アンケートをお寄せいただいた方の中から抽選で図書カード（1,000 円分）を 60
名に贈呈

- ・平成 28 年 9 月 6 日抽選、9 月 20 日までに当選者へ発送（30 名）
- ・平成 29 年 3 月 1 日抽選、3 月 20 日までに当選者へ発送（30 名）

⑤ 一月ごとに「お客様の声」を取りまとめ、関係団体に送付し、情報を共有

送付先：観光情報センター、19 市町、市町温泉観光協会、交通関係機関、主
要ホテル、道の駅など 135 か所

アンケートハガキ設置場所数を増やすための観光施設との交渉や、インターネッ
トサイトのカスタマイズ等の対応を講じているとのことである。

【意見 19】

県では、外国人旅行者を対象としたアンケート調査や聞き取り調査を別途実施しているものの、平成 28 年度及び過年度において、お客様の声を活かすおもてなし向上事業で作成されたアンケートハガキは日本語版のみであり、現状は英語版等外国語版のアンケートハガキは作成されていない。

しかしながら、海外からの観光客を増やすことを考えれば、外国客の意見は貴重なものであり、当該事業においても、英語版のアンケートハガキの作成・設置を検討されたい。

23. (事業 23) 外国人受け入れ環境整備事業

(1) 事業概要

事業目的・内容	・外国人旅行者受け入れ環境整備事業 ・外国人向け観光案内人材育成研修事業
事業開始年度	平成 26 年度
事業費	・平成 28 年度実績 988,200 円 ・平成 28 年度実績 899,560 円
支出先	委託先：協同組合アドビジネスセンター

(2) 平成 28 年度事業内容

① 外国人旅行者受入環境整備事業

i. 「インバウンドセミナー」開催事業

県内観光事業者等対象に、外国人受入体制の充実に向けて、普及促進を図るためのセミナーを金沢、加賀、能登で各 1 回開催した。

ii. 「飲食店向けインバウンドセミナー」開催事業

県内飲食事業者団体及び商店街、旅館組合を対象に、本県観光の魅力の一つである食を外国人に気軽に楽しんでもらうため、多言語メニュー導入の普及促進を図るセミナーを、金沢、加賀、能登で計 7 回開催した。

iii. 「インバウンド研究会」開催事業

観光事業者を対象に、官民一体となった誘客体制の構築と受入体制の強化を図るため、金沢で研究会を 1 回開催した。

② 平成 28 年度広域観光周遊ルート形成促進事業「外国人向け観光案内人材育成研修事業」外国人観光案内人材育成研修

i. 外国語おもてなし向上講習会

- ・日時：平成 28 年 9 月 5 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分
- ・開催場所：I T ビジネスプラザ武蔵 6 階 交流室 1
- ・講演内容：「外国人観光客が望むもの—多国籍文化・習慣の違い」
- ・講師：ジャネスコトラベル代表取締役社長フランクス智子氏
- ・参加者：中部圏内の外国人への案内業務に従事している方（約 62 名）

ii. 外国語観光ガイド研修

- ・日時：平成 28 年 9 月 6 日（火）～7 日（水）1 泊 2 日
- ・開催場所：金沢～七尾～五箇山～高山

・研修内容：

- ① 実地案内研修（ロールプレイ等）
- ② 講義（外国人が通訳案内士に求めるもの・通訳案内士に必要なマナー）
 - ・講師：ジャネスコトラベル代表取締役社長フランクス智子氏他2名
 - ・参加者：中部圏内の通訳案内士・ボランティアガイド（26名）

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
5. 海外誘客の促進	(3) 外国人受入環境の充実

(4) 支出の合規性

① 平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	選定方法	予算	決算
外国人旅行者受入環境整備事業	指名競争入札	1,000,000	988,200
外国人向け観光案内人材育成研修事業	随意契約	1,170,000	899,560
合計		2,170,000	1,887,760

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

業者選定手続・契約手続・支出の合規性を検討するため、平成 28 年度支出負担行為及び関連資料を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 県による管理

業務完了報告書

i. 平成 28 年度外国人旅行者受入環境整備事業

県担当課は、平成 28 年 11 月 30 日付け業務完了報告書（レジюме、議事録及びアンケート結果を添付。）を受理し、同日付けで検収調書を作成している。

ii. 平成 28 年度広域観光周遊ルート形成促進事業「外国人向け観光案内人材育成研修事業」

県担当課は、平成 28 年 9 月 30 日付け業務完了報告書（レジюме、議事録及びアンケート結果を添付。）を受理し、同日付けで検収調書を作成している。

アンケート結果からは、受講者が概ね満足していることや課題を共有できたことがが伺え、一定の成果が見られた。

24. (事業 24) 「ふれあいと体験の旅」 推進事業

(1) 事業概要

事業目的・内容	『石川県産業観光ガイドブック』の作成、「産業観光研究会」の開催を通じて、観光客のニーズに合った新たな魅力である産業観光の情報発信を行い、観光客の入り込みを推進する。
事業開始年度	平成 19 年度
事業費	平成 28 年度実績 498,330 円
支出先	石川県観光戦略推進部観光企画課が事業を担当 ※事業の外部委託なし

(2) 平成 28 年度事業内容

石川県内のものづくり企業と連携し、『石川県産業観光ガイドブック』を作成し(平成 28 年度は 2,000 部作成。)、産業観光受入施設、石川県商工会議所連合会、商工会議所、商工会、石川県金沢観光情報センター、旅行会社等に配布。

「産業観光」とは、工房や工場など、ものづくりの現場を訪れて地域の人々や生産に携わる人々とふれあいながら、「見学・体験」する旅行スタイルをいう。

事業費 498,330 円の内容は、『石川県産業観光ガイドブック』の作成・印刷費用が 394,200 円、「産業観光研究会」の開催費用が 104,130 円。

『石川県産業観光ガイドブック』の配布部数

配布先	配布部数
参加企業	500 部
関係機関(商工会議所、商工会、観光案内所等)	500 部
道の駅	250 部
旅行会社	100 部
県人会	300 部
3大都市圏キャラバンでの配布	200 部
イベントでの配布	100 部
予備	50 部
合計	2,000 部

平成 28 年度の『石川県産業観光ガイドブック』については、2,000 部を作成・配布しており、特段の余剰・不足はないと認識している。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(1) 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

石川県財務規則に準拠して業者の選定・当該契約の締結手続が行われているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合規性

① 平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
産業観光ガイドブックの作成	500,000	394,200	105,800	印刷費用が、予算を下回ったことによる。
産業観光研究会の開催	150,000	104,130	45,870	研究会の講師費用が、予算を下回ったことによる。
合計	650,000	498,330	151,670	

(出典：平成 28 年度観光企画課作成資料)

② 支出内容の監査手続及び結果

i. 監査手続

業者選定手続・契約手続・支出の合規性を検討するため、当該事業にかかる「物品購入（修理）に係る支出負担行為伺」、「見積書」、「支出負担行為票」、「支出命令票」、「請求書」、「物品確認書」、「納品書」及び関連帳票を査閲した。

ii. 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(6) 県による管理

産業観光に関する企業向けアンケート調査

産業観光を受け入れている企業・施設を対象に、企業・施設の現状を把握し、今後の更なる推進に当たり、参加企業の意見を反映させるためにアンケートを実施している。

アンケートの実施により、(1) 県の産業観光ガイドブックやホームページを通じた反応や効果、(2) 産業観光の受入状況、(3) 海外からの視察団の受入実績、(4) 受入による本業への経済的効果、メリット、(5) 産業観光の推進に必要なこと、等について、結果を集計・分析し、翌事業年度以降の事業推進に反映している。

受入人数を本事業の重要な指標として考えており、これについてもアンケート調査の対象として把握している。

県による管理の状況に、特段の問題点は発見していない。

第四. 監査の結果（ファンド事業）

1.（ファンド事業1）観光魅力づくり推進事業補助金（河北郡市）

（1）事業概要

事業目的・内容	・「KAHOKU MUSIC FES 2016」の開催 ・観光列車花嫁のれん車内イベント「楽市楽座」の実施 ・河北潟周遊ツアー（モニターバスツアー）開催業務委託
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 3,510,000 円
支出先	河北郡市観光企画委員会

（2）平成 28 年度事業内容

① 「KAHOKU MUSIC FES 2016」の開催

i. 事業報告・内容

今回は、若者にも受け入れやすい音楽を活用し、3市町の魅力を最大限に伝えることができるようこのフェスを実施した。3市町の間地点に位置する、県内有数の集客施設「イオンモールかほく」を会場とし、この地域のエネルギーを誰にでも伝わりやすいよう「音楽」の力によって伝えることが出来た。メインステージでは、若者に人気のある著名アーティストの生ライブを無料で開催し、イオン特設コーナーでは、河北郡市の特産物の販売や観光PR展示ブースを設け、地元の人々とも触れ合える機会を創出し、この地域がより活性化するきっかけとなるイベントとなった。

ii. 日程

- ・10月29日（土）

各市町観光PRステージ及び河北郡市特産品販売、観光PRブースの開設

- ・10月30日（日）

アーティストライブ及び河北郡市特産品販売、観光PRブースの開設

iii. 出演アーティスト

土屋アンナ、相川七瀬、塩ノ谷早耶香、三浦祐太郎

iv. 当日の入り込み客数

約 5,000 人（10月30日の最大値）

② 観光列車花嫁のれん車内イベント「楽市楽座」の実施

i. 事業報告・内容

観光列車「花嫁のれん」2号車内イベントスペースにおいて市町PRイベント

「楽市楽座」を実施した。各市町の特産品の試食や試飲そして販売を通して、河北郡市の食の魅力向上に繋げ、また、観光ボランティアガイドが地域の観光地案内を行うなど、観光列車の利用者へのきめ細やかな観光PRを行った。

ii. 開催日時

津幡町：1月28日・29日

③ 河北潟周遊ツアー（モニターバスツアー）開催業務委託

i. 事業報告・内容

観光客の利便性を考慮し、金沢駅を発着点としたモニターバスツアーを実施した。河北潟を周遊するように河北郡市3市町の観光地や名所を巡り、また、各市町の特産品をプレゼントすることで、河北郡市の魅力をふんだんに盛り込んだ広域的な観光PRを行うことができた。さらに、今後の観光誘客戦略の一環として、バスツアー参加者にアンケート調査を実施した。また、参加者は郡市以外の方に来ていただけるよう、募集チラシの新聞折込は金沢市南部の地域とした。

ii. 業務委託先

株式会社JTB中部金沢支店

iii. コース

☆各市町の観光担当者だから実現出来た！普段は見ることのできない裏側見学

2月18日（土）・3月1日（水）共通

☆各市町一押しの観光スポット見学と道の駅巡り 3月12日（日）

iv. 参加者数

1回あたりの定員35人（1月24日の募集開始初日に全コース満員）

2月18日：当初35人→実績35人

3月1日：当初36人→実績32人（キャンセル等での実参加者数）

3月12日：当初35人→実績27人（同上）

v. 募集チラシの新聞折込

河北郡市以外の在住者の参加を促進するため、あえて金沢市南部（主に金沢市・白山市）の地域にランダムに募集チラシの新聞折込を行った。（約15,000枚）

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

連盟による河北郡市観光企画委員会に対する補助金が、同社団の観光魅力づくり推進事業補助金交付要綱に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

【意見 20】

河北潟周遊ツアーの参加者から収集したアンケートを見ると、その参加者が金沢市・白山市在住者に限られており、告知・PRが限定的と考えられる。本事業の目的は県外からの誘客も含まれており、周知の方法を検討されたい。

(5) 支出の合規性

平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
「KAHOKU MUSIC FES 2016」開催負担金	2,000,000	2,000,000	-	
観光列車花嫁のれん車内イベント「楽市楽座」経費	4,000	4,000	-	津幡町開催分お茶試飲経費
河北潟周遊ツアー開催業務委託料	1,500,000	1,500,000	-	株式会社 J T B 中部金沢支店
事務費	6,000	6,000	-	事務経費 (印鑑及び消耗品費)
合計	3,510,000	3,510,000	-	

(注) 連盟は、上記金額の全額を補助する。

(出典：平成 28 年度実績報告書)

【意見 21】

河北郡市観光企画委員会で使用する印鑑が、観光魅力づくり推進事業補助金により取得されていたが、当該印鑑の取得が観光魅力づくり推進事業補助交付要綱の補助対象経費に該当するか不明確である。

したがって、同要綱において補助対象経費の明確化が望まれる。

(6) 連盟による管理

① 連盟の管理

連盟は、河北郡市観光企画委員会から入手した実績報告書を基に検収を行い、確認書を作成した。

② 評価尺度

i. 「KAHOKU MUSIC FES 2016」の開催

実績報告書によれば、10月30日の最大値で約5,000人の入り込みがあったとされている。

ii. 観光列車花嫁のれん車内イベント「楽市楽座」の実施

実績報告書によれば、観光列車内で観光PRを実施した旨が報告されている。

iii. 河北潟周遊ツアー開催業務委託

実績報告書によれば、募集開始時に3回の定員全てが予約で埋まり、実際の参加率も平均9割程度である旨報告されている。

2. (ファンド事業2) 観光魅力づくり推進事業補助金

(北陸新幹線開業1周年「能登祭り」事業)

(1) 事業概要

事業目的・内容	J Rと北陸三県が連携した「北陸新幹線開業1周年キャンペーン」に合わせて、4月29日から7月10日までの期間、能登4市5町を舞台に「北陸新幹線開業1周年『能登祭り』」事業を展開し、2016年3月に開業1周年を迎えた北陸新幹線の開業効果を能登全域へと波及させるべく、能登で開催される様々な祭りやイベントを「能登祭り」として一体的に情報発信し、能登への誘客促進を図る。
事業開始年度	平成28年度
事業費	平成28年度実績7,200,000円
支出先	「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会能登部会

(2) 平成28年度事業内容

能登で開催される様々な祭りやイベントを一体的に情報発信する。

① 能登応援隊によるPRの実施

能登応援隊に知名度の高いAKB48Team8を起用、AKB48Team8が各市町のイベントに出演し、能登を盛り上げた。出演イベントは、以下のとおり。

- ・4月29日(金・祝)のと鉄道観光列車「里山里海号」1周年記念イベント(穴水町)
- ・4月29日(金・祝)「道の駅」織姫の里なかのと2周年記念祭(中能登町)
- ・5月3日(火・祝)大谷川鯉のぼりフェスティバル(珠洲市)
- ・5月3日(火・祝)のとキリシマツツジフェスティバル(輪島市)
- ・5月29日(日)能登町小木港イカす会(能登町)
- ・6月4日(土)輪島市民まつり(輪島市)
- ・6月4日(土)宝達志水町オムライス(宝達志水町)
- ・6月11日(土)能登よさこい祭り(七尾市)
- ・7月2日(土)、3日(日)能登ふるさと博オープニングイベント(志賀町)
- ・7月10日(日)ジェットスキーin千里浜(羽咋市)

② 周遊イベントの実施

能登各地にスポットを設置することで、気軽に能登の魅力に触れながら楽しむことができる参加型の周遊イベント(クイズラリー)を実施し、能登全域への誘客を図った。

③ 多様な広報手段を活用した情報発信

AKB48Team8 を活用したCM、動画、パンフレット、ポスター及びホームページを作成する。テレビ、ラジオ、新聞広告、新聞折り込み等を活用して県内外へ広く情報発信を行った。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

連盟による「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会能登部会に対する補助金が、同団体の観光魅力づくり推進事業補助金交付要綱に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
北陸新幹線開業 1 周年「能登祭 り」事業	18,012,000	18,012,000	-	・印刷物製作費 1,700,000 円 ・ホームページ制作費 700,000 円 ・広報宣伝費 5,000,000 円 ・ゲスト出演関係費 7,800,000 円 ・備品制作費 812,000 円 ・キャンペーン景品代 280,000 円 ・企画運営費 220,000 円 ・事務費 1,500,000 円
合計	18,012,000	18,012,000	-	

(注) 連盟は、上記金額のうち 7,200,000 円を補助する。

(出典：平成 28 年度実績報告書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会能登部会から入手した実績報告書を基に検収を行い、確認書を作成した。

② 評価尺度

実績報告書によれば、能登応援隊による PR の実施、周遊イベントの実施、多様な広報手段を活用した情報発信の概要事実が報告されている。

【意見 22】

観光魅力づくり推進事業において、実績報告書に入り込み客数が記載されていない。

実績報告書は、県が補助金の効果を評価するために必要な情報が十分に記載されることが望まれ、定性的な記載だけではなく、定量的な記載を行うことが望まれる。

3. (ファンド事業3) 観光魅力づくり推進事業補助金

(観光地を巡る交通の充実等による観光誘客の取組支援)

(1) 事業概要

事業目的・内容	加賀地域のイメージアップ及び国内外の観光誘客拡大のため、加賀地域における新観光ガイド交通の導入を支援。特別感のある車両・サービスで特別感のあるコースを巡る観光ガイドタクシーを運行する。回遊性の向上により、加賀地域の観光施設等の連携を強化し、テーマに基づいた観光コースを設定することにより、素材そのものの魅力を高め、加賀地域の観光力を強化し、国内外に広く発信する。 これら、先駆的・モデル的取り組みにより、今後の地域観光交通の活性化に繋げる。
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 19,906,723 円
支出先	加賀地域連携推進会議

(2) 平成 28 年度事業内容

「加賀の國 観光グランキャブ」導入支援事業

① 車両購入

高級ミニバン（定員7人乗り以上）5台を購入し、車内wi-fiや車載モニターなどの装備を装着し、特別な旅を提供する。年度内の購入・運行開始を目指す。

② 観光地案内映像等の作成

車内で目的地や加賀地域の魅力を伝えるための映像を作成。

③ ラッピングの施工

加賀地域の特徴を表現した車両デザインとする。

④ 特別感のある観光コース・サービスの導入

広域にわたる加賀地域の特徴ある観光地などを、テーマに基づき、効率的に周遊。また、少人数ならではの隠れスポットなども案内する。原則、交通拠点（JR特急停車駅や小松空港）や宿泊地（加賀温泉郷）等を発着地とし、観光地などを経由するコースとする。また、外国語同時通訳サービスを導入し、インバウンドにも対応する。

⑤ PR資料等の印刷

運行開始時を目途に、コースや車両など「加賀の國 観光グランキャブ」の魅力を伝えるチラシなどを作成し、利用促進を図る。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合规性

① 監査手続

連盟による加賀地域連携推進会議に対する補助金が、同社団の観光魅力づくり推進事業補助金交付要綱に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
「加賀の国 観光グランキャブ」導入支援事業	40,000,000	39,813,447	186,553	<ul style="list-style-type: none"> ・車両購入費 37,589,908 円 ・資料作成補助金(DVD映像) 1,000,000 円 ・ラッピング費 (デザイン費含む) 429,840 円 ・パンフレット制作費 594,673 円 ・式典開催費 199,026 円
合計	40,000,000	39,813,447	186,553	

(注) 連盟は、上記金額のうち 19,906,723 円を補助する。

(出典：平成 28 年度実績報告書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、加賀地域連携推進会議から入手した実績報告書を基に検収を行い、確認書を作成した。

② 評価尺度

連盟は、仕様どおりの車両の完成・納品を確認している。

4. (ファンド事業4) 観光魅力づくり推進事業補助金

(加賀地域における広域連携による観光誘客の取組支援)

(1) 事業概要

事業目的・内容	加賀地域のイメージアップのため、国内外への効果的・効率的な地域プロモーションを展開した。特に、既存ガイドブックを霊峰白山開山1300年を中心に発信する内容への改訂やロゴの制作など開山1300年を前面に出したプロモーション展開を開始した。そのほか、情報発信ツールの作成や広域観光誘客企画の実施など、誘客に向けた取り組みを推進した。
事業開始年度	平成28年度
事業費	平成28年度実績 25,000,000円
支出先	加賀地域連携推進会議

(2) 平成28年度事業内容

① 「加賀の國」の地域プロモーション

i. ガイドブック改訂増刷、イベントPRパンフ

- ・『るるぶ』特別編集改訂増刷／1月完成

20ページカラー刷りの冊子を60,000部発行し、県内外の観光窓口などに設置、情報を発信した。

ii. 滞在のススメ冊子改訂増刷

- ・『加賀の國にいきたくなる、とっておきのこと』改訂／3月完成

28年度カラー刷りの冊子を10,000部発行し、県内外の観光窓口などに設置、情報を発信した。

iii. 観光情報サイト掲載、其他媒体

- ・大手旅行情報サイト「るるぶ.com」への特集掲載／4～5月

春の誘客促進に向け、春祭りや観光情報の発信、宿泊予約への誘導などを行った。

- ・霊峰白山開山1300年広告掲載(山の日広告)／8月11日掲載

- ・『まっふる白山』(平成29年5月発行)広告デザイン制作／3月制作

iv. 民間施設等と連携した霊峰白山PR

- ・民間施設等と連携した霊峰白山広報事業／3施設

銭湯等の浴室等の壁面に霊峰白山を描き、入浴者にPRを実施。

- ・開山1300年ロゴ制作／3月完成

開山1300年をPRするロゴ制作。のぼり旗を作成して、加賀地域の民間施設などに掲げ気運を盛り上げた。

v. イベント出向宣伝、誘客キャンペーン

- ・加賀祭り出向宣伝／9月19日、東京都千代田区有楽町
いしかわ百万石物語江戸本店「加賀祭り」に出展、街頭PRを実施し加賀の國の魅力を発信した。
- ・銭湯ペンキ絵ライブイベント出向宣伝／12月24日、大阪府城東区蒲生
霊峰白山銭湯壁画のお披露目イベントに併せ出向宣伝を実施し、加賀地域の魅力を発信した。

vi. 加賀の國魅力発見！講演会

- ・加賀の國魅力発見！講演会／2月
白山眺望大賞（2月12日）の表彰式に併せて、一水会会員の山本勇氏による講演会「私の描いた白山～心の風景霊峰白山～」を開催し、絵画の世界から見た加賀の國や白山の美しさなどについてご講演いただき、魅力を発信した。

② インバウンド促進

『るるぶ加賀の國』増刷など

- ・『るるぶ加賀の國』の多言語版増刷／9月完成
英語版、繁体字、簡体字の3言語版を各10,000部発行し、小松空港や金沢観光情報センターなどに設置、外国人旅行者へ魅力を発信した。
- ・『LaniLani 台湾』への記事掲載／平成29年4月1日発行予定
台湾のフリーペーパー『LaniLani台湾』に金沢、能登エリアと連携して、広告記事を掲載し、海外誘客を促進した。

③ 広域観光誘客魅力づくり

i. リアル宝探し×加賀の國

- ・広域周遊観光企画「カロカロ探検隊2～五穀豊穡の霊水伝説！？の巻」の開催
開催期間：7月16日～10月31日
実施場所：加賀地域全域
延べ発見報告数：1,815件

ii. 加賀の國物語（連携テーマ事業）

- ・加賀の國物語・収穫祭の展開
「祭り」と「食」を共通テーマに加賀地域の全市町でイベントを開催した。また、加賀地域の祭りやイベントをまとめたパンフレットを上期・下期それぞれ作成し周知を図るとともに、誘客に努めた。
（開催時期：平成28年4月～平成29年3月）

④ 加賀四湯博

加賀温泉郷協議会への補助

- ・加賀四湯博誘客キャンペーン

加賀四湯博誘客キャンペーンを実施し、加賀温泉郷への誘客を強化した。

レディー・カガによる金沢駅や加賀温泉駅でのお出迎えキャンペーン、宿泊者に対する地元工芸品等のプレゼント事業、スタンプラリーや写真コンテスト、キャンペーンパンフレットの制作など、積極的な事業展開を行った。

- ・事業期間：6月1日～3月31日

- ・実施場所：栗津、片山津、山代、山中温泉

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

連盟による加賀地域連携推進会議に対する補助金が、同社団の観光魅力づくり推進事業補助金交付要綱に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位: 円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
「加賀の國」の地域プロモーション	6,400,000	7,300,918	△900,918	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック改訂増刷、イベントPRパンフレット 4,126,580 円 ・滞在のスヌメ冊子改訂増刷 758,376 円 ・観光情報サイト掲載、その他媒体 1,224,640 円 ・民間施設等と連携した霊峰白山PR 1,018,480 円 ・イベント出向宣伝、誘客キャンペーン 142,842 円 ・加賀の國魅力発見! 講演会 30,000 円
インバウンド促進	2,500,000	2,052,000	448,000	<ul style="list-style-type: none"> ・『るるぶ加賀の國』増刷など 2,052,000 円
広域観光誘客づくり	15,000,000	14,428,824	571,176	<ul style="list-style-type: none"> ・リアル宝探し×加賀の國 3,022,624 円 ・加賀の國物語 (連携テーマ事業) 11,406,200 円
加賀四湯博	2,000,000	2,000,000	-	<ul style="list-style-type: none"> ・加賀温泉郷協議会への補助 2,000,000 円
合計	25,900,000	25,781,742	118,258	

(注) 連盟は、上記金額のうち 25,000,000 円を補助する。

(出典: 平成 28 年度実績報告書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、加賀地域連携推進会議から入手した実績報告書を基に検収を行い、確認書を作成した。

② 評価尺度

連盟は、想定する仕様のとおり事業が実施されたことを確認している。

5. (ファンド事業5) 石川の食と観光情報ウェブサイト改修事業補助金

(1) 事業概要

事業目的・内容	株式会社ぐるなびが運営する旅行情報サイト「ぐるたび」の機能・情報を活用し、「石川の食と観光情報ウェブサイト」を改修。 サイト内に、いしかわ観光特使等からの観光スポットやイベント等への口コミ投稿機能に加え、ぐるたび記事、ぐるたび体験プランの掲出を行う。
事業開始年度	平成28年度(平成26年度に「ぐるなび」との連携を開始した。)
事業費	平成28年度実績3,000,000円
支出先	株式会社ぐるなび

(2) 平成28年度事業内容

事業スケジュール

- i. 平成28年6月23日：ウェブサイト改修着手
- ii. 平成28年11月14日：口コミ投稿・ぐるたび記事掲出機能等の追加
- iii. 平成28年11月25日：いしかわ観光特使への口コミ投稿方法説明会の実施
(首都圏いしかわ観光特使研修・交流会@ホテルグランドアーク半蔵門)
- iv. 平成29年2月8日：ぐるたび体験プラン掲出機能追加
- v. 平成29年3月23日：いしかわ観光特使への口コミ投稿方法説明会の実施
(北陸地域いしかわ観光特使研修・交流会@ホテル金沢)

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
3. 石川ならではの魅力の発信	(2) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信

(4) 事業の合规性

① 監査手続

連盟による株式会社ぐるなびに対する補助金が、同社団の石川の食と観光情報ウェブサイト改修事業補助金交付要綱に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合規性

平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：千円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
ウェブサイト機能追加開発費	2,938	2,938	-	43.2 千円/日×68 人日 = 2,937.6 千円
企画・進行管理費	2,000	3,166	△1,166	50 千円/日×63.3125 人日 = 3,165.625 千円 (資料作成・連絡調整など含む。)
説明会準備・開催費	300	713	△413	50 千円/日×14.25 人日 = 712.5 千円
合計	5,238	6,817	△1,579	

(注) 連盟は、上記金額のうち 3,000,000 円を補助する。

(出典：平成 28 年度実績報告書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、株式会社ぐるなびから入手した実績報告書を基に検収を行い、履行確認書を作成した。

② 評価尺度

連盟は、想定する仕様のおり事業が実施されたことを確認している。

【意見 23】

口コミ情報の投稿が可能となるウェブサイトの改修がなされたが、実際の投稿は十分とは言えない。これは、中高年のいしかわ観光特使にとって口コミ情報を投稿するために必要となる登録手続きが煩雑であることが理由として考えられる。

周知（メルマガ、観光特使ホームページでの呼びかけ）を更に実施することにより、口コミ投稿を十分に行うことが望まれる。

6. (ファンド事業6) 北陸新幹線開業1周年記念イベント「石川ロックサミット」の開催

(1) 事業概要

事業目的・内容	開業効果を持続・発展させるため、JRと北陸三県が連携した「北陸新幹線開業1周年キャンペーン」に合わせて、ロックをテーマとする音楽イベントを開催し、ロックの魅力と石川の奥深い文化に関心が高い中高年層を取り込み、石川ファンの拡大につなげる。
事業開始年度	平成28年度
事業費	平成28年度実績 28,000,000円
支出先	株式会社ケイ・シイ・エス

(2) 平成28年度事業内容

① 事業スケジュール

i. オープニングレセプション

日時：平成28年5月4日（水・祝）17時～19時

場所：しいのき迎賓館（2階イベントホール）

ii. ロック×OEKスーパーセッション（オープニング・イベント）

日時：平成28年5月11日（水）19時開演

場所：本多の森ホール（収容能力1,707席）※有料

入場者数：約1,500人

iii. 鋤田正義展<SOUND&VISION ver. 2>

日時・場所：

（前期）平成28年5月4日（水・祝）～22日（日）・しいのき迎賓館
（2階イベントホール）

（後期）平成28年5月25日（水）～6月28日（火）・赤羽ホール（1階）

入場者数：

（前期）23,457人（日平均1,235人）

（後期）6,010人（日平均171人）

iv. ユーミントークスロック

日時：平成28年6月12日（日）

場所：赤羽ホール（収容能力504席）

応募総数：3,652通

入場者数：571人（赤羽ホール504人、サテライト会場67人）

v. 「ギターサミット」(フィナーレ・イベント)

日時：平成 28 年 6 月 28 日(火) 19 時開演

場所：本多の森ホール(収容能力 1,707 席) ※有料

入場者数：約 1,500 人

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
3. 石川ならではの魅力の発信	(1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

(4) 事業の合規性

① 監査手続

連盟による株式会社ケイ・シィ・エスに対する委託料が、連盟の会計規程、職務権限規則等の諸規程に準拠して執行されているか検討した。

新幹線開業PR戦略実行委員会は、平成 28 年 5 月に実施する開業 1 周年記念イベント開催事業業務委託について石川県財務規則に準じて委託契約 25,000 千円に相応する 5 者指名競争入札を実施した。5 者は、物品等の入札参加資格を有する業者のうち、一定の絞り込みの結果抽出された業者である。しかし 5 者のうち株式会社ケイ・シィ・エスを除く 4 者が辞退したため、同社のみの見積書審査となり平成 28 年 1 月に適格となった。(新幹線開業PR戦略実行委員会の休止により、平成 28 年 4 月から連盟が業務を引き継いだ。)

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

① 平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)
ロック×O E K スーパーセッション関係費	14,311,074	14,311,074	-
ギターサミット関係費	3,480,000	3,480,000	-
ユーミントークスロック関係費	1,290,000	1,290,000	-
SOUND&VISION II 関係費	3,515,000	3,515,000	-
広報関係費	3,493,000	3,493,000	-
販売手数料	500,000	500,000	-
旅行商品関係費	335,000	335,000	-
イベントプロデュース関係費	3,900,000	3,900,000	-
企画運営関係費	8,722,223	8,722,223	-
消費税	3,163,703	3,163,703	-
合計	42,710,000	42,710,000	-

(注) このうち、チケット販売収入及び協賛金等 14,710,000 円を除く部分を委託料としている。

(出典：見積書・収支精算書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、株式会社ケイ・シー・エスから入手した業務完了報告書及び収支精算書を基に、検収調書を作成した。

② 評価尺度

コンサートは2回とも入場者数は9割弱の充足率、ユーミントークスロックは7.2倍の競争率となり、結果には満足している。

7. (ファンド事業7) 冬の誘客イベント

「冬の夜のマジカルセッション “出逢い”」の開催

(1) 事業概要

事業目的・内容	石川の大きな観光魅力のひとつ「食」の魅力が増す冬季において、JR 3社と北陸三県が連携して実施する「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーンやフードピア金沢の開催に合わせ、立川直樹氏をプロデューサーに迎え、石川ロックサミット第2弾となる夜の音楽イベントを開催し、新たな石川の魅力創出による観光誘客の促進を図る。
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 7,500,000 円
支出先	株式会社ケイ・シー・エス

(2) 平成 28 年度事業内容

事業スケジュール

i. オープニングレセプション

日時：平成 29 年 2 月 1 日（水）～26 日（日）

場所：金沢城公園「玉泉庵」休憩室

ii. SUKITA meets BOWIE “SPEED of LIFE”

日時：平成 29 年 2 月 1 日（水）～26 日（日）9 時～16 時 30 分

場所：金沢城五十間長屋（1 階）

入場者数：13,626 人

iii. KANAZAWA CASTLE SOUND INSTALLATION

日時：平成 29 年 2 月 4 日（土）17 時～17 時 30 分

場所：金沢城五十間長屋（1 階）

入場者数：約 320 人

iv. 玉泉院丸庭園ライトアップ<ロック・スペシャル>

「ILLUMINATE with Progressive rock」

日時：平成 29 年 2 月 1 日（水）～4 日（土）、17 日（金）～18 日（土）

入場者数：6,201 人

v. EAST meets WEST 出会い：うたかたの夢

日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）19 時開演

場所：石川県立能楽堂

入場者数：約 400 人（ほぼ満員）

vi. 鏡花－KYOKA－音・語り

日時：平成 29 年 2 月 25 日（土）18 時 30 分開演

場所：松風閣

入場者数：約 100 人（ほぼ満員）

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合规性

① 監査手続

連盟による株式会社ケイ・シー・エスに対する委託料が、連盟の会計規程、職務権限規則等の諸規程に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位: 円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
金沢城・五十間長屋を活用したプラン	1,700,000	1,700,000	-	
玉泉丸庭園を活用したプラン	640,000	640,000	-	
石川県立能楽堂を活用したプラン	1,950,000	1,950,000	-	
松風閣を活用したプラン	1,300,000	1,300,000	-	
広報関係費	1,480,000	1,480,000	-	
イベントプロデュース関係費	2,262,963	2,262,963	-	
企画運営関係費	1,018,889	1,018,889	-	
消費税	828,148	828,148	-	
合計	11,180,000	11,180,000	-	

(注) このうち、チケット販売収入及び協賛金等 3,680,000 円を除く部分を委託料として
いる。 (出典: 見積書・収支清算書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、株式会社ケイ・シー・エスから入手した実績報告書を基に検収を行い、
履行確認書を作成した。

② 評価尺度

平成 29 年 2 月の金沢城五十間長屋の入場者数は、開業初年度の平成 28 年 2 月
に比べると 83.7%であるが、開業前の平成 27 年 2 月に比べると 207.3%となっ
ており、満足のできる入り込みと考えている。それ以外の各イベントについても入
場者数が前年度比増加又はほぼ収容人員を充足しており、結果には満足している。

8. (ファンド事業8)「ひやくまんさん」を活用したPR事業

(1) 事業概要

事業目的・内容	石川県の開業・観光PRキャンペーンの広告塔として作成したマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、県内外で開催されるイベント等に出演するとともに、公式ホームページを活用して観光PRを行う。
事業開始年度	平成26年度
事業費	平成28年度実績12,760,751円
支出先	株式会社アドバンス他

(2) 平成28年度事業内容

事業スケジュール

i. 観光PRイベントへの出演

県内外で実施する観光PRイベント、キャンペーン等に出演

(参考) ひやくまんさんの活動実績(平成29年7月現在)

- ・出演実績：出演回数557回(県内410回、県外147回)、2.5日に1回のペース
 - ・平面デザイン利用実績：許諾済み616件(商品・食品348件、その他268件)
 - ・全国・首都圏放送マスメディアでの放映による効果
- 広告換算額：約13億円

ii. ホームページを活用した情報発信

「ひやくまんさん」公式ホームページの運用・管理

iii. ノベルティの作成

ひやくまんさんのノベルティを作成し、県内外での観光PRイベントで配布。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
3. 石川ならではの魅力の発信	(1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

(4) 事業の合规性

① 監査手続

「ひやくまんさん」活用PR事業委託業務が、連盟の会計規程、職務権限規則等の諸規程に準拠して適切に執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成28年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
委託費	12,000,000	10,967,873	1,032,127	活動費、公式ホームページ管理委託費等
宣伝広告費	2,100,000	1,752,377	347,623	ノベルティ作成費
消耗品費	870,000	17,093	852,907	消耗品購入費
支払銀行手数料	-	2,808	△2,808	振込手数料
租税公課	30,000	20,600	9,400	印紙代
合計	15,000,000	12,760,751	2,239,249	

(注) 「ひやくまんさん」活用PR事業委託業務9,638,093円は、上表の委託費に含まれる。

(出典：連盟作成資料)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、業者から入手した委託事業執行結果報告書等を基に検収を実施した。

② 評価尺度

連盟は、想定する仕様のとおり事業が実施されたことを確認している。

9. (ファンド事業9) 観光魅力づくり推進事業補助金(金沢誘客強化対策事業)

(1) 事業概要

事業目的・内容	金沢の入り込み客数が伸び悩む冬期における誘客を強化するため、食や景観など、本来一番魅力が高い冬の金沢ならではの素材や、新たに開発した観光素材等をまとめて発信する。
事業開始年度	平成28年度
事業費	平成28年度実績10,981,986円
支出先	金沢市観光協会

(2) 平成28年度事業内容

① 特別ツアーの開催等

i. 「冬の特別モニターツアー」

10コース18回開催(平成28年12月3日(土)～平成29年3月19日(日))

308人参加(関東90人、関西58人ほか)

ii. 「体感!金沢の旅 冬のプログラム」

公式ガイドブックに掲載。

② 食の魅力の発信

i. 金沢甘味の企画・造成

甘味ジャンルとして22店舗、23メニューを美味クーポンに追加。

29年3月末より販売開始。

ii. 美味クーポン・巧味クーポン、百万石の鮭など既存商品の紹介

公式ガイドブックに掲載。

iii. 金沢の宿「おいしい朝ご飯プロジェクト」、「フードピア金沢2017」など、期間中の食のイベント等の発信、公式ガイドブックに掲載。

③ 夜の魅力

i. ライトアップ事業の充実

片町きららクリスマスツリー設置補助

(設置期間:平成28年11月4日～12月25日)

ii. 音楽が楽しめる店舗の調査・活用企画提案書作成

iii. 金沢城・兼六園四季物語など、期間中のライトアップイベントの発信、公式ガイドブックに掲載。

- ④ JRとタイアップしたモニターツアーの開催
 - i. 首都圏発（JR東日本、びゅうトラベルサービス商品）1回
 - ii. 関西発（JR西日本、日本旅行商品）
 「冬の特別モニターツアー」をセットにしたモニターツアーを実施、6回

- ⑤ 発信
 - i. キャンペーンブック：50,000部制作
 - ii. クーポンブック：50,000部制作、10,000部増刷
 - iii. ポスター：2種制作
 - iv. 公式ホームページ開設・運営：特別モニターツアー用予約システム運用
 - v. 特別モニターツアー用Facebookページ、Twitter制作運用

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

(4) 事業の合規性

① 監査手続

連盟による金沢市観光協会に対する補助金が、連盟の観光魅力づくり推進事業補助金交付要綱に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	増減 (A-B)	備考
特別ツアー開催費	2,332,800	2,572,020	△239,220	
食の魅力 企画発信	797,200	797,158	42	
夜の魅力 企画発信費	1,516,000	1,496,020	19,980	
J R タイアップ モニターツアー開 催費	1,524,000	1,303,920	220,080	
広報費	4,830,000	4,812,868	17,132	
合計	11,000,000	10,981,986	18,014	

(注) 連盟は、上記金額の全額を補助する。

(出典：平成 28 年度実績報告書)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

連盟は、金沢市観光協会から入手した実績報告書を基に検収を行い、履行確認書を作成した。

② 評価尺度

i. 特別ツアー開催

定員 290 人の募集に対して 308 人の参加があった。また、アンケートの結果、満足・やや満足が過半を占めるツアーが大半であり、概ね成功と考えられる。

ii. 食の魅力企画発信

パンフレットやクーポン等の印刷・発行がなされたが、クーポンに添付されたアンケート結果が連盟に報告されていない。また、クーポンがどれだけ利用されたかの報告が連盟になされていない。

iii. 夜の魅力企画発信

音楽をメインにしているお店に係るヒアリング調査や今後の展開案について「金沢ナイトミュージック調査報告書」の提出を受けている。また、巨大クリスマスツリーの設置の事実についても新聞の切り抜きにより確認できた。

iv. JRタイアップモニターツアー

アンケートの結果、まあ満足・満足の合計が過半を占めていることが旅行会社からの報告により確認できた。

10. (ファンド事業 10) 東京都と連携したM I C E誘致促進

(1) 事業概要

事業目的・内容	東京都と連携し、海外企業のミーティング、インセンティブ旅行の誘致を実施した。
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 7,064,495 円
支出先	都市間連携ファミトリップに係る旅行手配等業務：株式会社日本旅行金沢支店 都市間連携によるM I C E誘致推進事業負担金：東京都

(2) 平成 28 年度事業内容

① 都市間連携ファミトリップに係る旅行手配等業務

i. 業務内容

東京都と連携して企業の報奨旅行等を取り扱うミーティングプランナーを招へいし、各都市の観光地、宿泊施設、ユニークベニュー等を視察することにより、M I C E旅行の誘致促進を実施。

ii. 実施内容

・招へい時期及び人数

平成 28 年 8 月 30 日 (火) ～ 9 月 2 日 (金)

8 人 (ポーランド、アメリカ、シンガポール各 2 人、ポルトガル、スイス各 1 人)

・主な視察先、体験等

兼六園、ひがし茶屋街、気多大社 (ユニークベニュー)、加賀屋など

② 都市間連携によるM I C E誘致推進事業負担金

i. 業務内容

東京都、公益財団法人東京観光財団、石川県、連盟の 4 者でM I C E誘致事業の共同実施をするもの。

ii. 実施内容

・負担内容

共同PRパンフレットの作成 (400 部)、ファミトリップの実施にあたり、報奨旅行を検討している主催者の視察受入にあたり、折半すべき経費を負担。

・今後の予定

来年度以降も引き続き受入を行い、M I C E誘致の推進を実施。

(3) 基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
5. 海外誘客の促進	(1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度向上

(4) 事業の合規性

① 監査手続

都市間連携ファミトリップに係る旅行手配等業務及び都市間連携によるMICE誘致推進事業負担金が、連盟の会計規程、職務権限規則等の諸規程に準拠して適切に執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合規性

平成 28 年度の支出内訳（支出内容）

(単位：円)

区分	決算額	備考
都市間連携によるMICE誘致推進事業負担金	2,034,322	東京都
都市間連携ファミトリップに係る手配旅行等業務委託	1,872,654	1者随意契約 (株)日本旅行
MICE旅行博	1,672,792	IBTM WORLD 2016 出展費用他
その他	1,484,727	東西旅行社向け記念品 323,136 円は 3者見積
計	7,064,495	

(出典：連盟作成資料、支出負担行為整理簿)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

(都市間連携によるMICE誘致推進事業負担金)

連盟は、東京都から入手した平成 29 年 9 月 30 日付け負担金通知を基に支出負担行為伺を作成、決裁した。

(都市間連携ファムトリップに係る手配旅行等業務委託)

連盟は、業者から入手した平成 28 年 9 月 30 日付け業務完了報告書、委託事業執行結果報告書等を基に検収を実施し、同日付け検収調書を作成した。

② 評価尺度

最終的な誘客に至るまで追跡は不可能である。このため、連盟としては、想定する仕様のとおりに事業を実施することを確認している。

11. (ファンド事業 11) 海外大手インターネット旅行会社を活用した個人誘客の促進

(1) 事業概要

事業目的・内容	欧米を中心として個人旅行者への傾向からインターネット旅行会社と連携し、本県の質の高い文化をPRした
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 9,005,700 円
支出先	(インターネット旅行会社広告掲載事業委託) Travelscape LLC/Expedia Solutions (欧米メディア広告掲載事業) 株式会社デイリーインフォメーション中部

(2) 平成 28 年度事業内容

① インターネット旅行会社広告掲載事業委託 7,500 千円

i. 業務内容

石川県の観光地等を紹介するキャンペーンページの作成及び保有サイト上での掲載と、閲覧者に向けた情報発信を実施。

ii. 実施内容

・キャンペーン実施期間

豪州 (9~10 月)、フランス (5~7 月、10~11 月)、アメリカ (5~7 月、10~11 月)、香港 (10~11 月)

iii. 実施成果

・キャンペーン実施期間宿泊数の伸び率 (対前年比)

春季 (5~7) 月 フランス+104%

アメリカ +38%

秋季 (10~11) 月 豪州 +274%

フランス+525%

アメリカ+159%

香港 +299%

・石川特集により、新規施設の参画や参画の検討が増加したほか、その効果を期待して各施設がインバウンド受注に前向きとなったと受託者から報告あり。

② 欧米メディア広告掲載事業 1,500 千円

i. 業務内容

『Japan times 伊勢志摩サミット特別号』に本県の広告を作成し掲載する。

ii. 実施内容

・掲載媒体

『Japan times 伊勢志摩サミット特別号』（5月25日発行）

・掲載内容

（本県の観光魅力を想起させる内容とすること）

欧米人の好みに適した、石川県の題材（自然、歴史）

北陸新幹線金沢開業による東京からの容易なアクセス等

英語で作成すること。

（掲載分量）1/2 枠（フルカラー）

iii. 実施成果

最終的な誘客に至るまで追跡は不可能である。このため、県及び連盟としては、想定する仕様のとおりに事業を実施することを確認している。

（3）基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
5. 海外誘客の促進	（1）東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度向上

（4）事業の合規性

① 監査手続

インターネット旅行会社広告掲載事業及び欧米メディア広告掲載事業が、連盟の会計規程、職務権限規則等の諸規程に準拠して適切に執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳 (支出内容)

(単位：円)

区分	決算額	備考
インターネット旅行会社広告掲載事業委託	7,500,000	1 者随意契約 エクスペディア
欧米メディア広告掲載事業	1,500,000	1 者随意契約 ジャパンタイムス
その他	5,700	
計	9,005,700	

(出典：連盟作成資料、支出負担行為整理簿)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

(インターネット旅行社広告掲載業務)

連盟は、業者から入手した平成 28 年 12 月 25 日付け業務完了報告書、委託事業執行結果報告書等を基に検収を実施し、平成 28 年 12 月 28 日付け検収調書を作成した。

(欧米メディア広告掲載事業)

連盟は、業者から入手した平成 28 年 5 月 26 日付け業務完了報告書、委託事業執行結果報告書等を基に検収を実施し、同日付け検収調書を作成した。

② 評価尺度

最終的な誘客に至るまで追跡は不可能である。このため、連盟としては、想定する仕様のとおりに事業を実施することを確認している。

12. (ファンド事業 12) 海外富裕層誘客促進事業

(1) 事業概要

事業目的・内容	「ほっと石川観光プラン 2016」に掲げる目標値「外国人宿泊者数 100 万人」の達成に向け、海外に向けて積極的な観光PRを展開するとともに、歴史や文化、伝統といった石川の強みを活かし、本物志向の個人旅行者や富裕層の誘客に取り組む。 海外富裕層に影響力のあるホテル・レストラン組織「ルレ・エ・シャトー」や豪州の富裕層向け旅行を手掛ける旅行社と連携したセミナーを開催。
事業開始年度	平成 28 年度
事業費	平成 28 年度実績 8, 296, 450 円
支出先	ルレ・エ・シャトーエクスカージョン事業：日本旅行他 オーストラリア富裕層向け旅行セミナー開催委託業務：JANESCO 他

(2) 平成 28 年度事業内容

① ルレ・エ・シャトーエクスカージョン受入事業

i. 業務内容

ルレ・エ・シャトーの年次総会が国内で開催されることに合わせて、同組織のメンバーによるエクスカージョンを本県にて受け入れ、伝統文化や食の魅力をPRすることにより、メンバーから彼らの顧客（富裕層が多い。）に対するSNSや口コミによる情報発信をしてもらうよう努めた。

ii. 事業内容及び実施期間

エクスカージョンの実施

平成 28 年 12 月 1 日（木）～ 3 日（土）

ホテルエ向けコース 9 人、シェフ向けコース 10 人

実施にあたっては、それぞれが情報発信する対象を想定し、富裕層に好まれると思われるコンテンツを重点的に紹介した。

iii. 主な視察先、体験等

・ホテルエコース、シェフコース（共通）

鶴仙溪・山中温泉、べにや無何有、近江町市場、兼六園など

・ホテルエコース

金箔工芸体験（箔一）、呈茶体験（玉泉庵）、懐華樓、鈴木大拙館、21 世紀美術館、ホテル日航金沢、千取寿司など

- ・シェフコース

醤油蔵（ヤマト醤油味噌）、酒蔵見学（福光屋）、鹿渡島定置、大崎漆器店など

② オーストラリア富裕層向け旅行セミナー開催委託

（委託先：JANESCO）

i. 業務内容

北陸新幹線金沢開業後、本県への関心が高まりつつある豪州において、富裕層誘客の拡大のため、シドニー市内で現地の富裕層向け旅行会社を対象としたセミナーを開催し、旅行商品の造成及び総客に努めた。

ii. 事業内容及び実施時期

- ・石川県観光セミナーの開催

平成 29 年 3 月 21 日（火）

Royal Sydney Yacht Squadron（会員制ヨットクラブ）

シドニー市内で富裕層旅行を取り扱う旅行会社等 12 社

- ・セミナー旅行会社に対するフォローアップ

今後の旅行商品造成及び総客に関するフォローアップを実施した。

iii. 今後の展開

- ・セミナー参加者からは今後本県への誘客に取り組みたいとの意向があったことから、今後の豪州からの誘客に対して好感触を得られた。
- ・また、ファムトリップの機会があれば是非参加したいとのことであり、次年度以降の事業の中で検討を進め実現を目指したい。

（3）基本計画との関係・整合性

本事業は、「ほっと石川観光プラン 2016」の重点戦略・施策体系において、以下の区分に位置づけられる。

重点戦略	対応する施策
1. 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	（3）M I C E や教育旅行誘致の推進

（4）事業の合規性

① 監査手続

連盟による JANESCO 及び日本旅行に対する委託料が、同社団の会計規程及び職務権限規程等の諸規程に準拠して執行されているか検討した。

② 監査結果

特記すべき事項は、発見されなかった。

(5) 支出の合规性

平成 28 年度の支出内訳 (主な支出)

(単位：円)

区分	決算額	備考
オーストラリア富裕層向け旅行セミナー開催業務委託	1,227,492	ジャネスコトラベル
オーストラリア・シンガポール観光プロモーションに係る旅費交通費	537,920	日本旅行
ニュージーランド旅行会社招へい事業委託	308,156	東日観光
ルレ・エ・シャトーエクスカーション受入事業	5,907,127	4,606,491 円は指名競争入札 6 者による
その他	315,755	
合計	8,296,450	

(出典：見積書・収支精算書、支出負担行為整理簿)

(6) 連盟による管理

① 連盟による管理

(オーストラリア富裕層向け旅行セミナー開催委託業務)

連盟は、JANESCO から平成 29 年 3 月 31 日付け業務完了報告書を受理し、同日付けで検収調書を作成した。

(ルレ・エ・シャトーエクスカーション受入事業)

連盟は、日本旅行から平成 28 年 12 月 28 日付け業務完了報告書を受理し、同日付けで検収調書を作成した。

② 評価尺度

(オーストラリア富裕層向け旅行セミナー開催委託業務)

参加者アンケートの結果、「今回のセミナーを通して石川県について理解できたか。」の問いについては、全員が「よく理解できた。」と回答しており、目的は達成できたと考えられる。

(ルレ・エ・シャトーエクスカーション受入事業)

最終的な誘客に至るまで追跡は不可能である。このため、連盟としては、想定する仕様のとおりに事業を実施することを確認している。

第五. 監査の結果（公の施設）

1. いしかわ動物園

（1）施設の概要

施設名	いしかわ動物園
所在地	石川県能美市徳山町 600 番地
設置根拠条例	いしかわ動物園条例（平成 11 年条例第 7 号） 動物とのふれあいを通じ、動物や自然に対する理解を深める機会を提供するため、いしかわ動物園を能美市に設置する。
設置年	平成 11 年 10 月
事業内容	<p>（1）レクリエーションの提供 大人から子供まで、全ての入園者に安らぎと癒しを与え、楽しく遊ぶことができるレクリエーションの場を提供。</p> <p>（2）教育普及活動 自然の営みの素晴らしさを生きた動物を通して知ってもらう教育活動を実施。</p> <p>（3）種の保存 世界的に希少な動物の保護増殖。</p> <p>（4）地域の自然保護への貢献 地域の希少動物の保護増殖や、傷病鳥獣の救護・野生復帰活動、並びにこれらの活動を通じた環境教育を実施。</p>
施設内容	<p>施設の内容は以下のとおり</p> <p>① レストラン</p> <p>② 売店</p> <p>③ コインロッカー</p> <p>④ ベビーカー</p> <p>⑤ 動物学習センター</p> <p>⑥ 休憩所</p> <p>⑦ 管理事務所・救護室・授乳室</p> <p>⑧ ビオトープ</p>

	(参考) 飼育動物数 205 種 3,622 点 (平成 29 年 1 月 2 日現在)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>哺乳類</th> <th>鳥類</th> <th>爬虫類</th> <th>両生類</th> <th>魚類</th> <th>無脊椎動物</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>37</td> <td>55</td> <td>32</td> <td>15</td> <td>57</td> <td>9</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>飼育数</td> <td>169</td> <td>200</td> <td>85</td> <td>377</td> <td>2,656</td> <td>135</td> <td>3,622</td> </tr> </tbody> </table>		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	無脊椎動物	合計	種類数	37	55	32	15	57	9	205	飼育数	169	200	85	377	2,656	135	3,622
	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	無脊椎動物	合計																		
種類数	37	55	32	15	57	9	205																		
飼育数	169	200	85	377	2,656	135	3,622																		
営業時間	4 月から 10 月 / 9 時～17 時 11 月から 3 月 / 9 時～16 時 30 分 ※休園日は火曜日、年末年始 (12 月 29 日～1 月 1 日)																								
入場料	一般 830 円 (730 円) 3 歳以上中学生以下 410 円 (300 円) ※ () は団体料金 (20 名以上)																								
担当課	観光戦略推進部観光企画課																								
指定管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社																								

(2) 利用者情報

直近の入園者数及び入園料収入等の推移

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入園者数 (人)	329,375	325,889	344,344	348,323
入園料収入 (千円)	162,231	157,651	166,342	165,241
その他収入 (千円)	709	725	734	702

(出典：平成 25 年度～平成 28 年度管理状況)

2. 石川県ふれあい昆虫館

(1) 施設の概要

施設名	石川県ふれあい昆虫館
所在地	石川県白山市八幡町戊3
設置根拠条例	石川県ふれあい昆虫館条例（平成10年条例第3号） 昆虫とのふれあいを通じ、人間と自然との関わりや生命の営みの大切さを学ぶ機会を提供するため、石川県ふれあい昆虫館を白山市に設置する。
設置年	平成10年7月
事業内容	（1）レクリエーションの提供 大人から子供まで、全ての入館者に安らぎと癒しを与え、楽しく遊ぶことができるレクリエーションの場を提供。 （2）教育普及活動 自然の営みの素晴らしさを生きた昆虫を通して知ってもらう教育活動を実施。 （3）種の保存 イカリモンハンミョウ、シャープゲンゴロウモドキ、マルコガタノゲンゴロウなど、絶滅の危機に瀕した地域の希少昆虫の保護増殖。
営業時間	4月～10月／9時30分～17時 11月～3月／9時30分～16時30分 ※休館日は火曜日、年末年始（12月29日～1月1日）
入場料	一般 410円（360円） 小・中・高生 200円（150円） ※（ ）は団体料金（20名以上）
担当課	観光戦略推進部観光企画課
指定管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社

(2) 利用者情報

直近の入館者数及び入館料収入の推移

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入館者数（人）	97,963	99,604	103,952	107,452
入館料収入（千円）	19,419	19,918	20,796	21,671

（出典：平成25年度～平成28年度管理状況）

3. 石川県海の自然生態館

(1) 施設の概要

施設名	石川県海の自然生態館
所在地	石川県七尾市能登島曲町 15 部 40 ※のとじま臨海公園水族館（一般財団法人石川県県民ふれあい公社直営施設、以下「水族館」という。）に併設。
設置根拠条例	石川県海の自然生態館条例（平成 5 年条例第 5 号） 県民の余暇活動の増進と水生生物の調査研究の推進を図るため、石川県海の自然生態館を七尾市に設置する。
設置年	平成 5 年 4 月
事業内容	（1）レクリエーションの提供 大人から子供まで、全ての入館者に安らぎと癒しを与え、楽しく遊ぶことができるレクリエーションの場を提供。 （2）教育普及活動 自然の営みの素晴らしさを生きた水生生物を通して知ってもらう教育活動を実施。
施設内容 （水族館）	施設の内容は以下のとおり ① ジンベエザメ館 青の世界 ② 水族館本館 ③ イルカたちの楽園 ④ 海の自然生態館 ⑤ イルカ・アシカショー
営業時間	3 月 20 日～11 月 30 日／9 時～17 時 12 月 1 日～ 3 月 19 日／9 時～16 時 30 分
入場料 （水族館）	一般 1,850 円 3 歳以上中学生以下 510 円 【団体割引（20 名以上）】 一般 1,650 円 3 歳以上中学生以下 460 円 【団体割引（100 名以上）】 一般 1,450 円 3 歳以上中学生以下 410 円
担当課	観光戦略推進部観光企画課
指定管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社

(2) 利用者情報（水族館）

直近の入館者数及び入館料収入の推移

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入館者数（人）	451,334	407,300	426,033	419,065
入館料収入（千円）	90,715	82,989	85,072	83,922

（出典：平成 25 年度～平成 28 年度管理状況）

参考：指摘事項・意見の一覧

指摘事項

No.	概要	ページ
指摘事項 1	補助金の実績報告書の確認	31

意見

No.	概要	ページ
意見 1	観光戦略推進部職員の観光連盟兼職	31
意見 2	石川県観光連盟への支援	31
意見 3	事業評価の客観性	42
意見 4	貸付金申請の根拠資料	50
意見 5	場所別稼働率の把握	51
意見 6	プログラム配布部数	58
意見 7	業者選定における競争原理の確保	61
意見 8	来園目標数の設定	62
意見 9	外国語対応アンケート	63
意見 10	実績報告書のチェック方法	66
意見 11	来場者数の把握	67
意見 12	利用の推進	77
意見 13	補助金交付申請書の記載要件	79
意見 14	補助金交付申請書の添付資料	79
意見 15	実績報告書の不十分な記載	81
意見 16	業者選定における競争原理の確保	83
意見 17	目標来場者数の設定	84
意見 18	アンケートの分析	95
意見 19	英語版アンケート	109
意見 20	モニターツアーの対象者	118
意見 21	補助対象経費の明確化	118
意見 22	実績報告書の客観性	122
意見 23	口コミ情報の投稿促進	132